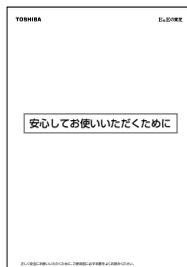


マニュアルの使いかた

安心してお使いいただくために

パソコンをお取り扱いいただくための注意事項について
ご使用前に必ずお読みください。

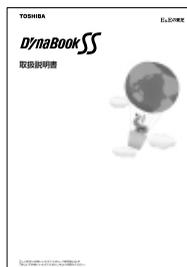


取扱説明書（本書）

- Windowsのセットアップ
- 基本機能
- モバイル活用法
- 周辺機器の接続
- 困ったときは
- 再セットアップ

 パソコン画面で見るときは

☞ 「9章 1 オンラインマニュアルについて」



リリース情報

- 本製品を使用するうえでの注意事項など
必ずお読みください。

本製品の電源を入れた状態で [スタート] → [はじめに] → [リリース情報]
をクリックするとご覧になれます。

もくじ

マニュアルの使いかた	1
もくじ	2
はじめに	7

1章 セットアップ 11

1 パソコンの準備	12
1 電源コードとACアダプタを接続する	12
2 電源を入れる	13
2 Windows のセットアップ	14
1 セットアップの前に	14
2 Windows 2000 のセットアップ	16
3 Windows 98 のセットアップ	24
3 ユーザ登録をする	32
1 東芝へのユーザ登録	32
2 その他のユーザ登録	32

2章 電源を入れる／切る 35

1 電源を入れる	36
2 電源を切る	39
3 再起動する	41

3章 本体の機能 43

1 各部の名称	44
2 システムインジケータ	48

3	ディスプレイ	49
4	ハードディスクドライブ	51
5	音量の調節	52
6	内蔵モデム	54
7	タッチパッド	60
8	キーボード	62
	1 キーボードについて	62
	2 日本語を入力するには	69
9	CD-ROM ドライブ	70
	1 使用できる CD	71
	2 CDのセットと取り出し	71
10	Bluetooth／無線 LAN	74
11	ワンタッチボタン	75
12	セキュリティロック	76

4章 モバイルしよう 77

1	バッテリーについて	78
	1 バッテリーを充電する	81
	2 バッテリー充電量を確認する	83
	3 バッテリーパックを交換する	85
2	省電力の設定をする	86
3	パソコンの使用を中断する／簡単に電源を切る	91
	1 スタンバイ／休止状態	91
	2 簡単に電源を切る／パソコンの使用を中断するとき	98

5章 周辺機器を使う 101

- 1 周辺機器を接続する前に 102
- 2 スリムセレクトベイ機器を差し替える 103
 - 1 スリムセレクトベイ機器の差し替え 103
 - 2 CD-R/RW ドライブ/マルチドライブ 106
 - 3 セカンドハードディスク 110
 - 4 セカンドバッテリーパック 117
- 3 PC カードを接続する 118
- 4 SD メモリカードを接続する 121
- 5 USB 対応機器を接続する 124
- 6 マイクロホンに接続する 125
- 7 ヘッドホンに接続する 126
- 8 CRT ディスプレイに接続する 127
- 9 LAN へ接続する 130
- 10 メモリを増設する 132

6章 システム構成とパスワードセキュリティ... 137

- 1 東芝 HW セットアップ 138
- 2 セットアッププログラム 144
 - 1 起動 144
 - 2 終了 145
 - 3 セットアッププログラムの画面 146
 - 4 設定項目 148

3	パスワードセキュリティ	159
1	ユーザパスワード	161
2	スーパーバイザパスワード	165
3	パスワードの入力	166

7章 困ったときは 169

1	Q&A 集を見る前に	170
1	トラブルを解消するまで	170
2	トラブル解消に役立つ操作	172
2	Q&A 集	173

8章 再セットアップ 211

1	再セットアップとは	212
2	リカバリ CD / カスタム・リカバリ CD	213
1	Windows 2000 のリカバリ CD	213
2	Windows 98 のカスタム・リカバリ CD	213
3	標準システムを復元する	215
1	はじめる前に	215
2	操作手順	215
4	最小構成でシステムを復元する (Windows 98) ...	218
1	はじめる前に	218
2	操作手順	219
5	アプリケーションを再インストールする (Windows 98)	221

9章 パソコンの取り扱い 223

- 1 オンラインマニュアルについて 224
- 2 日常の取り扱いとお手入れ 226
- 3 アフターケアについて 231
- 4 廃棄について 232
- 5 アプリケーションのお問い合わせ先 234

付録 237

- 1 製品仕様 238
- 2 各インタフェースの仕様 245
- 3 技術基準適合について 248

トラブルチェックシート 269

 東芝PCダイアル 269

 トラブルチェックシート 271

さくいん 273

はじめに

本製品を安心してお使いいただくために重要な事項が添付の冊子『安心して
お使いいただくために』に記載されています。よくお読みください。

本書は、次のきまりに従って書かれています。

記号の意味

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡する、あるいは重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害*1を負ったり、物的損害*2の発生が想定される内容を示します。
 お願い	データの消失や、故障、性能低下をおこさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
 メモ	知っておくと便利な内容を示します。
 用語	覚えておくと役に立つ用語を示します。
 2000  98	本書はWindows 2000、Windows 98モデルに共通の説明書です。それぞれに固有の操作や機能名称を示すときは次のマークを使用しています。 ご購入の製品に応じた部分をお読みください。
 2000	Windows 2000モデルに固有の操作や機能名称などを示します。
 98	Windows 98モデルに固有の操作や機能名称などを示します。
 参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合…「 」 他のマニュアルへの参照の場合…『 』

*1 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要しない、けが・やけど・感電などをさします。

*2 物的損害とは、家屋・家財にかかわる拡大損害を示します。

用語について

本書では、次のように定義します。

システム 特に説明がない場合は、ご使用になるオペレーティングシステム (OS) を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト
..... アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows 2000 Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system 日本語版を示します。

Windows 98 Microsoft® Windows® 98 SECOND EDITION operating System 日本語版を示します。

MS-IME Microsoft® IME2000 または Microsoft® IME 98 を示します。

Bluetooth 内蔵モデル Bluetooth の機能を内蔵しているモデルを示します。

無線 LAN 内蔵モデル 無線 LAN の機能を内蔵しているモデルを示します。

標準ハードディスク 本製品に標準で内蔵されているハードディスクを示します。

セカンドハードディスク ... 別売りのハードディスクドライブキットを示します。

セカンドハードディスクアダプタ
..... 別売りのスリムセレクトベイハードディスクアダプタを示します。

記載について

- ・ 本書に記載している画面は、表示例です。実際に表示される画面と異なる場合があります。
- ・ 本書では、次のスリムセレクトベイ機器 (別売り) についても説明しています。
 - ・ CD-R/RW ドライブ
 - ・ マルチドライブ
 - ・ ハードディスクドライブキット (本書ではセカンドハードディスクとよびます)
 - ・ スリムセレクトベイハードディスクアダプタ (本書ではセカンドハードディスクアダプタとよびます)
 - ・ セカンドバッテリーパック

Trademarks

- ・ Microsoft、MS-DOS、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ Intel、Pentium、インテル、インテル SpeedStep は、Intel Corporation の商標、または登録商標です。
- ・ Ethernet、Fast Ethernet は富士ゼロックス株式会社の登録商標または商標です。
- ・ Bluetooth は、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。
- ・ Adobe Acrobat は、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社) の商標です。

本書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的に又は家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なお使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

お願い

- ・本製品の内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）以外をインストールした場合の動作保証はいたしかねます。
- ・内蔵ハードディスクにインストールされているシステム（OS）は、本製品でのみご利用いただけます。
- ・ご購入時に決められた条件以外での、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。お取り扱いにはご注意願います。
- ・パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを削除できなくなった場合は、お使いの機種を確認後、お近くの保守サービスにご依頼ください。パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

お使いになる前に本体同梱のお客様登録カードに必要事項をご記入のうえ、返送してください。

保証書は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

1 章 セットアップ

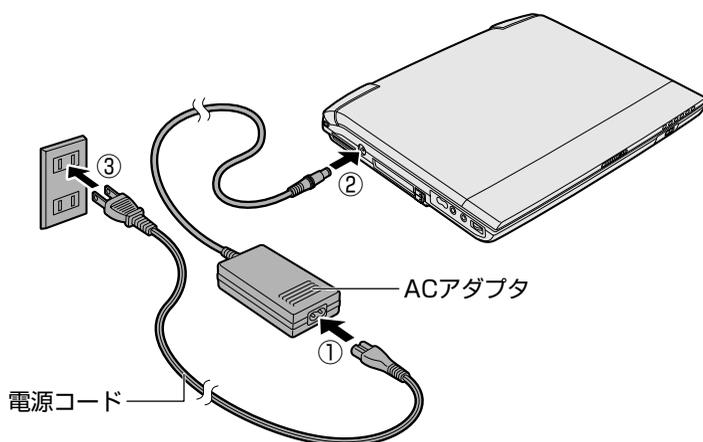
1	パソコンの準備	12
2	Windows のセットアップ	14
3	ユーザ登録をする	32

1

パソコンの準備

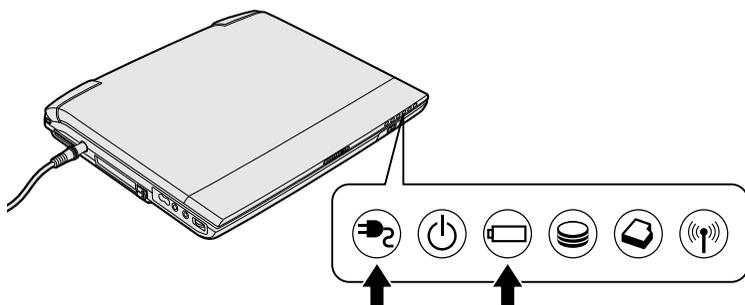
1 電源コードとACアダプタを接続する

電源コードとACアダプタの接続は、次の図の①→②→③の順に行います。はずすときは、逆の③→②→①の順で行います。



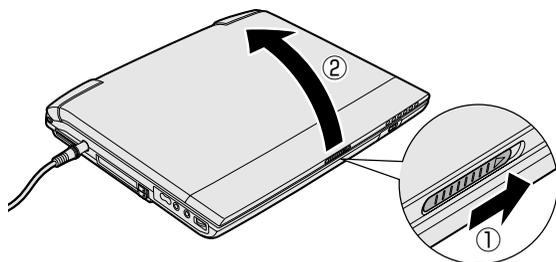
■ 接続すると

DC IN ➊ LEDが緑色に点灯します。また、Battery ➋ LEDがオレンジ色に点灯し、バッテリーへの充電が自動的に始まります。

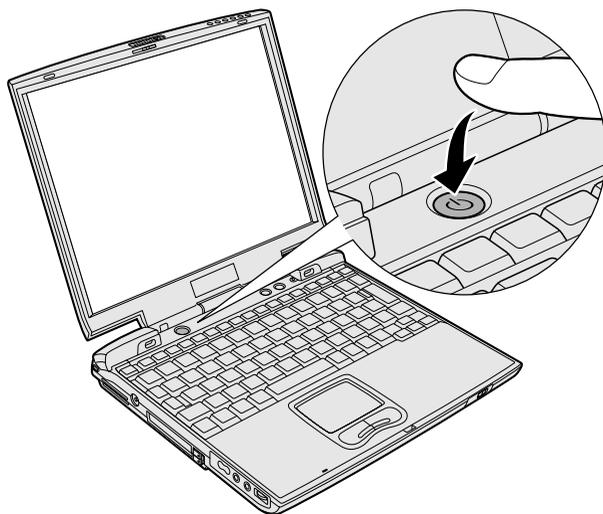


2 電源を入れる

- 1 ディスプレイ開閉ラッチをスライドし①、ディスプレイを静かに起こす②
両手を使ってゆっくり起こしてください。



- 2 Power  LED が緑色に点灯するまで、電源スイッチを押す



2

Windows のセットアップ

セットアップを始める前に、『安心してお使いいただくために』を必ずお読みください。特に電源コードや AC アダプタの取り扱いについて、よくお読みになり、注意事項をお守りください。

本製品には、Windows 2000 モデルと Windows 98 モデルがあります。セットアップ方法については、お客様がお使いになるシステムの手順をご覧ください。

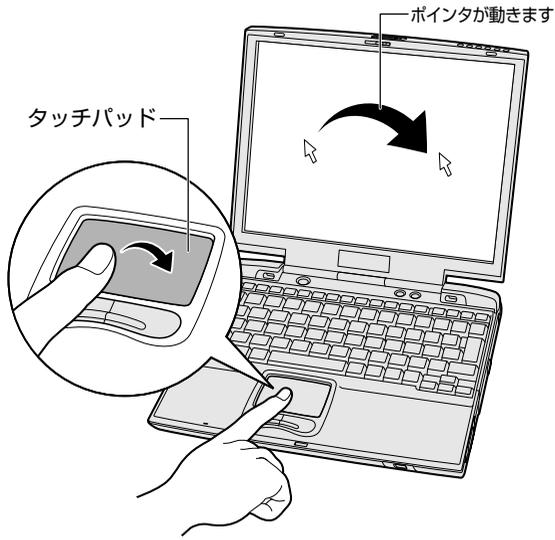
1 セットアップの前に

セットアップをするときの注意

- 周辺機器は接続しないでください
セットアップは AC アダプタと電源コードのみを接続した状態で行なってください。セットアップが完了するまでプリンタ、マウスなどの周辺機器は接続しないでください。
- 途中で電源を切らないでください
セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障の原因になります。
- 操作は時間をあけないでください
セットアップ中にキー操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。30 分以上タッチパッドやキーボードを操作しなかった場合、画面に表示される内容が見えなくなりますが、故障ではありません。もう 1 度表示するには、(Shift)キーを押すか、タッチパッドに触れてください。

タッチパッドの使いかた

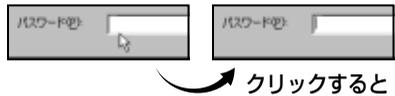
タッチパッドに指を置き、押さえながら前後左右に動かします。指の動きに合わせてディスプレイ上の「」(ポインタ)が動きます。



タッチパッド手前の左ボタンを1回押す操作を「クリック」といいます。



 を文字入力欄に合わせてクリックすると、「」(カーソル)が点滅します。「」の位置から入力できます。



2 Windows 2000のセットアップ

次の手順に従ってセットアップを行なってください。

初めて電源を入ると、[Windows 2000 セットアップウィザードの開始]画面が表示されます。

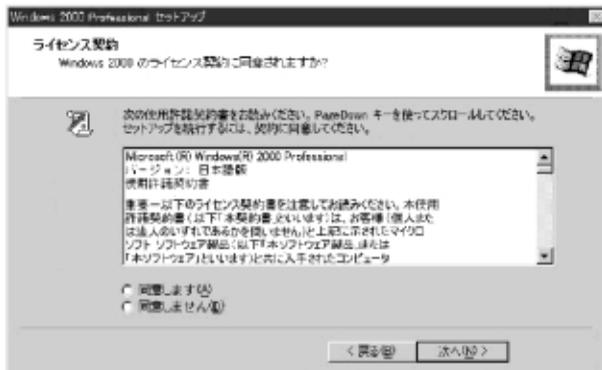


1 [次へ] ボタンをクリックする

[ライセンス契約] 画面が表示されます。

契約の内容を必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックして、画面をスクロールさせてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。



2 画面下部の【同意します】をチェックして【次へ】ボタンをクリックする

-  ● 【同意しません】を選択した場合は、次にパソコンを起動したとき、最初からセットアップをやり直す必要があります。

[ソフトウェアの個人用設定] 画面が表示されます。



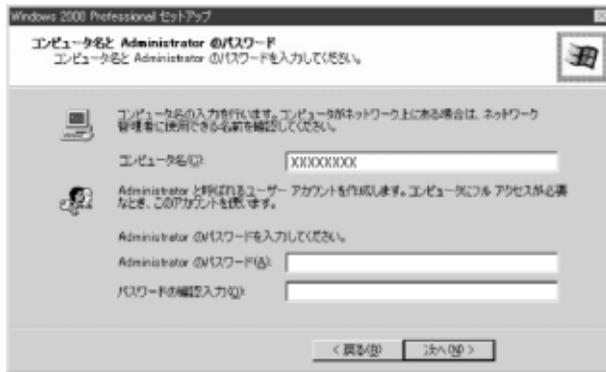
3 名前と組織名を入力する

名前は必ず入力してください。組織名は省略できます。組織名を入力するには、名前の入力後(Tab)キーを押します。

-  ● 日本語入力システムが起動しています。
ひらがなや漢字の入力のしかた
標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。
例：“なかた”または“中田”と入力する場合
- 1 **(N)(A)(K)(A)(T)(A)**とキーを押す
“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、**(BackSpace)**キーを押して入力ミスした文字を削除します。
 - 2 ひらがなのままでよい場合は、**(Enter)**キーを押す
“なかた”で確定されます。
漢字に変換する場合は**(Space)**キーを押し、目的の漢字が表示されたら、**(Enter)**キーを押す
(Space)キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。
(Enter)キーを押すと、選択した漢字で確定します。

4 [次へ] ボタンをクリックする

[コンピュータ名と Administrator のパスワード] 画面が表示されます。



5 コンピュータ名と Administrator のパスワードを入力する

コンピュータ名は自動で作成されます。変更する場合は、半角英数字で 15 字以内の名前を入力してください。

Administrator と呼ばれるユーザ名を作成します。コンピュータにフルアクセスする場合に使用します。パスワードには、半角の英数文字および記号を使用することができます。



- パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。例えば、「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

- 6 [次へ] ボタンをクリックする
[日付と時刻の設定] 画面が表示されます。



- 7 [日付と時刻] の設定をする

日付と時刻を確認します。

タイムゾーンで「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」が選択されていることを確認します。

「(GMT+09:00) 大阪、札幌、東京」が選択されていない場合は▼ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

- 8 [次へ] ボタンをクリックする

[ネットワークの設定] 画面が表示されます。



9 ネットワークの設定をする

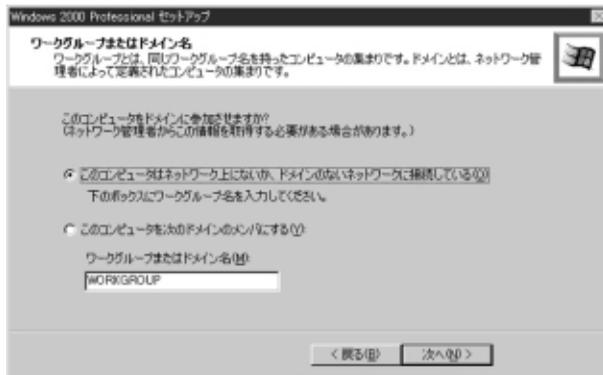
ネットワークの設定はネットワーク管理者にお問い合わせください。
標準設定またはカスタム設定のどちらかを選択してください。



- 標準設定：Microsoft ネットワーククライアント、Microsoft ネットワークのファイルとプリンタの共有サービス、アドレスを自動的に指定する TCP/IP トランスポートプロトコルを使ってネットワーク接続を作成します。
- カスタム設定：手でネットワークコンポーネントを構成することができます。

10 [次へ] ボタンをクリックする

[ワークグループまたはドメイン名] 画面が表示されます。



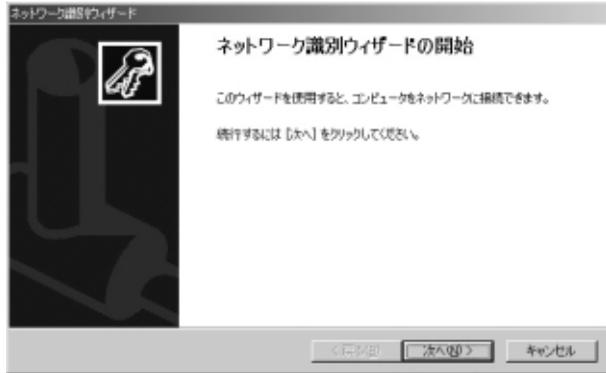
11 ワークグループまたはドメイン名の設定をする

ワークグループまたはドメインのどちらかを選択してください。
選択後、[ワークグループまたはドメイン名] にワークグループ
(ドメイン) 名を入力してください。

12 [次へ] ボタンをクリックする

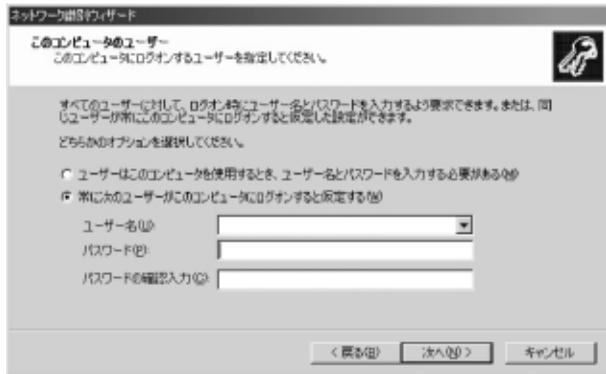
設定の保存後、再起動します。再起動後に [ネットワーク識別ウィザードの開始] 画面が表示されます。

ここで、コンピュータをネットワークに接続する手続きをします。



13 [次へ] ボタンをクリックする

[このコンピュータのユーザー] 画面が表示されます。



14 ユーザの設定をする

このコンピュータで使用するユーザを指定します。

- [ユーザーはこのコンピュータを使用するとき、ユーザー名とパスワードを入力する必要がある]
…指定したユーザでパスワードを入力してからログオンします。
- [常に次のユーザーがこのコンピュータにログオンすると仮定する]
…指定したユーザで自動的にログオンします。
ここで指定できるユーザは手順3で入力した名前、あるいは Administrator です。
▼ボタンをクリックして選択してください。

15 [次へ] ボタンをクリックする

[ネットワーク識別ウィザードの終了] 画面が表示されます。



16 [完了] ボタンをクリックする

Windows 2000のセットアップを完了しました。

手順14で「ユーザーはこのコンピュータを使用するとき…」を選択した場合、「Windowsへのログオン」画面が表示されます。Administratorパスワードを入力して、「OK」ボタンをクリックすると、Administratorでログオンし、「Windows 2000の紹介」画面が表示されます。

手順14で「常に次のユーザーがこのコンピュータに…」を選択した場合、指定されたユーザ（Administratorまたは例：中田）で自動的にログオンし、「Windows 2000の紹介」画面が表示されます。



- [Windows 2000 の紹介] の下部にあるチェックボックス（スタートアップ時にこの画面を表示）をクリックしてチェックを解除すると、次に Windows 2000 が起動したときは [Windows 2000 の紹介] は表示されません。
[Windows 2000 の紹介] 画面を再表示するには、[スタート] - [プログラム] - [アクセサリ] - [システムツール] - [はじめに] をクリックしてください。
- 次のようなパーティションがハードディスクに作成されています。
C ドライブ：NTFS システム
- 東芝とマイクロソフト社へのユーザ登録を行なってください。

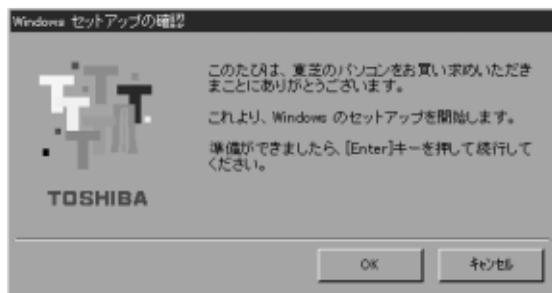
 ユーザ登録について ⇨ 「本章 3 ユーザ登録をする」

■ Windows の使いかた

Windows の使いかたについては、『クイックスタートガイド』、または [スタート] → [ヘルプ] をクリックして、『Windows のヘルプ』をご覧ください。

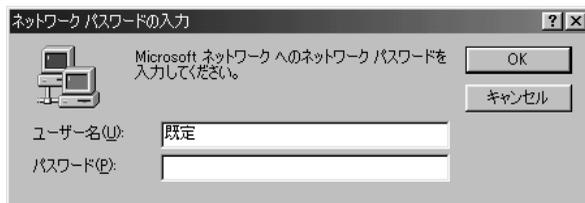
3 Windows 98 のセットアップ

次の手順に従ってセットアップを行なってください。
初めて電源を入れると、[Windows セットアップの確認] 画面が表示されます。



1 (Enter) キーを押す

Windows のセットアップが開始されます。
コンピュータが再起動し、[ネットワークパスワードの入力] 画面が表示されます。



2 ユーザー名を入力する

(Shift)+(Tab)キーを押すと、カーソルがユーザー名に移動します。

(Del)キーを押して「既定」を削除します。

ユーザー名やひらがな、漢字、半角英数文字が使用できます。ひらがなや漢字を入力するには、MS-IME を起動します。MS-IME とは、かなや漢字を入力するための日本語入力システムです。

(Alt)+(半/全)キーを押してください。



- ひらがなや漢字の入力のしかた

標準状態での入力方法は、ローマ字入力です。

例：“なかた”または“中田”と入力する場合

1 (N)(A)(K)(A)(T)(A)とキーを押す

“なかた”と表示されます。入力ミスをした場合は、

(BackSpace)キーを押して入力ミスした文字を削除します。

2 ひらがなのままでよい場合は、(Enter)キーを押す

“なかた”で確定されます。

漢字に変換する場合は(Space)キーを押し、目的の漢字が表示されたら、(Enter)キーを押す

(Space)キーを押すたびに、漢字の候補が表示されます。

(Enter)キーを押すと、選択した漢字で確定します。

3 パスワードを入力する

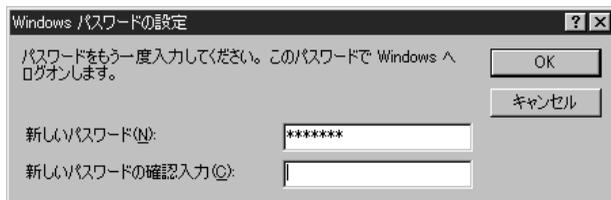
ユーザー名の入力が終わった後、(Tab)キーを押します。

パスワードに半角英数文字および記号が使用できます。4～8文字を目安に設定してください。

入力したパスワードは「****」で表示されます。

パスワードは間違いのないように入力してください。入力ミスをした場合は、(BackSpace)キーを押して入力ミスした文字を削除します。パスワードの入力が終わったら、[OK] ボタンをクリックします。

[Windows パスワードの設定] 画面が表示されます。



- 4 登録したパスワードをもう1度入力し、[OK] ボタンをクリックする
[よろこそ] 画面が表示されます。



入力したパスワードが間違っている場合は、メッセージが表示されますので、[OK] ボタンをクリックしてメッセージを消した後、パスワードをもう1度入力し直してください。



● 登録したパスワードを正しく入力できない場合

- 1 [Del]キーで [新しいパスワードの確認入力] のパスワードをすべて削除する
- 2 [Shift]キーと[Tab]キーを同時に押す
カーソルが新しいパスワードの入力に戻ります。
- 3 [Del]キーを押して、いったんパスワードをすべて削除する
- 4 新しいパスワードを入力する
- 5 [Tab]キーを押す
- 6 [新しいパスワードの確認入力] に同じパスワードを入力する
- 7 [OK] ボタンをクリックする

5 (Esc) キーを押す

MS-IME のチュートリアルに進み、入力の練習を行う場合は(M) キーを押してください。入力練習を行わなかった場合、または練習が終了した後に、[Windows 98 へようこそ] 画面が表示されます。



6 名前とふりがなを入力する

名前は必ず入力してください。ふりがなは省略できます。ふりがなを入力するには、名前を入力した後、(Tab) キーを押します。ひらがなや漢字を入力するには、MS-IME を起動します。(Alt) キーを押したまま、(半/全) キーを押してください。

7 [次へ] ボタンをクリックする

[モデムを使って接続する] 画面が表示されます。

ここではインターネット（モデム）への接続は行いません。
インターネットへの接続とオンライン登録は、セットアップ終了
後に行えます。



8 [スキップ] ボタンをクリックする

[ダイヤルのキャンセル] 画面が表示されます。



9 画面の [はい] をチェック (左側の○印をクリック) して、
[次へ] ボタンをクリックする

[Windows ユーザー使用許諾契約] の画面が表示されます。

契約内容を、必ずお読みください。

表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックして画面をスクロールしてください。なお、契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできません。



10 画面の [同意する] をチェック (左側の○印をクリック) して、
[次へ] ボタンをクリックする

[セットアップの完了] 画面が表示されます。



11 [完了] ボタンをクリックする

[日付と時刻のプロパティ] 画面が表示されます。



12 [日付] と [時刻] が正しく設定されているか確認する

正しく設定されていない場合は設定してください。設定後、[適用] ボタンをクリックすると、日付および時刻の設定が確定され、パソコンの時計が動作します。

13 [タイムゾーン] で「(GMT + 09:00) 東京、大阪、札幌」が選択されていることを確認する

「(GMT + 09:00) 東京、大阪、札幌」が選択されていない場合は▼ボタンをクリックし、一覧から選択してください。

14 [閉じる] ボタンをクリックする

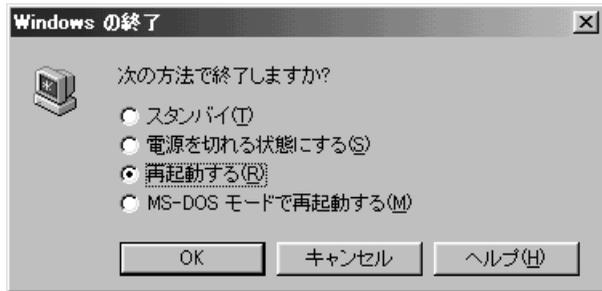
[日付]、[時刻]、[タイムゾーン] を変更した場合は、[OK] ボタンをクリックしてください。

Windows のセットアップが終了します。セットアップ終了後、手動で再起動してください。

15 [スタート] ①→ [Windowsの終了] ②をクリックする



[Windowsの終了] 画面が表示されます。



16 [再起動する] をチェックし、[OK] ボタンをクリックする

 ● 東芝とマイクロソフト社へのユーザ登録を行なってください。

 ユーザ登録 ⇨ 「本章 3 ユーザ登録をする」

■ Windowsの使いかた

Windowsの使いかたについては、同梱されている『ファーストステップガイド Microsoft Windows 98 SECOND EDITION』をご覧ください。

3

ユーザ登録をする

1 東芝へのユーザ登録

本製品をお使いになるにあたって、お客様へのサービス・サポートを充実させるために東芝へのお客様登録をおすすめしています。

東芝パソコンをさらに便利に使っていただくためのノウハウ、新商品やイベント情報のご案内などの特典があります。

登録は、インターネットまたは同梱されている「登録はがき」で行います。

■ 東芝ホームページから登録する

インターネットに接続するための設定を行なった後、次のアドレスを入力して、表示された画面から登録してください。

http://www3.toshiba.co.jp/tpmc/userj/index_j.htm

■ 「東芝 PC お客様登録」を使う

インターネットでユーザ登録をするための「東芝 PC お客様登録」を使用できます。

[スタート] → [プログラム] → [東芝 PC お客様登録] → [東芝 PC お客様登録] をクリックし、表示される画面に従って設定を行なってください。

お使いの状況に従って、次の3つから選択してください。

- **【インターネットプロバイダと未契約の方】：**
インターネットプロバイダ「infoPepper」に入会することになります。接続した時間などに応じて、料金がかかりますので、あらかじめご了承ください。
- **【インターネットプロバイダと契約済みの方、もしくは LAN 経由でインターネットに接続されている方】：**
インターネットに接続してユーザ登録できます。
- **【インターネット経由での登録を希望しない方】：**
はがきでユーザ登録するメッセージが表示されます。

2 その他のユーザ登録

マイクロソフト社へのユーザ登録

本製品に用意されているマイクロソフト社製品のサービス・サポートを受けることができます。

登録は、インターネットまたは同梱されている「登録はがき」で行います。

■ インターネットで登録する場合

インターネットに接続するための設定を行なった後、次のように登録します。

● Windows 2000 の場合

- ① [スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [システムツール]
→ [はじめに] をクリックする
- ② [今すぐ登録] をクリックする

● Windows 98 の場合

- ① [スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [システムツール]
→ [Windows へようこそ] をクリックする
- ② [今すぐ登録] をクリックする

その他のアプリケーションのユーザ登録

本製品に用意されている各アプリケーションのユーザ登録については、各アプリケーションのヘルプをご覧ください。

また、各アプリケーションのお問い合わせについては、「9章 5 アプリケーションのお問い合わせ先」をご覧ください。

2章 電源を入れる／切る

- 1 電源を入れる 36
- 2 電源を切る 39
- 3 再起動する 41

1

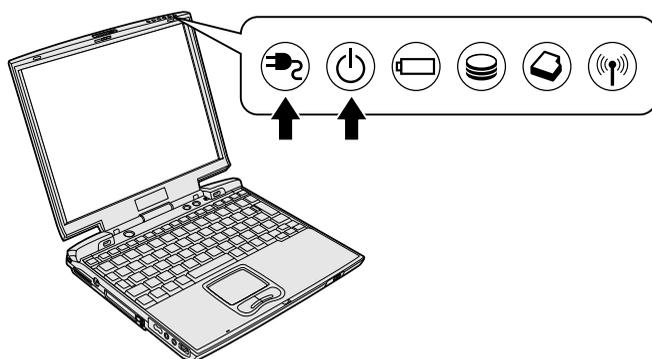
電源を入れる

ここでは、Windows セットアップを終えた後で、電源を入れる方法について説明します。

 初めて電源を入れるとき ➡ 「1 章 セットアップ」

電源に関する表示

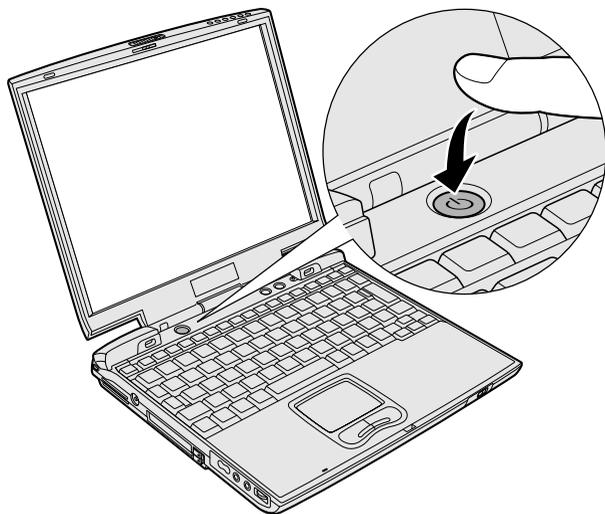
電源の状態は次のシステムインジケータの点灯状態で確認することができます。



	状態	パソコン本体の状態
DC IN  LED	緑の点灯	ACアダプタを接続している
	オレンジの点滅	異常警告 ACアダプタ、バッテリー、またはパソコン本体の異常
	消灯	ACアダプタを接続していない
Power  LED	緑の点灯	電源ON
	オレンジの点滅	スタンバイ中
	消灯	電源OFF

操作手順

- 1 周辺機器を接続している場合は、周辺機器の電源を入れる
- 2 Power  LED が緑色に点灯するまで、電源スイッチを押す



Windows が起動します。
パソコンの設定によっては、メッセージが表示されます。
スタンバイ、休止状態を実行した場合は、電源を切る直前の状態
が表示されます。



スタンバイ、休止状態

➡ 「4 章 3 パソコンの使用を中断する／簡単に電源を切る」

パスワードを設定している場合

パスワードを設定している場合は、電源を入れると次のメッセージが表示されます。

Password =

設定したパスワードを入力し、(Enter)キーを押してください。



- スタンバイ機能、休止状態を実行している場合は、電源を入れた直後に表示されます。
- パスワードの入力ミスが3回繰り返された場合は、自動的に電源が切れます。



パスワードについて ⇨ 「6章 3 パスワードセキュリティ」

メッセージが表示される場合

不明なメッセージについては、「7章 2- 不明なメッセージが出た！」をご覧ください。

2

電源を切る

正しい手順で電源を切らないとパソコンが故障したりデータが壊れる原因になりますので、必ず正しい手順で操作してください。

パソコンの使用を一時的に中断したいときには、スタンバイまたは休止状態にする方法もあります。



参照 スタンバイ、休止状態

➔ 「4章 3 パソコンの使用を中断する／簡単に電源を切る」

電源を切る前に

- 必要なデータは保存してください。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- Disk LED、Slim Select Bay LED、SD Card LED が点灯中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。

操作手順

■ Windows 2000 の場合

1 [スタート] ① → [シャットダウン] ② をクリックする



- 2 ▼ ボタンをクリックし①、[シャットダウン] を選択する②



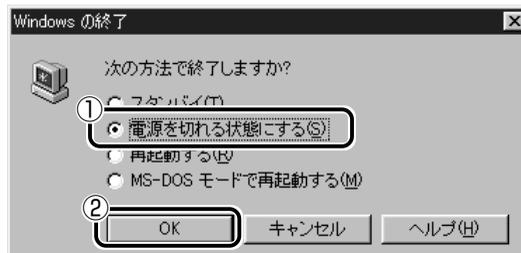
- 3 [OK] ボタンをクリックする

■ Windows 98 の場合

- 1 [スタート] ① → [Windows の終了] ②をクリックする



- 2 [電源を切れる状態にする] がチェックされていることを確認し①、[OK] ボタンをクリックする②



3

再起動する

■ Windows 2000 の場合

1 [スタート] ① → [シャットダウン] ② をクリックする



2 ▼ ボタンをクリックし①、[再起動] を選択する②



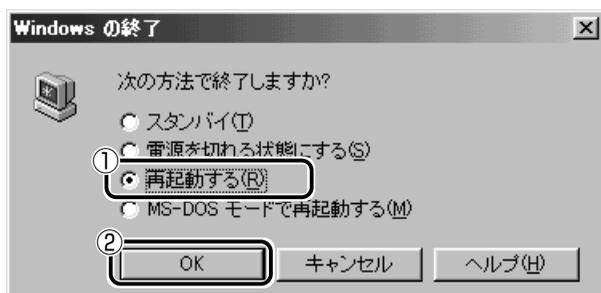
3 [OK] ボタンをクリックする

■ Windows 98 の場合

1 [スタート] ① → [Windows の終了] ② をクリックする



2 [再起動する] をチェックし①、[OK] ボタンをクリックする②



3章 本体の機能

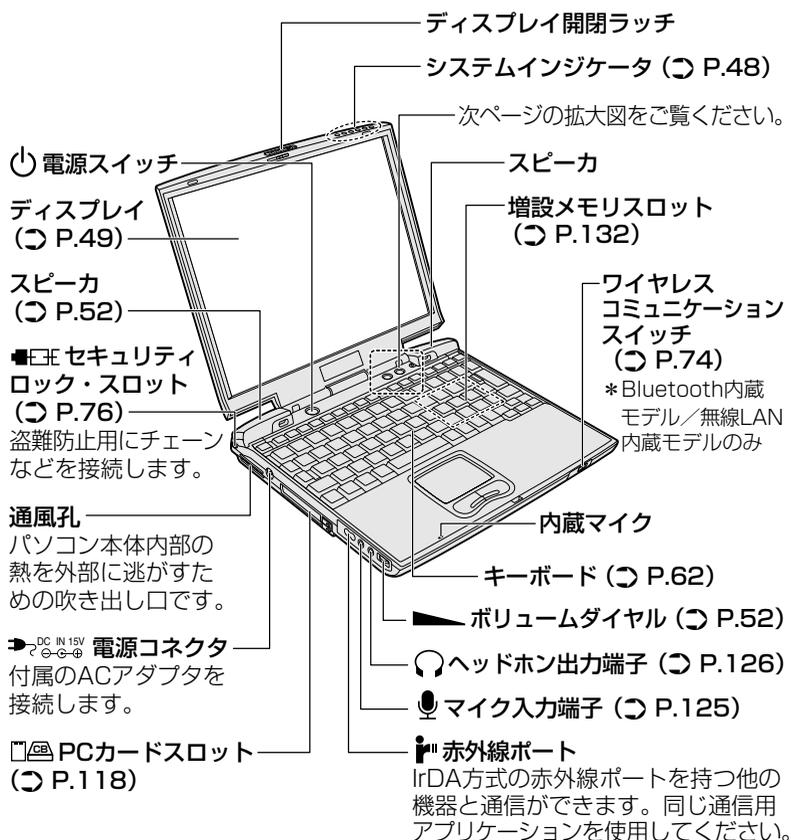
1	各部の名称	44
2	システムインジケータ	48
3	ディスプレイ	49
4	ハードディスクドライブ	51
5	音量の調節	52
6	内蔵モデム	54
7	タッチパッド	60
8	キーボード	62
9	CD-ROM ドライブ	70
10	Bluetooth / 無線 LAN	74
11	ワンタッチボタン	75
12	セキュリティロック	76

1

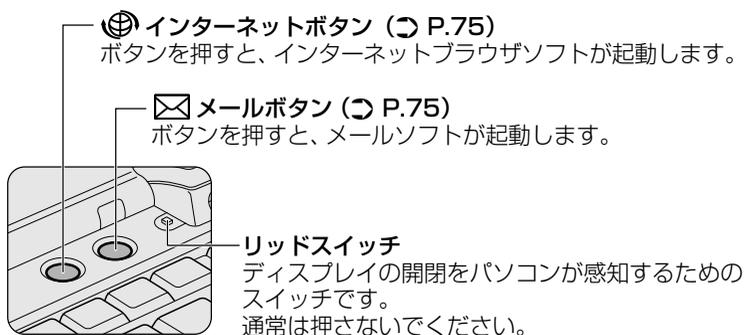
各部の名称

ここでは、各部の名称と機能を簡単に説明します。
それぞれについての詳しい説明は、それぞれに関連する節で行います。

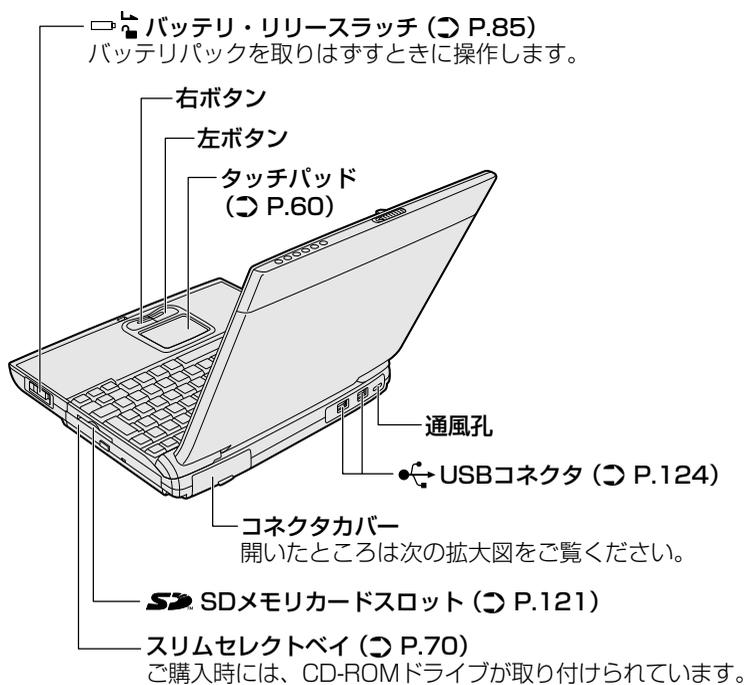
■ 前面図



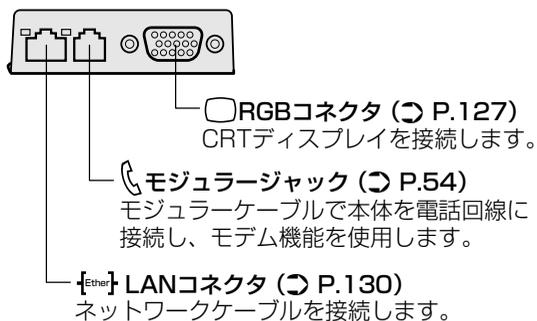
【点線部の拡大図】



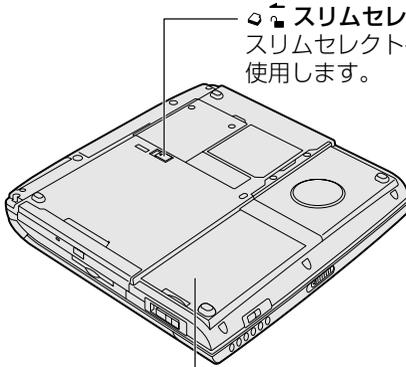
■ 背面図



【コネクタカバーを開いたところ】



■ 裏面図

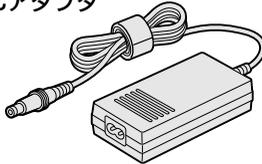


◀ スリムセレクトベイラッチ (⇒ P.103)
スリムセレクトベイ機器を差し替えるときに
使用します。

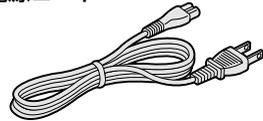
▶ バッテリーパック (⇒ P.78)
バッテリーパックを充電すると、バッテリー駆動
(ACアダプタを接続しない状態) で使用できます。

■ 付属品

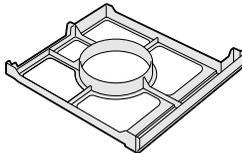
ACアダプタ



電源コード



ウェイトセーバ



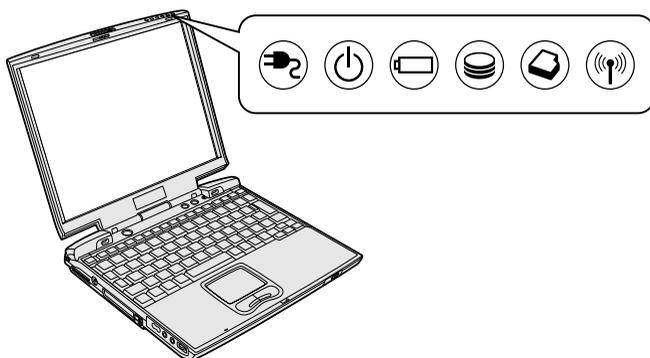
モジュラーケーブル



2

システムインジケータ

システムインジケータの点灯状態によって、パソコン本体がどのような動作をしているか知ることができます。



	DC IN LED	電源コードの接続 ☞ 「2章 1 電源を入れる」
	Power LED	電源の状態 ☞ 「2章 1 電源を入れる」
	Battery LED	バッテリーの状態 ☞ 「4章 1 バッテリーについて」
	Disk LED	標準ハードディスクにアクセスしている ☞ 「本章 4 ハードディスクドライブ」
	Slim Select Bay LED	スリムセレクトベイに取り付けられている機器へのアクセス状態またはセカンドバッテリー（別売り）の充電状態 ☞ 「本章 9 CD-ROMドライブ」 ☞ 「4章 1 バッテリーについて」
	ワイヤレスコミュニケーション LED	Bluetoothまたは無線LAN機能の状態 ☞ 「本章 10 Bluetooth／無線LAN」

3

ディスプレイ

本製品には表示装置として TFT 方式カラー液晶ディスプレイ（1024 × 768 ドット）が内蔵されています。

また、本製品の外部に CRT ディスプレイを接続して使用できます。

 CRT ディスプレイの接続 ◯ 「5 章 8 CRT ディスプレイを接続する」

■ 表示について

TFT 方式のカラー液晶ディスプレイは非常に高精度な技術を駆使して作られていますが、一部に表示不良画素（欠け・常時点灯など）が存在することがあります。これらの表示不良画素は、少量に抑えるように管理していますが、現在の最先端の技術でも表示不良画素をなくすることは困難ですので、ご了承ください。

■ 表示可能色数

設定した解像度によって、次にあげる色数まで表示できます。

1600 × 1200 ドット	65,536 色
1280 × 1024 ドット	65,536 色
1024 × 768 ドット	1,677 万色
800 × 600 ドット	1,677 万色
640 × 480 ドット	1,677 万色

1600 × 1200、1280 × 1024 ドットの解像度は仮想スクリーン表示になります。

 ● 1,677 万色はディザリング表示です。

画面の輝度を変更する

■ 画面の輝度を暗くする

1 (Fn) + (F6) キーを押す

■ 画面の輝度を明るくする

1 (Fn) + (F7) キーを押す

液晶ディスプレイの点灯直後は、約 18 秒間、輝度の変更はできません。その間、液晶ディスプレイの点灯を安定させるため、自動的に最高輝度となります。

解像度を変える

- 1 [コントロールパネル] を開き、[画面] アイコン () をダブルクリックする
または、
デスクトップ上の何も無いところで右クリックし、[プロパティ] をクリックする
[画面のプロパティ] 画面が表示されます。
- 2 [設定] タブで、[画面の領域] を変更する
パソコンの絵の中に、プレビューが表示されます。
- 3 [OK] ボタンをクリックする

4

ハードディスクドライブ

本製品の内蔵ハードディスクドライブは、取りはずしはできません。
また、本製品のスリムセレクトベイにセカンドハードディスク（別売り）を取り付けて記憶容量を増やすこともできます。



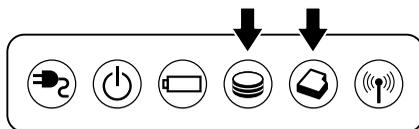
セカンドハードディスクについて

➔ 「5章 2 スリムセレクトベイ機器を差し替える」

ハードディスクドライブに関する表示

標準ハードディスクとデータをやり取りしているときは、Disk  LEDが点灯します。

また、スリムセレクトベイに取り付けたセカンドハードディスク（別売り）とデータをやり取りしている場合は、Slim Select Bay  LEDが点灯します。



- Disk  LED、Slim Select Bay  LEDが点灯中は、パソコン本体を動かさないでください。ハードディスクドライブが故障したり、データが消失するおそれがあります。
- ハードディスクに保存しているデータや重要な文書などは、万一故障が起ったり、変化／消失した場合に備えて、定期的にバックアップ（外部メディアなどに保存）しておいてください。記憶内容の変化／消失など、ハードディスク、外部メディアなどに保存した内容の損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。
- 磁石、スピーカなど磁気を発するものの近くに置かないでください。記憶内容が変化／消失するおそれがあります。
- パソコン本体を落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。ハードディスクの磁性面に傷が付いて、使えなくなることがあります。磁性面に付いた傷の修理はできません。

5

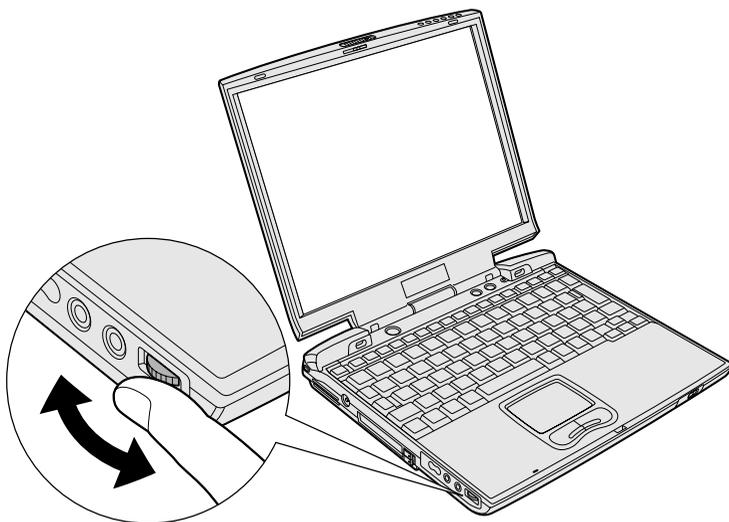
音量の調節

本製品はサウンド機能を内蔵し、スピーカを用意しています。
スピーカの音量調節について説明します。

- メモ** ● 使用するアプリケーションによっては、外部マイクとスピーカでハウリングを起こし、高く大きな音が発生することがあります。
この場合は、次のようにしてください。
- ・ 本製品のボリュームダイヤルで音量を調節する
 - ・ 使用しているアプリケーションの設定を変える
 - ・ 外部マイクをスピーカから離す

ボリュームダイヤルで調節する

音量を大きくしたいときには奥に、小さくしたいときには手前に回します。



(Fn) + **(Esc)** キーを使う

- 1 **(Fn)** キーを押したまま、**(Esc)** キーを押す
スピーカのミュート／ミュート解除が切り替わります。

ボリュームコントロールで調節する

- 1 タスクバー上の [音量] アイコン () をダブルクリックする
または、
[スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [エンターテインメント] → [ボリュームコントロール] をクリックする
画面は Windows 2000 の表示例です。



- 2 各項目のつまみを上下にドラッグして調節する
つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。[ミュート] をチェックすると消音となります。

詳しくはメニューバーから [ヘルプ] → [トピックの検索] をクリックしてヘルプをご覧ください。

6

内蔵モデム

内蔵モデムは、ITU-T V.90 に準拠しています。通信先のプロバイダが V.90 以外の場合は、最大 33.6kbps で接続されます。

■ 使用上のお願い

- 雷雲が近づいてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラージャックから抜いてください。電話回線に落雷した場合、モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。
- モジュラーケーブルをパソコン本体のモジュラージャックに接続した状態で、モジュラーケーブルを引っ張ったり、パソコン本体の移動をしないでください。モジュラージャックが破損するおそれがあります。
- 市販の分岐アダプタを使用して他の機器と並列接続した場合、本モデムのデータ通信や他の機器の動作に悪影響を与えることがあります。
- 回線切換器を使用する場合は、両切り式のもの（未使用機器から回線を完全に切り離す構造のもの）を使用してください。



- PC カード接続のハードディスクドライブや CD-ROM ドライブなどの動作中に、通信を行なった場合、次の現象が発生することがあります。
 - ・通信回線の速度が遅くなる
 - ・通信回線が切断される
 - ・ダイヤルに失敗する

■ AT コマンド

AT コマンドの説明については、「アプリケーション CD」、「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」をセットして表示される画面をご覧ください。

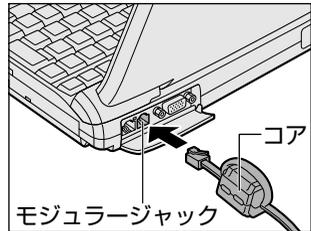
モジュラーケーブルの取り付け

モジュラーケーブルを取り付けて、内蔵モデムを使用する前に、あらかじめ『安心してお使いいただくために』を必ずお読みになり、注意事項をお守りください。

1 パソコン本体背面のコネクタカバーを開く

2 モジュラーケーブルのコアがある方のプラグをパソコン本体のモジュラージャックに差し込む

カチッと音がするまで確実に押し込んでください。

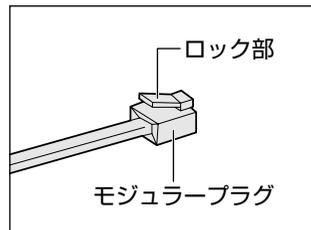


3 もう一方のモジュラープラグを電話機用モジュラープラグに差し込む

ISDN回線に接続する場合は、ご使用のターミナルアダプタ (TA) またはダイヤルアップルータのアナログポートなどに接続してください。

■ モジュラーケーブルを取りはずすとき

モジュラーケーブルを取りはずすときは、モジュラージャックに差し込んであるモジュラープラグのロック部分を押しさえながら抜きます。



海外でインターネットに接続する

本製品の内蔵モデムは、次の地域で使用できます。

アイスランド、アイルランド、アメリカ合衆国、アラブ首長国連邦、イギリス、イスラエル、イタリア、インド、インドネシア、エジプト、エストニア、オーストラリア、オーストリア、オマーン、オランダ、カナダ、韓国、ギリシャ、クウェート、サウジアラビア、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、スロベニア、タイ、台湾、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、ハンガリー、バングラデシュ、フィリピン、フィンランド、フランス、ブルガリア、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マルタ、マレーシア、南アフリカ、モロッコ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ルクセンブルグ、レバノン、ロシア

(2001年10月現在)

海外でモデムを使用する場合、「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」による地域設定を行います。

本製品を日本で使用する場合は、必ず日本モードでご使用ください。他地域のモードでご使用になると電気通信事業法（技術基準）に違反する行為となります。



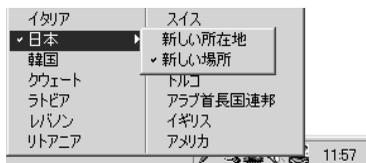
- Windows 2000 の場合、「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」は、Administrators グループのユーザアカウントで起動してください。それ以外のユーザが起動しようすると、エラーメッセージが表示され、起動できないことがあります。

1 [スタート] → [プログラム] → [TOSHIBA Internal Modem] → [Region Select Utility] をクリックする

[Internal Modem Region Select Utility] アイコン () がタスクバーに表示されます。

2 タスクバーの [Internal Modem Region Select Utility] アイコン () をクリックする

内蔵モデムがサポートする地域のリストが表示されます。現在設定されている地域設定と、サブメニューの所在地情報名にチェックマークがつかます。



- 3 使用する地域名または所在地情報名を選択し、クリックする地域名を選択した場合、モデムの地域設定を行なった後、新しく所在地情報を作成します。
この場合、新しく作成した所在地情報が現在の所在地情報になります。
所在地情報名を選択した場合、その所在地情報に設定されている地域でモデムの地域設定を行います。選択された所在地情報が現在の所在地情報になります。

■ その他の設定

- 1 タスクバーの [Internal Modem Region Select Utility] アイコン () を右クリックし、表示されたメニューから項目を選択する

【設定】

チェックボックスをクリックすると、次の設定を変更することができます。

自動起動モード	システム起動時に、自動的に「内蔵モデム用地域選択ユーティリティ」が起動し、モデムの地域設定が行われます。
地域選択後に自動的にダイヤルのプロパティを表示する	地域選択後、  [電話とモデムのオプション]  [ダイヤルのプロパティ] 画面が表示されます。
場所設定による地域選択	 [電話とモデムのオプション]  [ダイヤルのプロパティ] の所在地情報名が地域名のサブメニューに表示され、所在地情報名から地域選択ができるようになります。
モデムとテレフォニーの現在の場所設定の地域コードとが違っている場合にダイアログを表示	モデムの地域設定と、  [電話とモデムのオプション]  [ダイヤルのプロパティ] の現在の場所設定の地域コードが違っている場合に、メッセージ画面を表示します。

【モデム選択】

COM ポート番号を選択する画面が表示されます。内蔵モデムを使用する場合、通常は自動的に設定されますので、変更の必要はありません。

【ダイヤルのプロパティ】

 2000：[電話とモデムのオプション] 画面を表示します。

 98：[ダイヤルのプロパティ] 画面を表示します。

モデムボードの取り付け / 取りはずし

モデムボードを取り付けることによって、モデム機能を使用できます。あらかじめモデムボードが取り付けられているモデルの場合は、取り付け / 取りはずしの作業は必要ありません。また、モデムボードを取りはずした状態で本製品を使用しないでください。

⚠ 警告

- ・本文中で説明されている部分以外は絶対に分解しないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一触ると危険です。

⚠ 注意

- ・モデムボードの取り付け / 取りはずしは、必ず電源を切り、ACアダプタのプラグを抜き、バッテリーパックを取りはずしてから作業を行なってください。電源を入れたまま取り付け / 取りはずしを行うと感電、故障のおそれがあります。
- ・次のような場合、モデムボードの取り付け / 取りはずしは行わないでください。内部が熱くなっているため、やけど、感電、故障のおそれがあります。
 - ・スタンバイ機能を実行中
 - ・LANのウェイクアップ機能を設定しているとき
 - ・電源を切った直後電源を切った後30分以上たってから、行うことをおすすめします。
- ・モデムボードを強く押ししたり、曲げたり、落としたりしないでください。

■ 取り付け

- ① データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る
- ② パソコン本体に接続されているACアダプタとケーブル類をはずす
- ③ パソコン本体を裏返して、バッテリーパックを取りはずす
- ④ パームレストを固定しているネジ3本をはずす
- ⑤ パソコン本体を表にして、ディスプレイを開く
- ⑥ キーボードホルダに指をかけ、取りはずす

- ⑦ キーボード上部のネジ2本をはずす
- ⑧ キーボードの接続ケーブルをはずし、キーボードを取りはずす
- ⑨ パームレストのネジ3本をはずし、パームレストをはずす
- ⑩ モデムボードを取り付け、固定用のネジ2本でとめる
- ⑪ モデムケーブルを接続する
- ⑫ パームレストをパソコン本体に取り付け、手順⑨ではずしたネジ3本でとめる
- ⑬ キーボードの接続ケーブルを接続し、キーボードを取り付ける
- ⑭ キーボードを手順⑦ではずしたネジ2本でとめる
- ⑮ キーボードホルダを取り付ける
- ⑯ ディスプレイを閉じ、パソコン本体を裏返して、パームレストを手順④ではずしたネジ3本でとめる
- ⑰ バッテリーパックを取り付ける

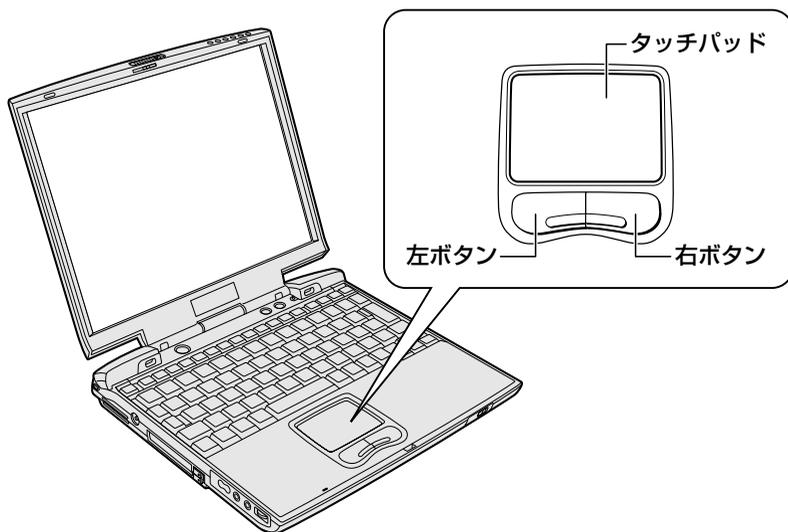
■ 取りはずし

- ① データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る
- ② パソコン本体に接続されているACアダプタとケーブル類をはずす
- ③ パソコン本体を裏返して、バッテリーパックを取りはずす
- ④ パームレストを固定しているネジ3本をはずす
- ⑤ パソコン本体を表にして、ディスプレイを開く
- ⑥ キーボードホルダに指をかけ、取りはずす
- ⑦ キーボード上部のネジ2本をはずす
- ⑧ キーボードの接続ケーブルをはずし、キーボードを取りはずす
- ⑨ パームレストのネジ3本をはずし、パームレストをはずす
- ⑩ モデムケーブルをはずし、モデム固定用のネジ2本をはずす
- ⑪ モデムボードを取りはずす
- ⑫ パームレストをパソコン本体に取り付け、手順⑨ではずしたネジ3本でとめる
- ⑬ キーボードの接続ケーブルを接続し、キーボードを取り付ける
- ⑭ キーボードを手順⑦ではずしたネジ2本でとめる
- ⑮ キーボードホルダを取り付ける
- ⑯ ディスプレイを閉じ、パソコン本体を裏返して、パームレストを手順④ではずしたネジ3本でとめる
- ⑰ バッテリーパックを取り付ける

7

タッチパッド

電源を入れて Windows を起動すると画面上に  (ポインタ) が表示されます。ポインタを操作する装置として、本製品にはタッチパッドと左ボタン／右ボタンが用意されています。



お願い

- タッチパッドを強く押さえたり、ボールペンなど先の鋭いものを使ったりしないでください。タッチパッドが壊れるおそれがあります。

タッチパッドに指を置き、上下左右に動かすと、ポインタが指の方向にあわせて動きます。

クリック	タッチパッドでポインタを合わせて、左ボタンまたは右ボタンを1回押します。
ダブルクリック	タッチパッドでポインタを合わせて、左ボタンをすばやく2回続けて押します。
ドラッグアンドドロップ	左ボタンを押したまま、タッチパッドでポインタを移動します (ドラッグ)。 ドラッグの操作の最後に、目的の場所でボタンから指を離します (ドロップ)。

タッピング

タッチパッドを指で軽くたたくことをタッピングといいます。タッピング機能を使うと、左ボタンを使わなくても、次のような基本的な操作ができます。

クリック	タッチパッドを1回軽くたたきます。
ダブルクリック	タッチパッドを2回軽くたたきます。
ドラッグアンドドロップ	タッチパッドを続けて2回たたき、2回目はタッチパッドから指を離さずに目的の位置まで移動し、指を離します。

タッチパッドや左ボタン／右ボタンは [マウスのプロパティ] で設定を変更できます。

■ [マウスのプロパティ] の設定方法

1 タスクバーの [Touch Pad] () アイコンをダブルクリックする

画面が表示されます。



2 各タブで機能を設定し、[OK] ボタンをクリックする

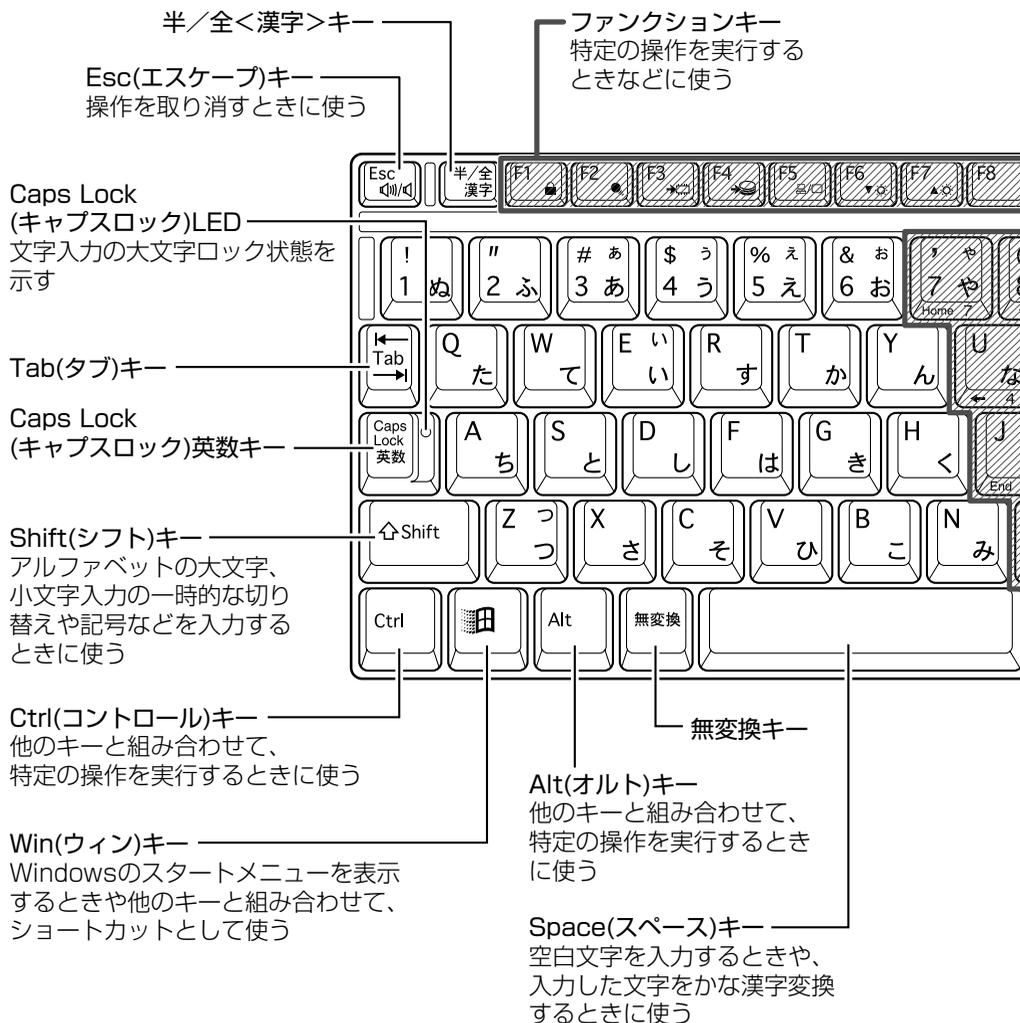
-  ● [マウスのプロパティ] は、[コントロールパネル] から [マウス] アイコンをダブルクリックしても表示できます。

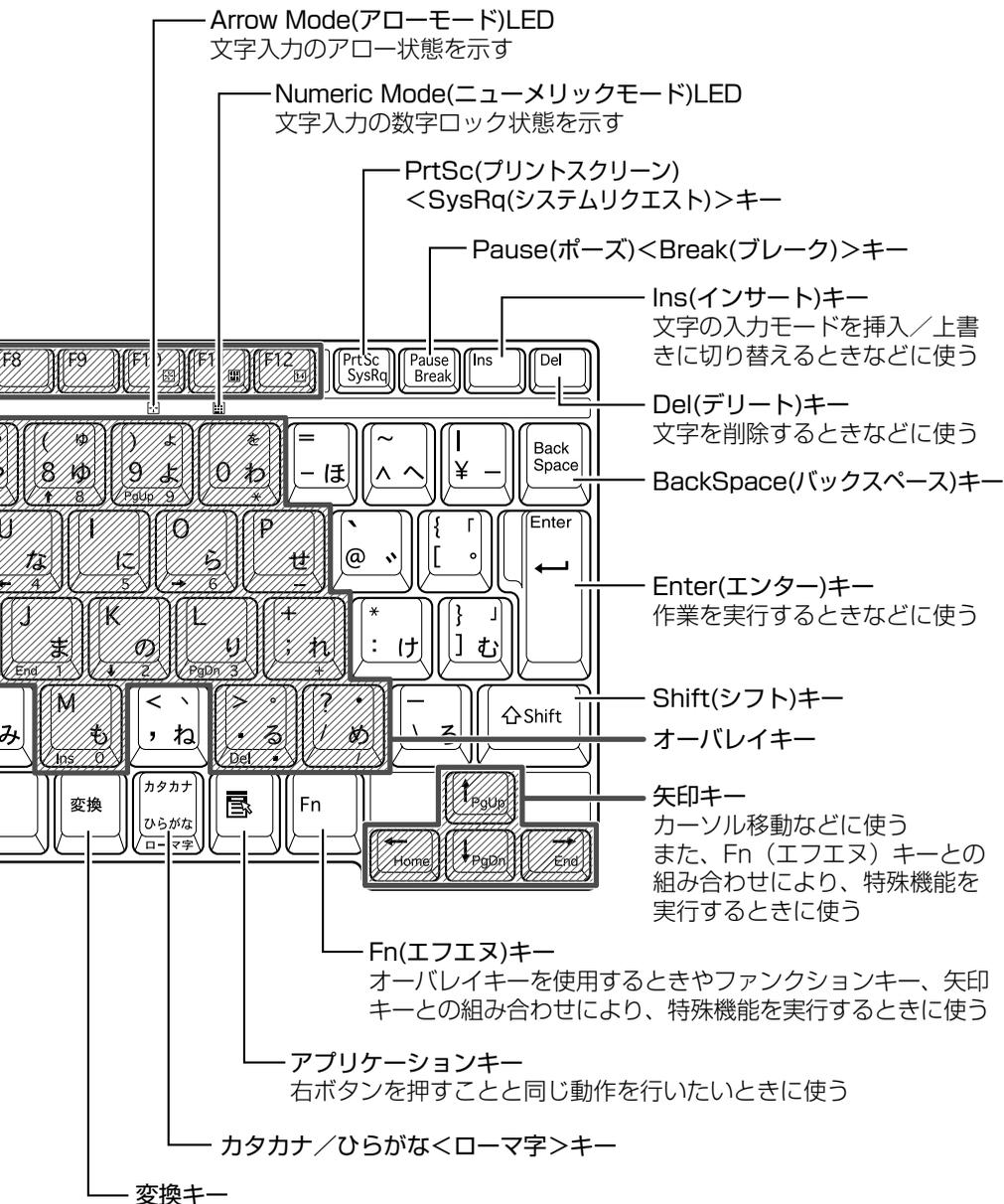
8

キーボード

1 キーボードについて

ここでは基本的な使いかたと、それぞれのキーの意味や呼びかたについて簡単に説明します。





■ 文字キー

文字キーは、文字や記号を入力するときに使います。
文字キーに印刷されている2～6種類の文字や記号は、キーボードの文字入力の状態によって変わります。

■ 左上

(Shift)キーを押しながら押すと、記号やアルファベットの大文字が入力できます。

■ 右上

かな入力ができる状態で (Shift)キーを押しながら押すと、記号、ひらがなのそくおん促音 (小さい「っ」)、ようおん拗音 (小さい「ゃ、ゅ、ょ」)が入力できます。

■ 左下

他のキーは使わず、そのまま押すと、数字やアルファベットの小文字が入力できます。
大文字ロック状態にすると、大文字も入力できます。

■ 右下

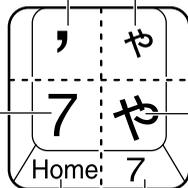
かな入力ができる状態で押すと、ひらがなや記号が入力できます。

■ 前面左

アロー状態のときに押すと、カーソル制御キーとして使えます。

■ 前面右

数字ロック状態のときに押すと、テンキーとして使えます。



 参照  アロー状態、数字ロック状態  「本節 (Fn)キーを使った特殊機能キー」

Fn キーを使った特殊機能キー

キー	内容
Fn + Esc 〈スピーカのミュート〉	内蔵スピーカやヘッドホンの音量をミュート（消音）にします。元に戻すときは、もう 1 度 Fn + Esc キーを押します。
Fn + F1 〈インスタントセキュリティ機能〉	画面右上にカギアイコンが表示された後、画面表示がオフになります。キーボードなどからの入力はできなくなります。 解除するには、次の操作を行なってください。 [画面のプロパティ] の [スクリーンセーバー] タブで、[パスワードによる保護] をチェックしていない場合： Shift キーや Ctrl キーを押す、またはタッチパッドを操作する [画面のプロパティ] の [スクリーンセーバー] タブで、[パスワードによる保護] をチェックしている場合： [パスワードによる保護] は、スクリーンセーバーを選択すると有効になります。 ① Shift キーや Ctrl キーを押す ② パスワード入力画面に次のパスワードを入力し、Enter キーを押す 2000 Windows のログオンパスワード 98 [画面のプロパティ] の [スクリーンセーバー] タブで設定したパスワード
Fn + F2 〈省電力モードの設定〉	Fn + F2 キーを押すと、設定されている「東芝省電力ユーティリティ」の省電力モードが表示されます。 Fn キーを押したまま、F2 キーを押すたびに、省電力モードが切り替わります。
Fn + F3 〈スタンバイ機能の実行〉	Fn + F3 キーを押し、表示される画面で [はい] ボタンをクリックするとスタンバイ機能が実行されます。
Fn + F4 〈休止状態の実行〉	Fn + F4 キーを押し、表示される画面で [はい] ボタンをクリックすると休止状態が実行されます。
Fn + F5 〈表示装置の切り替え〉	表示装置を選択できます。 参照  詳細について ⇒ [5 章 8 CRT ディスプレイを接続する]

<p>(Fn) + (F6) <ディスプレイの輝度を下げる></p>	<p>(Fn)キーを押したまま、(F6)キーを押すたびに画面の輝度が1段階ずつ下がります。表示される画面のアイコンで輝度の状態を確認できます。</p>
<p>(Fn) + (F7) <ディスプレイの輝度を上げる></p>	<p>(Fn)キーを押したまま、(F7)キーを押すたびに画面の輝度が1段階ずつ上がります。表示される画面のアイコンで輝度の状態を確認できます。</p>
<p>(Fn) + (F10) <アロー状態></p>	<p>キー前面左に灰色で印刷された、カーソル制御キーとして使用できます。アロー状態のときは、(F10)キー下のArrow Mode LED が点灯します。アロー状態を解除するには、もう1度(Fn) + (F10)キーを押します。</p>
<p>(Fn) + (F11) <数字ロック状態></p>	<p>キー前面右に灰色で印刷された、数字などの文字を入力できます。数字ロック状態のときは、(F11)キー下のNumeric Mode LED が点灯します。数字ロック状態を解除するには、もう1度(Fn) + (F11)キーを押します。アプリケーション (Microsoft Excel など) によっては異なる場合があります。</p>
<p>(Fn) + (F12) <スクロールロック状態></p>	<p>一部のアプリケーションで(↑)(↓)(←)(→)キーを画面スクロールとして使用できます。ロック状態を解除するには、もう1度(Fn) + (F12)キーを押します。</p>
<p>(Fn) + (↑) <PgUp (ページアップ)></p>	<p>(Fn)キーを押したまま、(↑)キーを押すと、前のページに移動できます。</p>
<p>(Fn) + (↓) <PgDn (ページダウン)></p>	<p>(Fn)キーを押したまま、(↓)キーを押すと、次のページに移動できます。</p>
<p>(Fn) + (←) <Home (ホーム)></p>	<p>(Fn)キーを押したまま、(←)キーを押すと、カーソルが行または文書の最初に移動します。</p>
<p>(Fn) + (→) <End (エンド)></p>	<p>(Fn)キーを押したまま、(→)キーを押すと、カーソルが行または文書の最後に移動します。</p>

キーを使ったショートカットキー

 (ウイン) キーと他のキーとの組み合わせを、次のようにショートカットとして使用できます。

キー	操作
 + (R)	[ファイル名を指定して実行] 画面を表示する
 + (M)	すべてをアイコン化する
(Shift) +  + (M)	すべてのアイコン化を元に戻す
 + (F1)	『Windows のヘルプ』を起動する
 + (E)	 2000 : [マイコンピュータ] 画面を表示する  98 : Windows エクスプローラを起動する
 + (F)	ファイルまたはフォルダを検索する
(Ctrl) +  + (F)	他のコンピュータを検索する
 + (Tab)	タスクバーのボタンを順番に切り替える
 + (Break)	[システムのプロパティ] 画面を表示する

特殊機能キー

特殊機能	キー	操作
カナロック状態	2000 (Ctrl) + (Shift) + (カタカナひらがな) 98 (Ctrl) + (Caps Lock 英数)	カナロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キー右下に印刷されたひらがなを、カタカナで入力できます (*1)。
大文字ロック状態	(Shift) + (Caps Lock 英数)	大文字ロック状態になります。この状態で文字キーを押すと、キー左上に印刷された英字などの文字を、大文字で入力できます (*1)。大文字ロック状態のときは、(Caps Lock 英数)キーの Caps Lock LED が点灯します。
システムの再起動	(Ctrl) + (Alt) + (Del)	2000 : [Windows のセキュリティ] 画面が表示されます。 98 : プログラムの強制終了画面が表示されます。もう 1 度同じキーを押すと、システムを再起動します。
画面コピー	(PrtSc)	現在表示中の画面をクリップボードにコピーします。
	(Alt) + (PrtSc)	現在表示中のアクティブな画面をクリップボードにコピーします。

- * 1 カナロック状態や大文字ロック状態を解除するには、もう 1 度同じキー操作をします。
 ロック状態の優先度は、カナロック状態 > 大文字ロック状態です。


 (Ctrl) + (Alt) + (Del) キーでの再起動について
 ⇨ 「7 章 2 その他 - Q. パソコンが応答しない」

2 日本語を入力するには

本製品には、日本語入力システム MS-IME が用意されています。
日本語入力システムとは、日本語を入力するためのソフトウェアです。

起動したときは、英数字の入力ができるようになっています。次の方法で日本語を入力できるようになります。

 **2000** : (半/全)キーを押す

 **98** : (Alt) + (半/全)キーを押す

日本語入力に切り替わると、IME ツールバーは次のように表示されます。
IME ツールバーは、デスクトップの右端に表示されています。



■ 入力モード

ローマ字入力が既定値になっています。
ローマ字入力とかな入力は次の方法で切り替えられます。

 **2000** : (Ctrl) + (Shift) + (カタカナひらがな)キー

 **98** : (Alt) + (カタカナひらがな)キー

この場合、パソコンを再起動するとローマ字入力に戻ります。
常に同じ入力モードで使用する場合は、次の方法で設定します。

- ① ツールバーの [プロパティ] アイコン () をクリックする
- ② [全般] タブで [ローマ入力/かな入力] の設定をする

■ 漢字変換

入力した文字を漢字変換するには、(Space)キーを押します。
目的の漢字ではない場合は、もう 1 度 (Space)キーを押して、他の漢字を表示します。

さらに (Space)キーを押すと、候補の一覧が表示されます。

(↑) (↓) キーで選択し、(Enter)キーを押します。

 参照  MS-IME の使いかた  『MS-IME のオンラインヘルプ』

-  ● ツールバーの [ヘルプ] アイコン () をクリックし、[目次とキーワード] をクリックすると、MS-IME のオンラインヘルプを見ることができます。

9

CD-ROM ドライブ

本製品のスリムセレクトベイには標準で CD-ROM ドライブが取り付けられています。

別売りのスリムセレクトベイ機器と差し替えることもできます。

 スリムセレクトベイについて

▷ 「5 章 2 スリムセレクトベイ機器を差し替える」

同梱の『安心してお使いいただくために』に、CD をお使いになるときに守っていただきたいことが記述されています。よくお読みください。

⚠ 注意

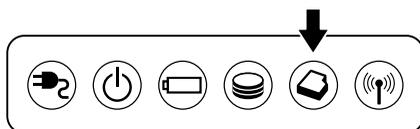
- ・ ディスクトレイ内のレンズおよびその周辺に触れないでください。ドライブの故障の原因になります。
- ・ Slim Select Bay  LED およびディスクトレイ LED が点灯しているときは、イジェクトボタンを押したり、CD を取り出す操作をしないでください。CD が傷ついたり、ドライブが壊れるおそれがあります。
- ・ 電源が入っているときには、イジェクトホールを押さないでください。回転中の CD のデータやドライブが壊れるおそれがあります。
- ・ ドライブのトレイを開けたときに、CD が回転している場合には、停止するまで CD に手を触れないでください。ケガのおそれがあります。



- ドライブに保守・修理が必要になった場合には、お近くの保守サービスにご相談ください。

ドライブに関する表示

ドライブが動作しているときは、Slim Select Bay  LED が点灯します。



1 使用できるCD

読み込みできるCDは、次の種類です。

- 音楽用CD（8cmまたは12cm）
- フォトCD
- CD-ROM

使用するシステムに適合するISO 9660フォーマットのもので使用できます。

- CD エクストラ
- CD-R
- CD-RW



- CD-R、CD-RWは、メディアの特性や書き込み時の特性によって、読み込めない場合もあります。

2 CDのセットと取り出し

CDは、電源が入っているときにセット／取り出しができます。



次の場合は、ディスクトレイはイジェクトボタンを押しても出てこない、またはすぐには出てきません。

- 電源を入れた直後
- リセットした直後
- ディスクトレイを閉じた直後
- Slim Select Bay  LED が点灯しているとき

これらの場合には、Slim Select Bay  LED、ディスクトレイ LED の点滅が終了したことを確認してから、イジェクトボタンを押してください。



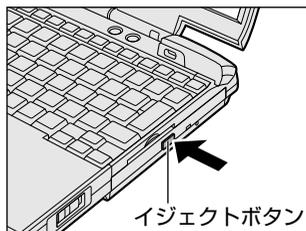
- パソコン本体を持ち運ぶときは、ドライブにCDが入っていないことを確認し、入っている場合は取り出してください。

CDのセット

1 パソコン本体の電源を入れる

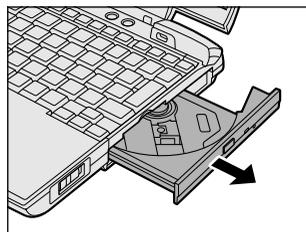
2 イジェクトボタンを押す

イジェクトボタンを押したら、ボタンから手を離してください。ディスクトレイが少し出てきます（数秒かかることがあります）。



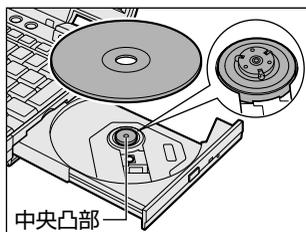
3 ディスクトレイを引き出す

CDをのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。

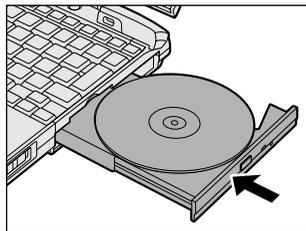


4 文字面を上にして、CDをディスクトレイの中央凸部分に合わせてセットする

カチッと音がして、セットされていることを確認してください。



5 カチッと音がするまで、ディスクトレイを押し戻す



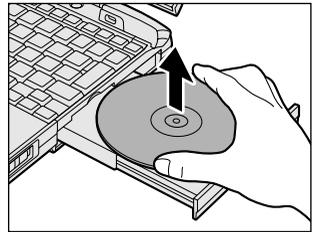
お願い

- CDをディスクトレイにセットするときは、無理な力をかけないでください。
- CDを正しくディスクトレイにセットしないとCDを傷つけることがあります。

- メモ**
- 傷ついたり汚れのひどいCDの場合は、挿入してから再生が開始されるまで、時間がかかる場合があります。正常に再生できない場合もあります。汚れを拭きとってから再生してください。
 - CDの特性や書き込み時の特性によって、読み込めない場合もあります。

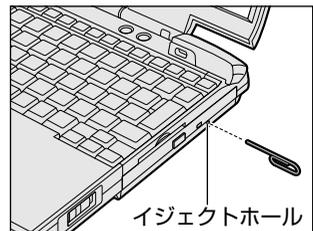
CDの取り出し

- 1 パソコン本体の電源を入れる
- 2 イジェクトボタンを押す
ディスクトレイが少し出てきます。
- 3 ディスクトレイを引き出す
CDをのせるトレイがすべて出るまで、引き出します。
- 4 CDの両端をそっと持ち、上に持ち上げて取り出す
CDを取り出しにくいときは、中央凸部を少し押してください。
簡単に取り出せるようになります。
- 5 カチッと音がするまで、ディスクトレイを押し戻す



【ディスクトレイが出てこない場合】

電源を切っているときにイジェクトボタンを押しても、ディスクトレイは出てきません。故障などで電源が入らない場合は、ドライブのイジェクトホールを、先の細い、丈夫なもの（例えば、クリップを伸ばしたもの）で押してください。ディスクトレイが出てきます。



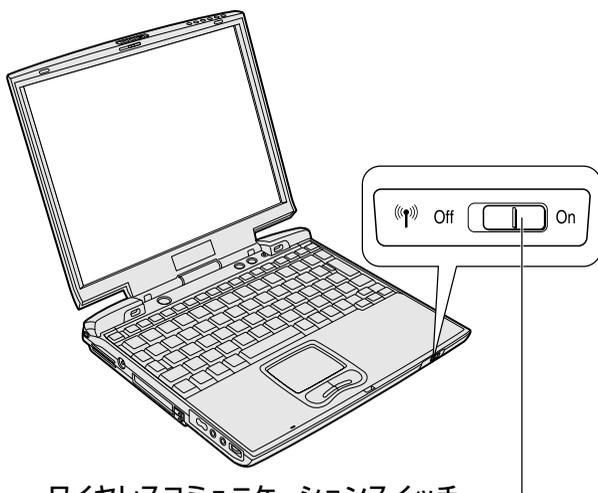
- お願い**
- 電源を入れ、CD-ROMドライブのディスクトレイLEDが点滅しなくなったことを確認してから、イジェクトボタンを押してください。点滅しなくなったことを確認しないと、ディスクトレイが出てこない場合があります。

10

Bluetooth / 無線 LAN

本製品は、モデルによって Bluetooth または無線 LAN の機能を内蔵しています。

* Bluetooth 内蔵モデル、無線 LAN 内蔵モデルのみ



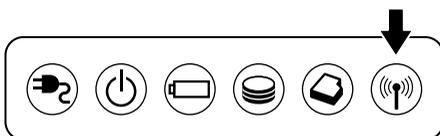
ワイヤレスコミュニケーションスイッチ

Bluetooth または無線 LAN の機能を使用するかしないかを切り替えます。

使用するときには右側 (On) に、使用しないときは左側 (Off) に切り替えてください。

通信に関する表示

ワイヤレスコミュニケーションスイッチを On (右側) にしているときは、ワイヤレスコミュニケーション  LED がオレンジ色に点灯します。

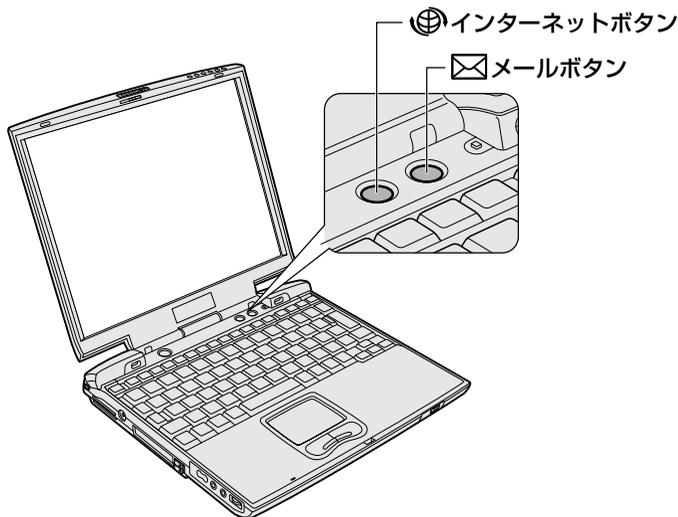


Bluetooth または無線 LAN 機能の使用方法については、 「アプリケーション CD」、 「アプリケーション & ドライバ CD-ROM」から『Bluetooth について』または『無線 LAN について』をご覧ください。

11

ワンタッチボタン

本製品には2つのワンタッチボタンがあります。
ボタンを押すだけで、簡単にインターネットブラウザソフトやメールソフト
を起動することができます。



各ボタンを押すと設定されているアプリケーションが起動します。
起動するアプリケーションは、[コントロールパネル]の「東芝コントロール」
で自由に変更できます。ご購入時に各ボタンに設定されているアプリケー
ションは次のとおりです。

- ・インターネットボタン Internet Explorer
- ・メールボタン Outlook Express

【パソコン本体の電源が入っていないとき】

電源が入り、設定されているアプリケーションが起動します。

【スタンバイ状態／休止状態のとき】

スタンバイ状態／休止状態を実行する直前の状態が再現されてから、
設定されているアプリケーションが起動します。

12

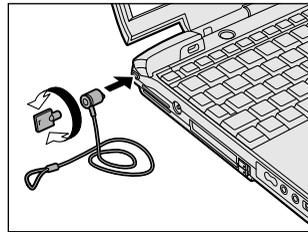
セキュリティロック

セキュリティロック・スロットに、チェーンなどを接続して、盗難を防止します。



- セキュリティロック用の機器については、本製品に対応のものかどうかを販売店にご確認ください。

- 1 セキュリティロック・スロットに市販のセキュリティロック用の機器を接続する



4章 モバイルしよう

- 1 バッテリーについて 78
- 2 省電力の設定をする 86
- 3 パソコンの使用を中断する
／簡単に電源を切る 91

1

バッテリーについて

パソコン本体には、バッテリーパックが取り付けられています。
バッテリーを充電して、バッテリー駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使うことができます。

バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめACアダプタを接続してバッテリーの充電を完了（フル充電）させます。または、フル充電したバッテリーパックを取り付けます。

ご購入時は、バッテリーはフル充電されていませんので、本製品を初めてお使いになるときは、バッテリーを充電してからお使いください。

また、本製品のスリムセレクトベイにセカンドバッテリーパック（別売り）を取り付けて使用できます。



セカンドバッテリーパックの取り付け

➡ 「5章 2 スリムセレクトベイ機器を差し替える」

本製品のマニュアル『安心してお使いいただくために』に、バッテリーパックをお使いになるときに守っていただきたい重要事項が記載されています。
バッテリー駆動で使う場合は、あらかじめその記載をよくお読みになり、必ず指示をお守りください。



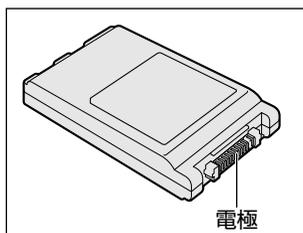
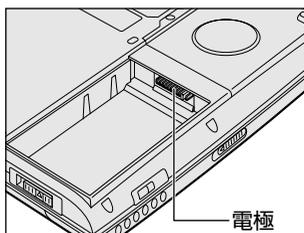
『安心してお使いいただくために バッテリーパックの取り扱いについて』

⚠ 警告

- ・バッテリーパックは、必ず本製品に付属の製品を使用してください。また、寿命などで交換する場合は、東芝純正バッテリー（TOSHIBA バッテリーパック：PABAS012）をお買い求めください。指定以外の製品は、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため発煙、火災のおそれがあります。

⚠ 注意

- ・バッテリーパックの充電温度範囲内（10～30℃）で充電してください。充電温度範囲内で充電しないと、液もれや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。
- ・別売りのバッテリーパックをお買い上げ後、初めて使用する場合にサビ、異臭、発熱などの異常があると思われるときは使用しないでください。お買い求めの販売店または、お近くの保守サービスに点検を依頼してください。
- ・バッテリー駆動で使用しているときは、バッテリーの残量に十分注意してください。
バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）を使いきってしまうと、スタンバイが効かなくなり、電源が切れて、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。また、時刻や日付に誤差が生じます。このような場合は、全バッテリーを充電してください。
- ・バッテリーパックの取り付け／取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行なってください。スタンバイを実行している場合は、バッテリーパックの取りはずしをしないでください。データが消失します。
- ・本体側の電極に手を触れないでください。故障の原因になります。



バッテリーを節約する

バッテリーを節約して、本製品をバッテリー駆動で長時間使用するには、次の方法があります。

- こまめに休止状態にする

 休止状態 ⇨ 「本章 3 パソコンの使用を中断する／簡単に電源を切る」

- 入力しないときは、ディスプレイを閉じておく

 ディスプレイを閉じる
⇨ 「本章 3 パソコンの使用を中断する／簡単に電源を切る」

- 省電力モードに設定する

 省電力設定 ⇨ 「本章 2 省電力の設定をする」

時計用バッテリー

本製品には、取りはずしができるバッテリーパックの他に、内蔵時計を動かすための時計用バッテリーが内蔵されています。

時計用バッテリーの充電は、パソコン本体の電源が入っているときに行われますので、普通に使用しているときは、あまり意識して行う必要はありません。ただし、あまり充電されていない場合、時計が止まったり、遅れたりすることがあります。充電完了までの時間は次のとおりですが、実際には充電完了まで待たなくても使用できます。また、充電状態を知ることはできません。

■ 充電完了までの時間

状態	時計用バッテリー
電源ON	8時間

-  ● 時計用バッテリーが切れていると、時間の再設定をうながす Warning（警告）メッセージが出ます。

1 バッテリーを充電する

ここでは、バッテリーの充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。

充電方法

1 パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源コードをコンセントにつなぐ

DC IN  LED が緑色に点灯して Battery  LED がオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。

パソコン本体に AC アダプタを接続すると、電源の ON/OFF にかかわらず、フル充電になるまで充電されます。

2 Battery LED が緑色になるまで充電する

バッテリーの充電中は Battery  LED がオレンジ色に点灯します。

DC IN  LED が消灯している場合は、通電していません。AC アダプタ、電源コードの接続を確認してください。



- バッテリーパックが極端に熱いか冷えていると、正常に充電されないことがあります。バッテリーを充電するには、10～30℃の室温で充電してください。



- パソコン本体を長時間で使用にならないときは、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- スリムセレクトベイにセカンドバッテリーパックを取り付けている場合は、標準のバッテリーパックから充電が開始されます。
- AC アダプタを長時間接続したまま使うと、バッテリー駆動時間が短くなることがあります。1ヶ月に1度はバッテリー駆動で使用し、再充電してください。

■ 充電時間

フル充電になるまでの充電時間の目安は次のとおりです。

状態	電源ON	電源OFF
標準のバッテリーパック	約3~9時間	約3時間
セカンドバッテリーパック	約3~8時間	約3時間

(注) 周囲の温度が低いとき、バッテリーの温度が高くなっているとき、周辺機器を取り付けている場合は、この時間よりも長くかかることがあります。

■ 使用できる時間

バッテリー駆動での使用時間は、パソコン本体の使用環境によって異なります。

次の時間は目安にしてください。

【充電完了の状態で使用した場合】

対象モデル	DS75P/2	DS60C/2
標準のバッテリーパック	約3.7時間	約3.5時間
標準のバッテリーパックとセカンドバッテリーパックの両方	約7.5時間	約6.7時間

(注) 当社使用のプログラムで計測

■ 使っていないときの充電保持時間

パソコン本体を使わないで放置していても、バッテリー充電量は少しずつ減っていきます。この場合も放置環境などに左右されますので、保持時間は、目安にしてください。

【フル充電した状態で電源を切った場合】

パソコン本体の状態	保持時間
電源切断または休止状態	約60日
スタンバイ	約5日



- スタンバイを実行した場合、放電しきるまでの時間が非常に短い
ため、バッテリー駆動時は休止状態にすることをおすすめします。

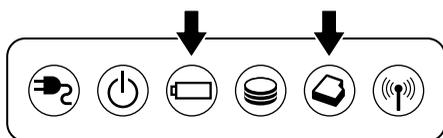
2 バッテリー充電量を確認する

バッテリー駆動で使う場合、バッテリーの充電量が減って途中で作業を中断したりしないよう、バッテリーの充電量を確認しておく必要があります。バッテリー充電量を確認するには、次の方法があります。

LED で確認する

AC アダプタを使用している場合、Battery  LED が緑色に点灯すれば充電完了です。

また、スリムセレクトベイにセカンドバッテリーパック（別売り）を取り付けている場合は、Slim Select Bay  LED が緑色に点灯すれば充電完了です。



バッテリー駆動で使用しているときにオレンジ色に点滅した場合は、バッテリーの充電が必要です。LED の色は次の状態を示しています。

緑	充電完了
オレンジ	充電中
オレンジの点滅	充電が必要
消灯	<ul style="list-style-type: none">・バッテリーが接続されていない・ACアダプタが接続されていない・バッテリー異常

タスクバーの [省電力] アイコンで確認する

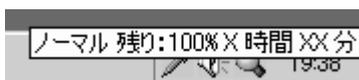
タスクバーの [省電力] アイコン () の上にポインタを置くと、バッテリー充電量が表示されます。

このときバッテリー充電量以外にも、現在使用している省電力モード名や、使用している電源の種類が表示されます。バッテリー駆動で使用している場合には、バッテリー動作予想時間も表示されます。

- AC アダプタを接続している場合



- バッテリー駆動の場合



-  ● タスクバーに表示される [省電力] アイコンは現在使用されている省電力モードにより変わります。
- 東芝省電力ユーティリティ ([コントロールパネル] → [東芝省電力]) の設定内容によっては、タスクバーに [省電力] アイコンが表示されません。表示させたいときは、[電源設定] タブで [タスクバーに省電力モードの状態を表示する] をチェックしてください。

バッテリー充電量が減少したとき

電源が入っている状態でバッテリーの充電量の減少が進むと、次のように警告します。

- Battery  LED がオレンジ色に点滅する (バッテリーの減少を示しています)

上記のような警告が起こった場合はただちに次のいずれかの方法で対処してください。

- パソコン本体に AC アダプタを接続し、通電する
- 電源を切ってから、フル充電のバッテリーパックと取り換える

ご購入時の設定では、対処しなかった場合、パソコン本体は自動的に休止状態になり、電源を切ります。



- 長時間使用しないでバッテリーが自然に放電しきってしまったときは、Battery LEDで放電しきったことを知ることはできません。長時間使用しなかったときは、充電してから使用してください。

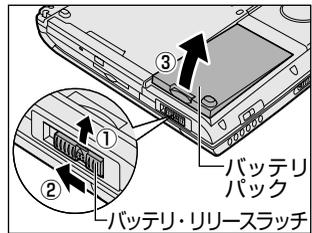
3 バッテリーパックを交換する



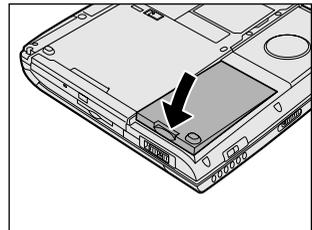
- バッテリーパックの取り付け/取りはずしのときには、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行なってください。

取り付け／取りはずし

- 1 パソコンの電源を切り、パソコン本体からACアダプタと周辺機器のケーブル類をはずす
- 2 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返す
- 3 バッテリー・リリースラッチの△部分を上にずらし①、バッテリー・リリースラッチをスライドしながら②、バッテリーパックを取りはずす③



- 4 交換するバッテリーパックを、カチッという音がするまで、静かに差し込む



- 5 バッテリー・リリースラッチの△部分を下にずらしてロックする

2

省電力の設定をする

バッテリー駆動でパソコンを使用しているときに、消費電力を減らすこと（ディスプレイの明るさを抑えるなど）で、より長い時間お使いいただけます。省電力の設定は「東芝省電力ユーティリティ」から行います。ACアダプタを接続して使う場合には、特に設定する必要はありません。

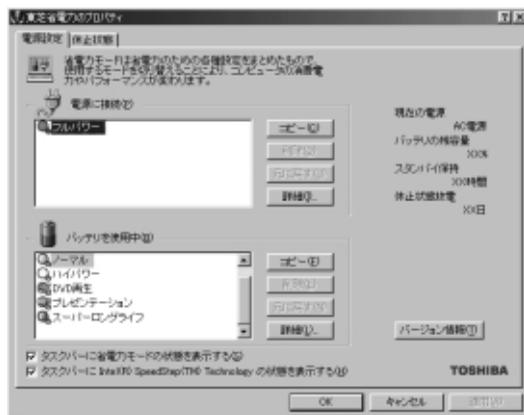
起動方法

- 1 [コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] アイコン（）をダブルクリックする

タスクバーの省電力アイコン（）をダブルクリックしても起動できます。

【電源設定】 タブ

画面はインテル®SpeedStep™テクノロジー搭載モバイルPentium® IIIプロセッサモデルの表示例です。



使用目的や使用環境（モバイル、会社、家など）に合わせて、省電力モードを設定したり、複数の省電力モードを作成できます。環境が変化したときに省電力モードを切り替えるだけで、簡単にパソコンの電源設定を変更することができ、快適にご使用いただけます。また、現在の電源やバッテリー残量などの詳細情報も表示します。

■ [電源に接続] [バッテリーを使用中]

設定可能な省電力モードの一覧が表示されますので、ご使用になる省電力モードに設定します。[電源に接続] [バッテリーを使用中] はACアダプタ接続/バッテリー駆動での使用によって、自動的に切り替わります。

ご購入時にはあらかじめ次の省電力モードが用意されています。これらの省電力モードは、電源の供給状態によって、設定できるモードがあらかじめ決められています。

また、すべての省電力モードを、使用環境や状態に合わせて詳細設定したり、コピー、名前の変更などが行えます。また、新しい省電力モードを作成することもできます。

フルパワー	最高性能で動作します。消費電力が一番大きいモードです。ご購入時の初期状態では、[電源に接続] (ACアダプタを使用するとき) がこのモードに設定されています。
ロングライフ	消費電力を優先して省電力制御を行います。
ノーマル	性能と消費電力を両立して省電力制御を行います。ご購入時の初期状態では、[バッテリーを使用中] (バッテリー駆動で使用するとき) がこのモードに設定されています。
ハイパワー	性能を優先して省電力制御を行います。
DVD再生	性能と消費電力を両立してDVDの再生などに適した省電力制御を行います。
プレゼンテーション	性能と消費電力を両立してプレゼンテーション用ソフトなどの使用に適した省電力制御を行います。
スーパーロングライフ	消費電力を最優先にして省電力制御を行います。

【省電力モードの作成】

- ① 新しく作成する省電力モードのもとになる省電力モードをクリックする
- ② [コピー] ボタンをクリックする
[~のコピー] という省電力モードができます。
- ③ その省電力モードの名前を変更する
- ④ 必要に応じて省電力の設定を変更する

 省電力モードの詳細設定 ⇨ 「本項 省電力モードの詳細設定」

【省電力モードの削除】

① 削除する省電力モードをクリックする

② [削除] ボタンをクリックする

[元に戻す] ボタンをクリックすると直前に行なった削除をキャンセルすることができますが、[閉じる] ボタンをクリックした後は元に戻すことはできません。また、購入時に用意されている7つの省電力モードを削除することはできません。

【タスクバーに省電力モードの状態を表示する】

[タスクバーに省電力モードの状態を表示する] をチェックする () と現在の省電力モードを示す省電力アイコン () がタスクバーに表示されます。

省電力アイコンをダブルクリックすることにより、東芝省電力ユーティリティを開くことができます。

【タスクバーにCPU周波数の状態を表示する】

インテル®SpeedStep™ テクノロジー搭載モバイル Pentium®III プロセッサモデルのみ表示されます。

[タスクバーに Intel(R)SpeedStep(TM)Technology の状態を表示する] をチェックする () と現在のCPU周波数の状態を示すアイコン () がタスクバーに表示されます。

CPU周波数アイコンをクリックすることにより、CPU周波数を変更することができます。

【休止状態】 タブ

休止状態を使用するかしないかの設定を行います。

使用する場合には、[休止状態をサポートする] をチェックします。

省電力モードの詳細設定

省電力モードに関する詳細設定を行います。

■ 起動方法

- ① [電源設定] タブで利用したい省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする
[XX (省電力モード) のプロパティ] の画面が表示されます。

■ [全般] タブ

省電力モードのアイコンを変更したり、その省電力モードを作成した目的や使用環境などを記述できます。また、ここで設定したプログラムがアクティブになったとき、自動的にこの省電力モードに切り替わるように設定できます。

■ [省電力] タブ

省電力に関する設定を自由に編集することができます。ここでは、ディスプレイやハードディスクの電源を切る時間、ディスプレイの輝度、CPUの処理速度などを設定します。また、CPUが高温になったとき、熱を冷ます方式を選択できます。

■ [動作] タブ

ここでは、電源スイッチを押したときやパソコンのディスプレイを閉じたときの動作を設定します。

【スタンバイ】

スタンバイとは、作業を中断したときの状態をメモリに保存する機能です。次に電源スイッチを押すと、状態を再現することができます。

【休止状態】

休止状態とは、パソコン本体の電源を切るときに、メモリの内容をハードディスクに保存する機能です。次に電源を入れると、以前の状態を再現します。

【電源オフ】

Windows を終了して電源を切ります。

 [スタンバイ、休止状態の詳細](#) ⇨ 「[本章 3-1 スタンバイ／休止状態](#)」

- スタンバイおよび休止状態から復帰するときにパスワードの入力を求める
ここをチェックする () と、Windows のパスワードを設定している場合には、スタンバイや休止状態から復活するときに Windows パスワードが要求されます。

-  ●ここに表示している動作設定を他の省電力モードにも設定する場合には、[現在の設定をすべてのモードで使用する] ボタンをクリックします。

■ [アラーム] タブ

バッテリー残量が少なくなったことをユーザに通知する方法および実行する動作を設定します。

[アラーム] タブは [電源設定] タブで [バッテリーを使用中] に登録された省電力モードを選択した場合のみ表示されます。

■ [デバイスの設定] タブ

省電力モードで使用するとき、デバイスを有効/無効にする設定を行います。

詳しい操作方法を知りたいとき (ヘルプの起動)

- 1 [東芝省電力ユーティリティ] を起動後、[東芝省電力のプロパティ] 画面右上の  をクリックする
ポインタが  に変わります。
- 2 画面上の知りたい項目にポインタを置き、クリックする

3

パソコンの使用を中断する ／簡単に電源を切る

1 スタンバイ／休止状態

パソコンの使用を中断したときの状態をメモリに保存するのが「スタンバイ」、ハードディスクに保存するのが「休止状態」です。再び処理を行う（電源スイッチを押す、ディスプレイを開くなど）と、パソコンの使用を中断した時の状態が再現されます。



- スタンバイ中や休止状態では、バッテリーや周辺機器（増設メモリなど）の取り付け／取りはずしは行わないでください。データの消失や感電、故障のおそれがあります。
- スタンバイまたは休止状態を利用しない場合は、データを保存し、アプリケーションをすべて終了させてから、電源を切ってください。データが消失するおそれがあります。
- スタンバイまたは休止状態を実行する前にデータを保存することをおすすめします。
- 休止状態中は、メモリの内容をハードディスクに保存します。Disk LED が点灯中は、バッテリーパックをはずしたり、ACアダプタを抜いたりしないでください。データが消失します。
- 増設メモリの取り付け／取りはずしをすると、休止状態が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

電源スイッチを押したときやディスプレイを閉じたときにスタンバイまたは休止状態にする場合は、設定が必要です。



詳細について

☞ 「本節 2 簡単に電源を切る／パソコンの使用を中断するとき」

スタンバイ

作業を中断したときの状態をメモリに保存する機能です。次に電源スイッチを押すと、状態を再現することができます。

スタンバイを実行するとすばやく状態が再現されますが、休止状態にしたときよりバッテリーを消耗します。バッテリーを使い切ってしまうとデータは消失しますので、スタンバイを実行する場合は、ACアダプタを取り付けてお使いになることをおすすめします。

次のような場合はスタンバイが無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- 誤った使いかたをしたとき
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- バッテリーが消耗したとき
- 故障、修理、バッテリー交換のとき
- バッテリー駆動で使用中にバッテリーパックを取りはずしたとき
- 増設メモリの取り付け／取りはずしのとき



- スタンバイ状態は、表示画面が消えていても電源が入っています。スタンバイ状態でお使いになる場合は、次の「警告」や「注意」の指示を必ずお守りください。

⚠ 警告

- ・ パソコン本体を航空機や病院に持ち込む場合、スタンバイを使用しないで、必ず電源を切ってください。スタンバイ状態のまま持ち込むと、パソコンの電波により、計器や医療機器に影響を与える場合があります。

⚠ 注意

- ・ スタンバイ中は、増設メモリの取り付け／取りはずしを行わないでください。スタンバイ中は電源が入っていますので、増設メモリの取り付け／取りはずしを行うと、感電、故障のおそれがあります。

■ Windows 2000 の場合

1 [スタート] ① → [シャットダウン] ② をクリックする



2 ▼ ボタンをクリックし①、[スタンバイ] を選択する②



3 [OK] ボタンをクリックする

スタンバイ状態になり、Power  LED がオレンジ色に点滅します。

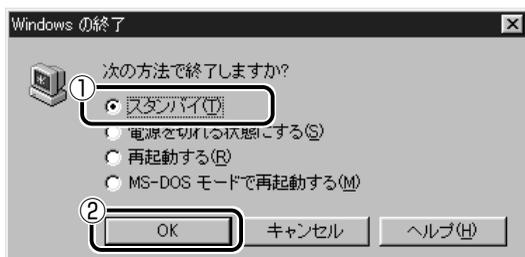
 ● (Fn)+(F3)キーを押して、スタンバイを実行することもできます。

■ Windows 98 の場合

1 [スタート] ① → [Windows の終了] ② をクリックする



2 [スタンバイ] を選択し①、[OK] ボタンをクリックする②



スタンバイ状態になり、Power  LED がオレンジ色に点滅します。

 ● (Fn) + (F3) キーを押して、スタンバイを実行することもできます。

休止状態

パソコンの使用を中断したときの状態をハードディスクに保存します。次に電源を入れると、状態を再現することができます。パソコンをバッテリー駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使用する場合は、休止状態の設定をすることをおすすめします。

ご購入時は、休止状態は有効に設定されています。



- 休止状態にするときは、メモリの内容をハードディスクに書き込んだ後に、電源が切れます。Disk LEDが点灯中は、バッテリーパックをはずしたり、ACアダプタを抜いたりしないでください。

■ Windows 2000 の場合

1 休止状態を有効に設定する

- ① [コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] アイコンをダブルクリックする
- ② [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックする
- ③ [OK] ボタンをクリックする

2 [スタート] ①→ [シャットダウン] ②をクリックする



3 ▼ ボタンをクリックし①、[休止状態] を選択する②



4 [OK] ボタンをクリックする

- メモ ● (Fn) + (F4) キーを押して、休止状態にすることもできます。

■ Windows 98 の場合

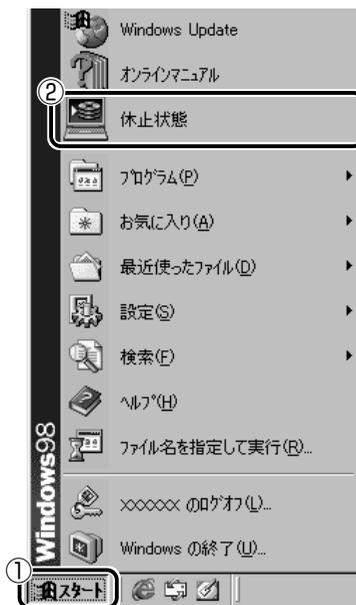
1 休止状態を有効に設定する

- ① [コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] アイコンをダブルクリックする
- ② [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックする
- ③ [OK] ボタンをクリックする

2 [スタート] ①→ [休止状態] ②をクリックする

休止状態を実行して終了します。

[スタート] メニューの項目はあらかじめインストールされているアプリケーションやお客様の設定により異なる場合があります。



メモ ● (Fn) + (F4) キーを押して、休止状態にすることもできます。

2 簡単に電源を切る／パソコンの使用を中断するとき

電源スイッチを押したときやディスプレイを閉じたときに、電源を切る（電源オフ）、またはスタンバイ／休止状態にすることができます。

電源スイッチを押す

休止状態を有効にするには、あらかじめ次の設定が必要です。

ご購入時は、休止状態は有効に設定されています。

- ① [コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] アイコンをダブルクリックする
- ② [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックする (☑)
- ③ [OK] ボタンをクリックする

1 電源スイッチを押したときの動作を設定する

- ① [コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] アイコンをダブルクリックする
- ② [電源設定] タブで設定する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする
- ③ [動作] タブの [電源ボタンを押したとき] で [スタンバイ] [休止状態] [電源オフ] のいずれかを選択する
- ④ [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ [東芝省電力のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

2 電源スイッチを押す

選択した状態で電源を切る、または作業を中断します。

ディスプレイを閉じる（パネルスイッチ機能）

休止状態を有効にするには、あらかじめ次の設定が必要です。
ご購入時は、休止状態は有効に設定されています。

- ① [コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] アイコンをダブルクリックする
- ② [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックする (☑)
- ③ [OK] ボタンをクリックする

1 ディ스플레이を閉じたときの動作を設定する

- ① [コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] アイコンをダブルクリックする
- ② [電源設定] タブで設定する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする
- ③ [動作] タブの [コンピュータを閉じたとき] で [スタンバイ] [休止状態] [電源オフ] のいずれかを選択する
- ④ [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ [東芝省電力のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする



- 手順1の③で [何もしない] を選択すると、パネルスイッチ機能は働きません。

2 ディ스플레이を閉じる

選択した状態で電源を切る、または作業を中断します。

手順1の③で [スタンバイ] または [休止状態] を選択したときは、次にディスプレイを開くと、自動的に状態が再現されます。

5章 周辺機器を使う

- 1 周辺機器を接続する前に 102
- 2 スリムセレクトベイ機器を差し替える 103
- 3 PCカードを接続する 118
- 4 SDメモ리카ードを接続する 121
- 5 USB対応機器を接続する 124
- 6 マイクロホンを接続する 125
- 7 ヘッドホンを接続する 126
- 8 CRTディスプレイを接続する 127
- 9 LANへ接続する 130
- 10 メモリを増設する 132

1

周辺機器を接続する前に

本書で説明していない機器については、それぞれの機器に付属の説明書を参考にしてください。

取り付け／取りはずしの方法は周辺機器によって異なります。

各節を読んでから作業をしてください。

⚠ 注意

- ・電源を入れた状態で機器の取り付け／取りはずしが認められていない周辺機器を接続する場合は、必ずパソコン本体の電源を切り、電源コードのプラグを抜き、バッテリーパックを取りはずしてから作業を行なってください。



- 適切な温度範囲内、湿度範囲内であっても、結露しないように急激な温度変化を与えないでください。冬場は特に注意してください。
- ホコリが少なく、直射日光のあたらない場所で作業をしてください。
- 極端に湿度の高い／低い場所では作業しないでください。
- 静電気が発生しやすい環境では作業をしないでください。
- 本書で説明している場所のネジ以外は、取りはずさないでください。
- 作業時に使用するドライバは、ネジの形、大きさに合ったものを使用してください。
- 本製品を分解、改造すると、保証やその他のサポートは受けられません。

■ パソコン本体へケーブルを接続するとき

ケーブルを接続するときは、次の点に注意して、接続してください。

- パソコン本体のコネクタにケーブルを接続するときは、コネクタの上下や方向をあわせてください。コネクタに無理な力が加わるとピンが折れたり、曲がったりします。
- ケーブルのコネクタに固定用ネジがある場合は、パソコン本体のコネクタに接続した後、ケーブルがはずれないようにネジを締めてください。

2

スリムセレクトベイ機器を差し替える

本製品のスリムセレクトベイには、次にあげる機器を取り付けることができません。

- ・ CD-ROM ドライブ（標準で取り付けられています）
- ・ CD-R/RW ドライブ（別売り）
- ・ マルチドライブ（別売り）
- ・ セカンドハードディスク（別売り）
セカンドハードディスクの他に、セカンドハードディスクアダプタ（別売り）が必要です。
- ・ セカンドバッテリーパック（別売り）

いずれもご使用にならないときは、スリムセレクトベイにウェイトセーバを取り付けてください。

⚠ 注意

- ・ 安全のために、スリムセレクトベイにはスリムセレクトベイ機器またはウェイトセーバのいずれかを取り付けてお使いください。
- ・ Slim Select Bay  LED が点灯しているときには、スリムセレクトベイ機器の差し替えを行わないでください。パソコン本体あるいはスリムセレクトベイ機器が故障する場合があります。また、データが消失するおそれがあります。

1 スリムセレクトベイ機器の差し替え



- パソコン本体の電源を入れたままでスリムセレクトベイ機器の取り付け／取りはずしを行う場合は、パネルスイッチ機能を無効にしてから行なってください。保存していないデータが消失するおそれがあります。



- スリムセレクトベイに取り付けられている機器が最優先起動装置に設定されている場合、その装置を取りはずそうとすると、警告のメッセージが表示されます。

1 スリムセレクトベイ機器を使用するアプリケーションを終了する

2 パネルスイッチ機能を無効にする

- ① [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリックする
- ② [東芝省電力] をダブルクリックする
- ③ [電源設定] タブで利用する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする
- ④ [動作] タブの [コンピュータを閉じたとき] を、[何もしない] に設定する
- ⑤ [OK] ボタンをクリックする
- ⑥ [東芝省電力のプロパティ] で [OK] ボタンをクリックする

3 Disk LED、Slim Select Bay LED、SD Card LED が消灯していることを確認する

-  ● セカンドバッテリーパック、ウェイトセーバを取り出すときは、手順4は不要です。手順5以降の操作を行なってください。

4 スリムセレクトベイ機器の使用を停止する

2000

- ① タスクバーの [ハードウェアの取り外しまたは取り出し] アイコン () をクリックする
- ② 表示されたメニューから [XXXX (スリムセレクトベイ機器名)] をクリックする
- ③ 「安全に取り外すことができます」のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックする

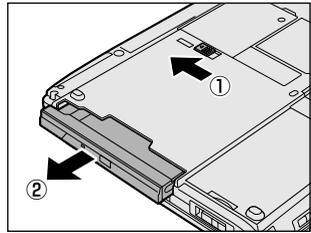
98

- ① タスクバーの [スリムセレクトベイのデバイスを停止します] アイコン () をクリックする
- ② 表示されたメニューから [XXXX (スリムセレクトベイ機器名) を停止します] をクリックする
- ③ 「取り出しても安全です」のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックする

5 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返す

6 スリムセレクトベイラッチをスライドし①、スリムセレクトベイ機器を引き出す②

スリムセレクトベイラッチをスライドさせた状態で、機器をしっかりと手で水平に引き出してください。



7 スリムセレクトベイ機器にアダプタを取り付ける

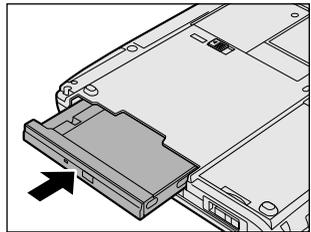
取り付けるスリムセレクトベイ機器に応じて、アダプタを取り付けてください。

CD-ROM ドライブ、CD-R/RW ドライブ、マルチドライブにはアダプタは必要ありません。

 セカンドハードディスク ⇨ 「本節 3 セカンドハードディスク」

 セカンドバッテリーパック ⇨ 「本節 4 セカンドバッテリーパック」

8 スリムセレクトベイに取り付ける機器を裏返し、しっかり差し込むカチッと音がしてスリムセレクトベイラッチがかかるまで差し込んでください。



2 CD-R/RW ドライブ／マルチドライブ

別売りのCD-R/RW ドライブまたはマルチドライブを使用すると、CD-R、CD-RW にデータを書き込むことができます。

またマルチドライブではDVDの迫力ある映像を楽しむことができます。

使用できるCD

■ 読み込みできるCD

- 音楽用CD（8cmまたは12cm）
- フォトCD
- CD-ROM
使用するシステムに適合するISO 9660 フォーマットのものを使用できます。
- CD エクストラ
- CD-R
- CD-RW



● CD-R、CD-RWは、メディアの特性や書き込み時の特性によって、読み込めない場合もあります。

■ 書き込みできるCD

- CD-R
書き込みは1回限りです。書き込まれたデータの削除・変更はできません。
8倍速対応CD-Rメディアをご使用ください。
- CD-RW
1 / 2 / 4倍速対応（マルチスピード）CD-RWメディアまたはHigh-Speed CD-RW（4～10倍速）対応メディアをご使用ください。High-Speed CD-RW対応メディアを使用した場合の書き込み速度は最大8倍速になります。

書き込みのアプリケーションは、ドライブに同梱の「Easy CD Creator」「DirectCD」をお使いください。

使用できる DVD (マルチドライブ)

読み込みできる DVD は、次の種類です。

- DVD-ROM
- DVD-Video

DVD の再生には、マルチドライブに同梱の「InterVideo WinDVD」をお使いください。

-  ● DVD-Video 再生時は、AC アダプタを接続した状態でご使用になることをおすすめします。また、使用する DVD ディスクのタイトルによっては、コマ落ちする場合があります。
- DVD-Video を再生する前に、他のアプリケーションを終了させてください。また、再生中には、他のアプリケーションを起動しないでください。

「InterVideo WinDVD」の Readme ファイルをよくお読みのうえ、ご使用ください。

-  ● DVD-Video 再生ソフト「InterVideo Win DVD」は、Video CD、Audio CD の再生はサポートしていません。

CD-R、CD-RW への書き込みについて

CD-RW、CD-R に書き込みを行うときは、次のご注意をよくお読みのうえご使用ください。

守らずにご使用になると、書き込みに失敗するおそれがあります。また、ご使用のパソコンの設定によっては、書き込みに失敗することがあります。

マルチドライブには書き込みエラーを防ぐバッファアンダーランエラー防止機能を内蔵していますが、電源切断やドライブへのショックなどの本体異常や、記録メディアの状態などによっては、処理が正常に行えずエラーとなる場合があります。

書き込みに失敗した CD-R の損害については、当社は一切その責任を負いません。また、記憶内容の変化・消失など、CD-RW、CD-R に保存した内容の損害および内容の損失・消失により生じる経済的損害といった派生的損害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ CD-RW、CD-R に書き込む前に

- CD-R メディアに書き込む際には、8 倍速対応の CD-R メディアをご使用ください。
- CD-RW メディアに書き込む際には、1 / 2 / 4 倍速対応（マルチスピード）CD-RW メディアまたは High-Speed CD-RW（4～10 倍速）対応メディアをご使用ください。High-Speed CD-RW 対応メディアを使用した場合の書き込み速度は最大 8 倍速になります。
- 次のメーカーの CD-RW、CD-R をご使用になることをおすすめします。
CD-RW : 三菱化学 (株)、リコー (株)
CD-R : 太陽誘電 (株)、三井化学 (株)、三菱化学 (株)、
リコー (株)、日立マクセル (株)
上記以外のメーカーの CD-RW、CD-R をご使用になると、うまく書き込みができない場合があります。
- 必ず AC アダプタを接続して電源コンセントに接続してください。バッテリー駆動で使用しながら書き込みを行うと、バッテリーの消耗などにより書き込みに失敗するおそれがあります。
- スクリーンセーブなど CPU に負担のかかるソフトウェアは動作しないように設定してください。
- ウイルスチェックソフトを起動している場合は、終了させてください。
- 常駐型のディスクユーティリティやディスクのアクセスを高速化するユーティリティなどは、動作の不安定やデータの破損の原因となりますので使用しないことをおすすめします。
- LAN を経由しての書き込みは行わないでください。LAN を経由する場合は、データをいったん本製品のハードディスクに保存してから書き込みを行なってください。
- ドライブに添付の「DirectCD」「Easy CD Creator」以外の CD-RW、CD-R 書き込み用ソフトウェアは動作保証しておりません。
- 書き込みを行う際は、本製品の省電力機能が働かないようにしてください。

 省電力機能について ⇨ 「4 章 2 省電力の設定をする」

- 書き込み用ソフトウェア以外のソフトウェアは終了させてください。



- CD-R に書き込みできるのは 1 回限りです。書き込みに失敗した CD-R は再利用できませんが、CD-RW はフォーマットすると再利用できます。

■ 書き込み／削除を行うときは

- タッチパッドを操作する、ウィンドウを開くなど、パソコン本体の操作を行わないでください。
- モデムなど、通信アプリケーションを起動しないでください。
- パソコン本体に衝撃や振動を与えないでください。
- 次の機器の取り付け／取りはずしを行わないでください。
PCカード、SDメモ리카ード、USB対応機器、CRTディスプレイ
- パソコン本体から携帯電話、および他の無線通信装置を離してください。
- 重要なデータについては、必ず書き込み終了後、データが正しく書き込まれたことを確認してください。
- 「Easy CD Creator」を使用して重要なデータを書き込む場合は、メニューバーから [ファイル] → [CDレイアウトプロパティ] をクリックし、[書き込み後 CD 上のファイルを検証する] をチェックしてください。
正常に書き込まれていることを確認できます。
- 「Easy CD Creator」で書き込み終了後、ドライブのディスクトレイが開き「CDレコーダにターゲットCDを投入してください」とメッセージが表示される場合があります。その場合は、そのままディスクトレイを閉めて [OK] ボタンをクリックしてください。
検証を開始します。

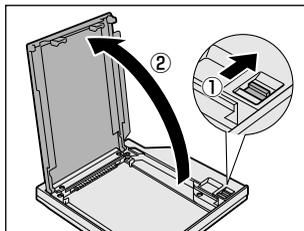
3 セカンドハードディスク

別売りのセカンドハードディスクを取り付けると、パソコンの記憶容量を増やすことができます。

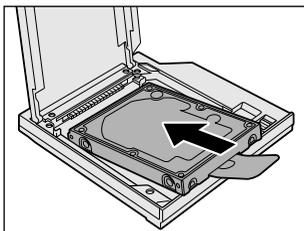
セカンドハードディスクアダプタ（別売り）に取り付けてから、スリムセレクトベイに取り付けてください。

セカンドハードディスクアダプタへの取り付け

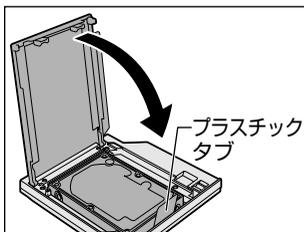
- 1 セカンドハードディスクアダプタのカバーのロックを解除し①、カバーを開く②



- 2 セカンドハードディスクを差し込む



- 3 プラスチックタブをセカンドハードディスクアダプタ内に収納しながらカバーを閉める



- 4 カバーをロックする

参照 パソコン本体への取り付け ⇨ 「本節 1 スリムセレクトベイ機器の差し替え」

セカンドハードディスクアダプタからの取りはずし

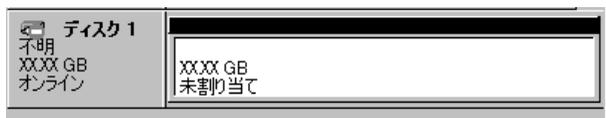
- 1 セカンドハードディスクアダプタのカバーのロックを解除し、カバーを開く
- 2 プラスチックタブを持ち上げる
セカンドハードディスクがアダプタからはずれます。
- 3 カバーを閉め、ロックする

セカンドハードディスクの設定

セカンドハードディスクの設定は出荷時にパーティションの設定およびフォーマットはされていません。ご使用になるために、次の操作を行なってください。

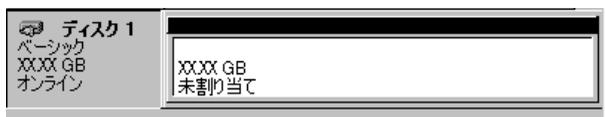
■ Windows 2000 の場合

- 1 Administrators グループのユーザアカウントでログオンする
- 2 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリックする
- 3 [管理ツール] をダブルクリックし、[コンピュータの管理] をダブルクリックする
- 4 [ツリー] タブの [ディスクの管理] をクリックする
セカンドハードディスクを増設した後の最初の起動では、セカンドハードディスク（例：ディスク 1）は [不明] と表示されます。



5 [ディスク 1] の領域を右クリックし、表示されるメニューで [署名] をクリックする

6 署名するディスクをチェックし [OK] をクリックする
セカンドハードディスク（例：ディスク 1）は [ベーシック] と表示されます。

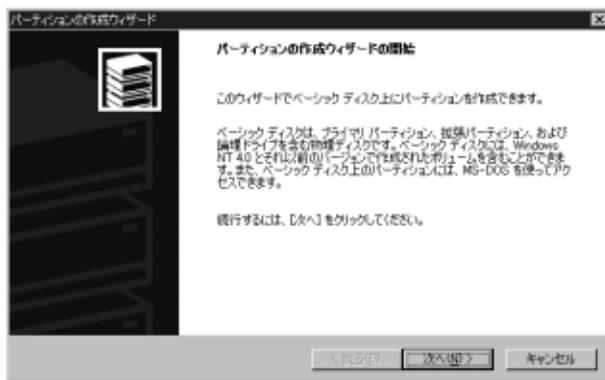


7 セカンドハードディスク（例：ディスク 1）の [未割り当て] の領域を右クリックする



8 表示されるメニューで [パーティションの作成] をクリックする

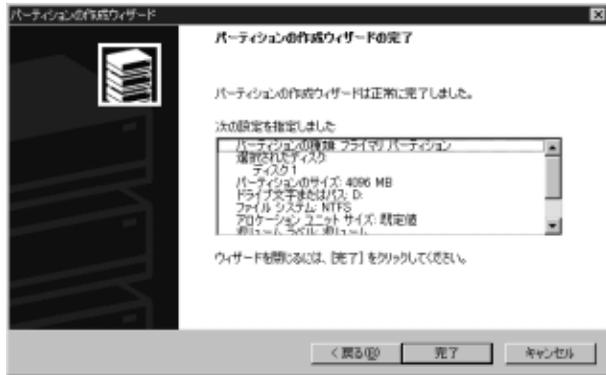
[パーティションの作成ウィザード] が起動します。



9 [次へ] ボタンをクリックし、ウィザードに従って設定する

- ・パーティションの種類
- ・パーティションサイズ
- ・ドライブ文字またはパスの割り当て
- ・フォーマット
- ・ファイルシステム

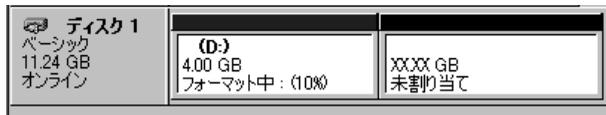
プライマリパーティション、または拡張パーティションの作成ができますが、ここではプライマリパーティションを4GB・NTFSフォーマットで作成した場合を想定しています。設定が完了すると、確認画面が表示されます。



10 設定内容を確認し、[完了] ボタンをクリックする

フォーマットが開始されます。

パーティションのステータスが [正常] に変われば完了です。



詳細については「コンピュータの管理」のヘルプを参照してください。

【ヘルプの起動方法】

[コンピュータの管理] → [操作] → [ヘルプ] をクリックする

■ Windows 98 の場合

- 1 Windows を起動し、[スタート] → [プログラム] → [MS-DOS プロンプト] を選択する
[MS-DOS プロンプト]画面が表示されます。

- 2 FDISKと入力し、(Enter)キーを押す
次の画面が表示されます。

512MB以上のディスクがあります。このバージョンのWindowsでは、大容量のディスクのサポートが強化され、ディスク領域を有効に使えるようになりました。2GB以上のドライブを1つのドライブとしてフォーマットできます。

重要：大容量ディスクのサポートを使用可能にして、このディスクに新しいドライブを作成した場合、ほかのオペレーティングシステムを使ってこの新しいドライブにアクセスすることはできません（Windows 95とWindows NTの特定のバージョン、以前のバージョンのWindowsとMS-DOSを含む）。また、FAT32ファイルシステム用に設計されていないディスクユーティリティは、正常に動作しません。このディスクで他のオペレーティングシステムや以前のディスクユーティリティにアクセスする必要がある場合、大容量ドライブのサポートは使用しないでください。

大容量ディスクのサポートを使用可能にしますか (Y/N)?[Y]

ここでは、FAT32 システムを使用します。

- 3 (Y)キーを押し、(Enter)キーを押す
FDISK オプションが起動します。

FDISKオプション

現在のハードディスク： 1

次のうちからどれか選んでください：

1. MS-DOS領域または論理MS-DOSドライブを作成
2. アクティブな領域を設定
3. 領域または論理MS-DOSドライブを削除
4. 領域情報を表示
5. 現在のハードディスクドライブを変更

どれか選んでください： [1]

FDISKを終了するにはEscキーを押してください。

- 4 (5) (Enter)とキーを押す

メニューの [5. 現在のハードディスクドライブを変更] が選択されます。

[ディスク：1] は標準ハードディスク、[ディスク：2] はセカンドハードディスクを示します。

- 5 (2) (Enter)とキーを押す

[ディスク：2] (セカンドハードディスク) が選択され、FDISK オプションの初期画面に戻ります。

- 6 ① **(Enter)** とキーを押す
[1. MS-DOS 領域または論理 MS-DOS ドライブを作成] が選択されます。
- 7 ② **(Enter)** とキーを押す
[2. 拡張 MS-DOS 領域を作成] が選択されます。
- 8 **(Enter)** キーを押す
拡張 MS-DOS 領域が作成されます。
- 9 **(Esc)** キーを押す
- 10 **(Enter)** キーを押す
拡張 MS-DOS 領域内に、論理 MS-DOS ドライブが作成されます。(ドライブ D: に割り当てられます)。
- 11 **(Esc)** キーを 3 回押し、FDISK オプションを終了する
- 12 EXIT と入力し、**(Enter)** キーを押す
MS-DOS プロンプトが終了します。
- 13 [スタート] → [Windows の終了] → [再起動する] を選択し、[OK] ボタンをクリックする
システムが再起動します。
[マイコンピュータ] を起動し、セカンドハードディスク (D:) が表示されていることを確認してください。
- 14 [マイコンピュータ] 画面からセカンドハードディスク (D:) ドライブを選択する
- 15 メニューバーから [ファイル] → [フォーマット] を選択する
[フォーマット] 画面が表示されます。タイトルバーに「フォーマット (D:)」が表示されていることを確認してください。



- 選択するドライブを間違えないでください。フォーマットすると、ディスクの内容はすべて消去されてしまいます。

- 16** [フォーマットの種類] から [通常のフォーマット] を選択し、[開始] ボタンをクリックする
警告のメッセージが表示されます。

- 17** メッセージの内容を確認し、[OK] ボタンをクリックする
フォーマットが終了すると、結果が表示されます。確認して [閉じる] を選択してください。
フォーマット終了後、スキャンディスク（ディスクのエラーをチェックする機能）が起動します。スキャンディスクが必要な方はメッセージに従って操作してください。
以上でセカンドハードディスクドライブの設定が終了し、使用できるようになります。

18 再起動する

-  ● セカンドハードディスクを基本 MS-DOS 領域と拡張 MS-DOS 領域で作成した場合、セカンドハードディスクのドライブは、基本領域が D：、拡張領域が E：以降に割り当てられます。
- 再起動後にロングファイル名が使用できない場合は、[マイコンピュータ] で新しいドライブを開き、メニューバーから [表示] → [最新の情報に更新] を選択してください。
-  ● 本記述は、標準ハードディスクとセカンドハードディスク（別売り）を対象としています。2つのハードディスクは、ご購入時の状態を想定しています。

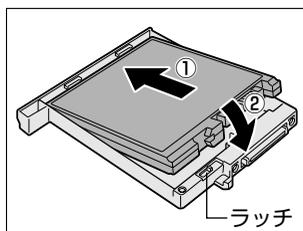
4 セカンドバッテリーパック

別売りのセカンドバッテリーパックを標準のバッテリーパックと同時に使用すると、より長い時間バッテリー駆動（ACアダプタを接続しない状態）で使用できます。

セカンドバッテリーパックに同梱のアダプタに取り付けてから、スリムセレクトベイに取り付けてください。

アダプタへの取り付け

- 1 コネクタ部分をあわせ①、アダプタにセカンドバッテリーパックを取り付ける②



 パソコン本体への取り付け ⇨ 「本節 1 スリムセレクトベイ機器の差し替え」

アダプタからの取りはずし

- 1 ラッチをスライドし、バッテリーパックを取りはずす
セカンドバッテリーパックが持ち上がるので、アダプタから取り出してください。

3

PC カードを接続する

本製品のPCカードスロットは、PC Card Standard 準拠のTYPE II / III対応のカード（CardBus対応カードも含む）を使用できます。

PCカードの詳しい使いかたなどについては『PCカードに付属の説明書』をご覧ください。

-  ● PCカード接続のハードディスクドライブやCD-ROMドライブなどの動作中に、通信またはサウンドの再生を行なった場合、次の現象が発生することがあります。
- ・通信回線の速度が遅くなる、通信回線が切断される、ダイヤルに失敗する
 - ・サウンド再生時に音飛びが発生する

取り付け／取りはずしのご注意

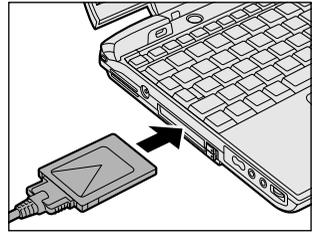
注意

- ・ホットインサクションに対応していないPCカードを使用する場合は、必ずパソコン本体の電源を切ってから取り付け／取りはずしを行なってください。
- ・PCカードには、長い時間使用していると熱を帯びるものがあります。PCカードを取りはずす際に、PCカードが熱い場合は、少し時間をおき、冷めてからPCカードを取りはずしてください。
- ・PCカードの使用停止は必ず行ってください。使用停止せずにPCカードを取りはずすとシステムが致命的影響を受ける場合があります。

取り付け

- 1 ケーブルの接続が必要なときは、PCカードにケーブルを付ける

2 上下や方向を確認し、PC カードを挿入する



カードは、無理な力を加えず、静かに奥まで押ししてください。きちんと奥まで差し込まれていない場合、PC カードを使用できない、または PC カードが壊れることがあります。

 カードの接続および環境の設定方法 ⇨ 『PC カードに付属の説明書』

取りはずし

1 PC カードの使用を停止する

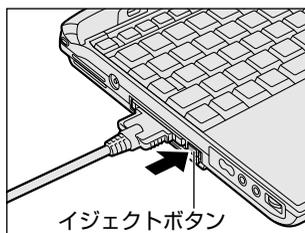
2000

- ① タスクバーの [ハードウェアの取り外しまたは取り出し] アイコン () をクリックする
- ② 表示されたメニューから [XXXX (取りはずす PC カード) を停止します] をクリックする
- ③ 「安全に取り外すことができます」が表示されたら、[OK] ボタンをクリックする

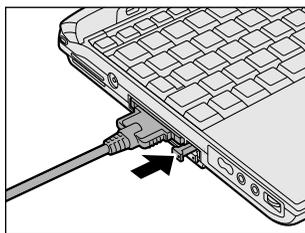
98

- ① タスクバーの [ハードウェアの取り外し] アイコン () をクリックする
- ② 表示されたメニューから [XXXX (取りはずす PC カード) の停止] をクリックする
- ③ 「取り外しても安全です」が表示されたら、[OK] ボタンをクリックする

- 2** PCカードスロットのイジェクトボタンを押す
イジェクトボタンが出てきます。



- 3** もう1度PCカードスロットのイジェクトボタンを押す
カチッと音がするまで押してください。
カードが少し出てきます。



- 4** カードをしっかりとつかみ、引き抜く



- カードを引き抜くときはケーブルを引っ張らないでください。
故障するおそれがあります。

4

SD メモリカードを接続する

本製品のSDメモリカードスロットでは、8 / 16 / 32 / 64 / 128 MBのSDメモリカードを使用できます。マルチメディアカードは使用できません。



- SDメモリカードをデジタルカメラなど他の機器で使用する場合、フォーマットは使用する機器で行なってください。パソコン上でフォーマットを行うと、他の機器で使用できなくなる場合があります。

■ 著作権保護について

SDメモリカードは、SDMIの取り決めに従って、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐための著作権保護技術を搭載しています。そのため、他のパソコンなどで取り込んだデータが著作権保護されている場合は、本製品でコピー、再生することはできません。



- **SDMI** ● (Secure Digital Music Initiative) デジタル音楽データの著作権を守るための技術仕様を決めるための団体。

■ 著作権について

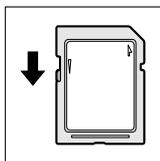
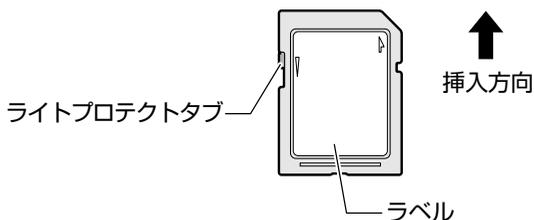
あなたが記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

■ 使用できるメモリ容量について

SDメモリカードは、デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぐSDMI規格に準拠したデータを取り扱うことができます。メモリの一部を管理データ領域として使用するため、ご使用いただけるメモリ容量は表示の容量より少なくなっています。

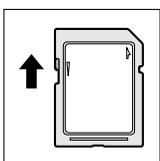
ライトプロテクトタブ

SDメモ리카ードは、ライトプロテクトタブを移動することにより、誤ってデータを消したりしないようにすることができます。



書き込み禁止状態

ライトプロテクトタブを挿入とは反対の方向へ移動させます。この状態のSDメモ리카ードには、データの書き込みはできません。データの読み取りはできます。

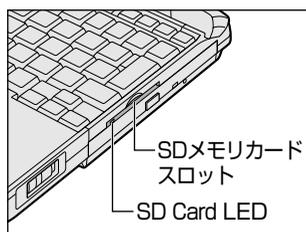


書き込み可能状態

ライトプロテクトタブを挿入と同じ方向へ移動させます。この状態のSDメモ리카ードには、データの書き込みも読み取りもできます。

SDメモ리카ードスロットに関する表示

SDメモ리카ードとデータをやり取りしているときは、SD Card LEDが点灯します。

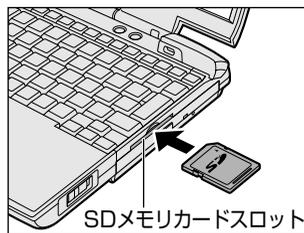


⚠ 注意

- ・SD Card LEDが点灯中は、電源を切ったり、SDメモ리카ードを取り出したり、パソコン本体を動かしたりしないでください。データやSDメモ리카ードが壊れるおそれがあります。
- ・SDメモ리카ードは無理な力を加えず、静かに挿入してください。正しく挿し込まれていない場合、パソコンの動作が不安定になったり、SDメモ리카ードのデータが壊れるおそれがあります。

セット

- 1 SDメモ리카ードのラベルを貼られた面を上にして、SDメモ리카ードスロットに挿入する
カチッと音がするまで挿入します。



取りはずし

- 1 SDメモ리카ードの使用を停止する

2000

- ① タスクバーの [ハードウェアの取り外しまたは取り出し] アイコン () をクリックする
- ② 表示されたメニューの [TOSHIBA SD Memory Card Drive を停止します] をクリックする
- ③ 「安全に取り外すことができます」 のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックする

98

- ① タスクバーの [SD カードを停止します] アイコン () をクリックする
- ② 表示されたメニューの [TOSHIBA SD Memory Card Drive を停止します] をクリックする
- ③ 「取り出しても安全です」 のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックする

- 2 SDメモ리카ードを押す

カードが少し出てきます。そのまま手で取り出します。



- SD Card LEDが点灯している間は、カードを取り出さないでください。カード内のデータが壊れることがあります。

5

USB 対応機器を接続する

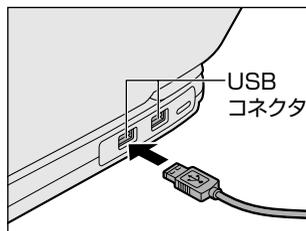
USB コネクタに接続します。



USB 対応機器についての詳細 ⇨ 『USB 対応機器に付属の説明書』

接続

- 1 USB ケーブルのプラグをパソコン本体の USB コネクタに差し込む
コネクタの向きを確認して差し込んでください。



- 2 USB ケーブルのもう一方のプラグを USB 対応機器に差し込む

この手順が必要ない機器もあります。

取りはずすときは、パソコン本体と USB 対応機器の USB ケーブルを抜きます。



- 電気の供給を必要とする USB 対応機器を接続する場合は、USB 対応機器の電源を入れてからパソコン本体に接続してください。
- USB 対応機器については、動作確認ができていないためすべての機器の動作を保証することはできません。
- USB 対応機器を接続したままスタンバイまたは休止状態にすると、復帰後 USB 対応機器が使用できない場合があります。その場合は、USB 対応機器を接続し直すか、パソコンを再起動してください。

6

マイクロホンを接続する

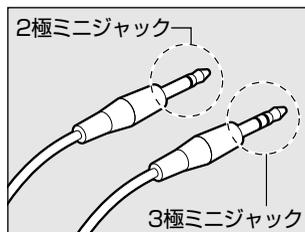
マイク入力端子に接続します。

使用できるマイクロホン

本製品でご使用できるマイクロホンは次のとおりです。

- モノラルマイクのみ使用できます。
- プラグは3.5mm φ 3 極ミニジャックタイプが使用できます。

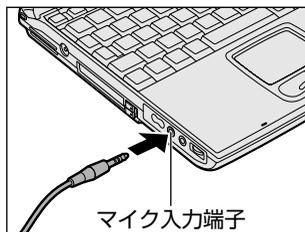
3.5mm φ 2 極ミニジャックタイプのマイクロホンでもマイクロホン本体にバッテリーなどを内蔵し、電源供給を必要としないマイクロホンであれば使用できます。



接続

1 マイクロホンのプラグをマイク入力端子に差し込む

取りはずすときは、マイク入力端子からマイクロホンのプラグを引き抜きます。



7

ヘッドホンを接続する

ヘッドホン出力端子に接続します。

ヘッドホンのプラグは、直径 3.5mm φステレオミニジャックタイプをお使いください。

ヘッドホンの音量はボリュームダイヤル、または Windows の  「マスタ音量」、 「Master Volume」で調節してください。



● マスタ音量 / Master Volume の起動方法

タスクバーの [音量] アイコン () をダブルクリック



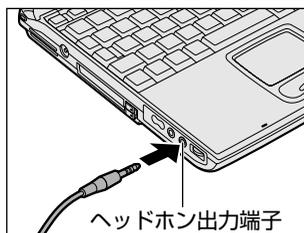
● 次のような場合にはヘッドホンを使用しないでください。雑音が発生する場合があります。

- ・ パソコン本体の電源を入れる / 切るとき
- ・ ヘッドホンの取り付け / 取りはずしをするとき

接続

1 ヘッドホンプラグをヘッドホン出力端子に差し込む

取りはずすときは、ヘッドホン出力端子からヘッドホンのプラグを引き抜きます。



8

CRT ディスプレイを接続する

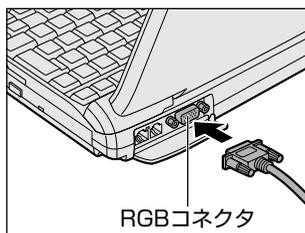
RGB コネクタに、CRT ディスプレイを接続します。CRT ディスプレイは、パソコンの電源を切った状態で接続してください。

接続

1 パソコン本体背面のコネクタカバーを開く

2 CRT ディスプレイのケーブルのプラグをパソコン本体のRGB コネクタに差し込む

取りはずすときは、RGB コネクタからケーブルのプラグを抜きます。



CRT ディスプレイを接続してパソコン本体の電源を入れると、本体は自動的にそのCRT ディスプレイを認識します。

表示装置を切り替える

CRT ディスプレイを接続した場合には次の表示方法があります。

- CRT ディスプレイだけに表示する（初期設定）
- CRT ディスプレイと内部液晶ディスプレイに同時表示する
- 内部液晶ディスプレイだけに表示する



- 省電力機能により CRT ディスプレイの表示が消えた場合、キーあるいはタッチパッドの操作により表示が復帰します。
このとき、表示が復帰するまで 10 秒前後かかることがあります
すが、故障ではありません。



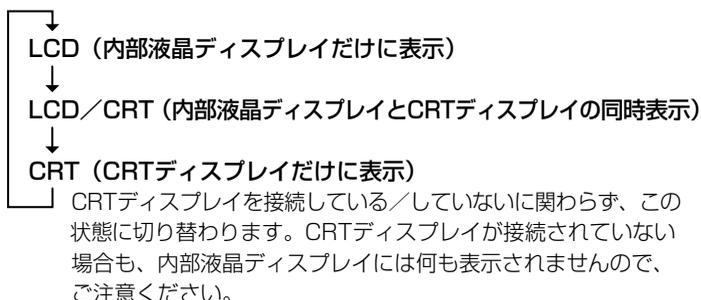
- 次のようなときには、表示方法を切り替えないでください。データが消失するおそれがあります。
 - ・ データの読み込みや書き込みをしている間
 - ・ 通信を行なっている間

■ 方法1 – 画面のプロパティで設定する

- 1 [コントロールパネル] を開き、[画面] アイコンをダブルクリックする
[画面のプロパティ] 画面が表示されます。
- 2 [設定] タブで [詳細] ボタンをクリックする
- 3 [表示デバイス] タブの [表示デバイス] で次のいずれかを選択する
 - 内部液晶ディスプレイだけに表示
..... [LCD] ボタンをクリック
 - 内部液晶ディスプレイとCRTディスプレイの同時表示
..... [LCD] ボタンと [CRT] ボタンの両方をクリック
 - CRTディスプレイだけに表示
..... [CRT] ボタンをクリック

■ 方法2 – (Fn) + (F5) キーを使う

(Fn)キーを押したまま、(F5)キーを押すと、表示装置を選択する画面が表示されます。カーソルは現在の表示装置を示しています。(F5)キーを押すたびに、カーソルが移動します。表示させたい装置にカーソルを移動し、(Fn)キーを離すと表示装置が切り替わります。



CRTディスプレイを接続していないときに表示を「CRT」にした場合、(Fn) + (F5)キーを3秒間押し続けると内部液晶ディスプレイの表示に戻ります。

■ 方法3 - 東芝HWセットアップで設定する

- 1 [コントロールパネル] を開き、[東芝HWセットアップ] アイコン () をダブルクリックする
- 2 [ディスプレイ] タブで [起動時の表示装置] を設定する
 - 内部/外部を自動選択.. CRT ディスプレイだけに表示 (CRT ディスプレイ接続時)
 - 内部/外部を同時使用.. 内部液晶ディスプレイと CRT ディスプレイの同時表示

表示について



- CRT ディスプレイに表示する場合は、CRT ディスプレイ側で、表示位置や表示幅を設定してください。



ビデオモードについて ⇨ 「付録 1- サポートしているビデオモード」

9

LAN へ接続する

本製品のLANコネクタにLANケーブルを接続すると、Fast Ethernet (100BASE-TX) / Ethernet (10BASE-T) を自動的に検出して切り替えます。

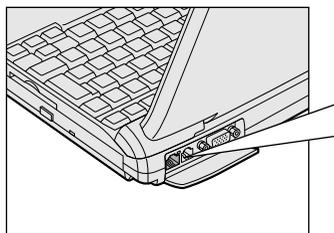
ネットワークに接続する場合は、ネットワークの設定を行う必要があります。

⚠ 注意

- ・ご購入時は、ネットワークの設定は既定値になっています。Windowsのセットアップ時にLANケーブルを接続していると、ネットワークの設定が既定値のままネットワークに接続してしまい、ネットワークに障害をもたらす場合があります。必ず、LANケーブルをはずした状態でWindowsのセットアップを行なってください。

LAN コネクタに関するインジケータ

LANコネクタの両脇には、LANインタフェースの動作状況を示す2つのLEDがあります。



— LANアクティブLED (橙)
データを送受信しているときに点灯します。

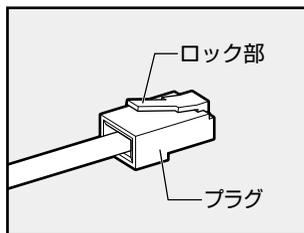
— リンクLED (緑)
ネットワークに正常に接続され、使用可能なときに点灯します。

LAN ケーブルの接続

LAN インタフェースを 100BASE-TX 規格（100Mbps）でご使用になるときは、必ずカテゴリ 5（CAT5）のケーブルおよびコネクタを使用してください。カテゴリ 3 のケーブルは使用できません。10BASE-T 規格（10Mbps）でご使用になるときは、カテゴリ 3 または 5 のケーブルが使用できます。

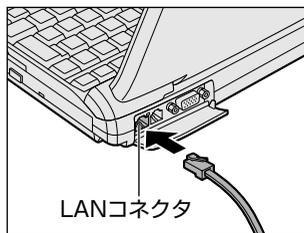


- LAN ケーブルをはずしたり差し込むときは、プラグの部分を持って行なってください。また、はずすときは、プラグのロック部を押しながらずしてください。ケーブルを引っ張らないでください。



- 1 パソコン本体に接続されているすべての周辺機器の電源を切る
- 2 パソコン本体背面のコネクタカバーを開く
- 3 LAN ケーブルのプラグを LAN コネクタに差し込む

ロック部を上にして、パチンと音がするまで差し込んでください。



- 4 LAN ケーブルのもう一方のプラグを接続先のネットワーク機器のコネクタに差し込む

ネットワーク機器の接続先やネットワークの設定は、『Windows のヘルプ』をご覧ください。または、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

10

メモリを増設する

増設メモリスロットに 256MB までの増設メモリを取り付けることができます。増設メモリは、本製品で動作が保証されているものをご購入ください。それ以外のメモリを増設するとシステムが起動しなくなったり、動作が不安定になることがあります。

取り付け／取りはずしのご注意

⚠ 警告

- ・本文中で説明されている部分以外は絶対に分解しないでください。内部には高電圧部分が数多くあり、万一触ると危険です。

⚠ 注意

- ・ステーブル、クリップなどの金属や、コーヒーなどの液体を機器内部に入れないでください。ショート、発煙のおそれがあります。万一、機器内部に入った場合は、バッテリーを取りはずし、電源を入れずに、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。
- ・メモリの取り付け／取りはずしは、必ず電源を切り、ACアダプタのプラグを抜き、バッテリーパックを取りはずしてから作業を行なってください。電源を入れたまま取り付け／取りはずしを行うと感電、故障のおそれがあります。
- ・次のような場合、メモリの取り付け／取りはずしは行わないでください。やけど、感電、故障のおそれがあります。
 - ・スタンバイ中
 - ・電源を切った直後
電源を切った後 30 分以上たってから行うことをおすすめします。
- ・パソコン本体やメモリのコネクタに触らないでください。コネクタにごみが付着すると、メモリが正常に使用できなくなります。



- ネジをはずす際は、十字ねじ回しビット0番のドライバを使用してください。
- 増設メモリを強く押ししたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- スタンバイ／休止状態中に増設メモリの取り付け／取りはずしを行わないでください。スタンバイ／休止状態が無効になります。また、本体内の記憶内容が変化し、消失することがあります。

■ 静電気について

増設メモリは、精密な電子部品のため静電気によって致命的損傷を受けることがあります。人間の体はわずかながら静電気を帯びていますので、増設メモリを取り付ける前に静電気を逃がしてから作業を行なってください。手近にある金属製のものに軽く指を触れるだけで、静電気を防ぐことができます。

取り付け

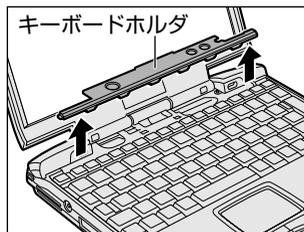
- 1 データを保存し、Windows を終了して電源を切る
- 2 パソコン本体に接続されている AC アダプタとケーブル類をはずす
- 3 バッテリーパックを取りはずす



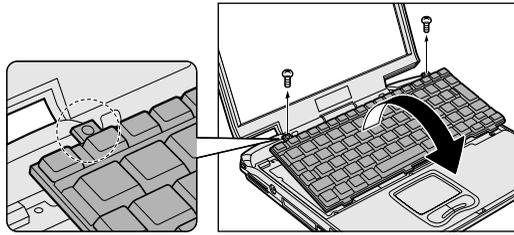
バッテリーパックについて ⇨ 「4章 1-3 バッテリーパックを交換する」

- 4 キーボードホルダに指をかけ、取りはずす

キーボードホルダ手前の両側にある切り欠き部に指をかけ、引き上げます。

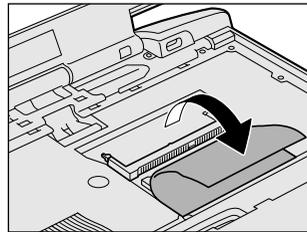


5 キーボード上部のネジ2本をはずし、キーボードを手前に裏返す

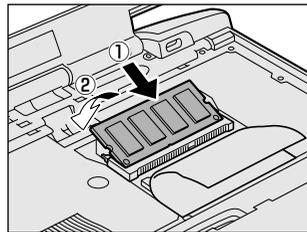


●キーボードの裏には、接続ケーブルがあります。接続ケーブルは、はずしたり、傷つけたり、無理な力を加えないでください。断線や接触不良の原因となり、キー入力ができなくなるおそれがあります。

6 増設メモリ部分のインシュレータをめくる



7 増設メモリを増設メモリスロットのコネクタに斜めに挿入し①、固定するまで増設メモリを倒す②
増設メモリの切れ込みを、増設メモリスロットのコネクタのツメに合わせて、しっかり差し込みます。フックがかかりにくいときは、ペン先などで広げてください。



8 インシュレータを元に戻す

9 キーボードを元に戻し、手順5ではずしたネジ2本でとめる

10 キーボードホルダを取り付ける

11 バッテリーパックを取り付ける

パソコン本体の電源を入れると総メモリ容量が自動的に認識されます。
総メモリ容量が正しいか確認してください。

 メモリ容量の確認について ⇨ 「本節 - メモリ容量の確認」

取りはずし

- 1 データを保存し、Windows を終了させて電源を切る
- 2 パソコン本体に接続されている AC アダプタとケーブル類
をはずす
- 3 バッテリパックを取りはずす

 バッテリパックについて ⇨ 「4章 1-3 バッテリパックを交換する」

- 4 キーボードホルダに指をかけ、取りはずす
- 5 キーボード上部のネジ 2 本をはずし、キーボードを手前に
裏返す
- 6 増設メモリ部分のインシュレータをめくる
- 7 増設メモリを固定している左右のフックをペン先などで開
き、増設メモリをパソコン本体から取りはずす
斜めに持ち上がった増設メモリを引き抜きます。
- 8 インシュレータを元に戻す
- 9 キーボードを元に戻し、手順 5 でははずしたネジ 2 本でとめる
- 10 キーボードホルダを取り付ける
- 11 バッテリパックを取り付ける

パソコン本体の電源を入れると総メモリ容量が自動的に認識されます。
総メモリ容量が正しいか確認してください。

 メモリ容量の確認について ⇨ 「本節 - メモリ容量の確認」

メモリ容量の確認



- システムがメインメモリ領域の約 16MB 分を使用するため、「PC 診断ツール」や「システムのプロパティ」で表示されるメモリ容量は、実際の容量より少なく表示されます。

■ 「PC 診断ツール」で確認する

- ① [スタート] → [プログラム] → [東芝ユーティリティ] → [PC 診断ツール] をクリックする
- ② [基本情報の表示] ボタンをクリックする
- ③ [メモリ] の数値を確認する

6章

システム構成と パスワードセキュリティ

1	東芝HWセットアップ.....	138
2	セットアッププログラム.....	144
3	パスワードセキュリティ.....	159

1

東芝HW セットアップ

ハードウェアの設定を変更できます。

起動方法

- 1 【コントロールパネル】を開き、【東芝HW セットアップ】アイコン () をダブルクリックする

■ 【全般】 タブ

セットアッププログラムのバージョンなどを表示します。

- 【標準設定】 ボタン
東芝HW セットアップの設定をご購入時の状態に戻します。
- 【バージョン情報】 ボタン
東芝HW セットアップのバージョンを表示します。

■ 【パスワード】 タブ

パソコンの電源を入れたときに入力するパスワードの登録や削除を行います。

 パスワードについて ⇨ 「本章 3 パスワードセキュリティ」

■ 【デバイスの設定】 タブ

パソコンが起動したときにセットアッププログラムが初期化するデバイスを指定します。

【デバイスの設定】

- 全デバイス設定
すべてのデバイスを初期化します。
- OS による設定 (標準値)
システムをロードするのに必要なデバイスのみ初期化します。それ以外のデバイスはシステムが初期化します。

■ 【プリンタ】 タブ

プリンタなど、パラレルポートに接続する機器について設定します。
本製品では使用しません。

■ 【ポインティング装置】 タブ

タッチパッドとPS/2 マウスの使用切り替えについて設定します。
本製品では使用しません。

■ 【ディスプレイ】 タブ

パソコンが起動したときに表示する装置を選択します。

【起動時の表示装置】

- 内部／外部を自動選択（標準値）

システム起動時に、外部CRTディスプレイが接続されている場合は、外部CRTディスプレイだけに表示します。システム起動時に、外部CRTディスプレイが接続されていない場合は、本体のディスプレイに表示します。

- 内部／外部を同時使用

外部ディスプレイと本体のディスプレイの両方に表示します。

 CRTディスプレイの接続  「5章 8 CRTディスプレイを接続する」

■ 【CPU】 タブ

インテル®SpeedStep™テクノロジー搭載モバイルPentium® III プロセッサモデルのみ表示されます。

CPUに関する設定を行います。

【プロセッサシリアル番号】

プロセッサシリアル番号の機能を有効にするかどうかの設定をします。

- 有効にする

- 無効にする（標準値）

【CPU 周波数の設定】

- **ダイナミック切替モード（標準値）**
CPUの消費電力・周波数自動切り替え機能を有効にし、使用状況に応じてCPU周波数を自動的に切り替えます。
- **常時高速モード**
CPUの消費電力・周波数自動切り替え機能を無効にし、常時、高周波数で動作します。
- **常時標準モード**
CPUの消費電力・周波数自動切り替え機能を無効にし、常時、標準周波数で動作します。

■ 【OS の起動】 タブ

OSの起動について設定します。

【OS の起動】

システムを起動するディスクドライブの順番を選択します。
通常は [HDD → FDD → CD-ROM → LAN] に設定してください。

【起動装置の選択メッセージ】

電源を入れたときに、メニュー起動メッセージを表示するかどうかを設定します。

- **表示する（標準値）**
メニュー起動メッセージを表示します。
電源を入れると、次の「メニュー起動メッセージ」が1、2秒間表示されます。

Press [F12] for the boot device selection menu

このメッセージが表示されている間に(F12)キーを押すと、起動するドライブの選択メニュー画面が表示されます。起動したいドライブに対応したキーを押すと、一時的にそのドライブを起動最優先ドライブに設定し、起動します。

選択するキーは次のようになっています。

- ⒸキースリムセレクトベイのCD-ROMドライブ、またはCD-R/RWドライブ（別売り）、マルチドライブ（別売り）*から起動します。
- ⒩キー内蔵LANから起動します。
- ⒰キーUSBフロッピーディスクドライブ（別売り）から起動します。
- ⒱キー標準ハードディスクから起動します。
- ⒲キーセカンドハードディスク（別売り）から起動します。
- ⒳キーPCカードハードディスクドライブ（別売り）から起動します。
- ⒴キー通常の設定された起動ドライブから起動します。

* スリムセレクトベイにCD-ROMドライブ／CD-R/RWドライブ／マルチドライブが取り付けられていない場合、使用できません。

なお、これらのキーによって [OS の起動] の設定は変更されません。



● 電源を入れたときや再起動時に、キーを押し続けた場合は、設定内容と違うドライブから起動することができます。

- 表示しない
メニュー起動メッセージを表示しません。

【HDDの起動】

ハードディスクドライブを複数使用する場合に、システムを起動する順番を設定します。

- 標準HDD → 増設HDD（標準値）
- 増設HDD → 標準HDD

■ 【キーボード】 タブ

PS/2コネクタに接続するキーボードについて設定します。
本製品では使用しません。

■ [USB] タブ

USB 対応機器について設定します。

【USB キーボード／マウス レガシーサポート】

USB キーボードやマウスのレガシーサポートを行うかどうかを設定します。

- 有効にする（標準値）
レガシーサポートを行います。ドライバなしで USB キーボード、USB マウスが使用できます。
- 無効にする
レガシーサポートを行いません。

【USB フロッピーディスク レガシーサポート】

USB フロッピーディスクドライブのレガシーサポートを行うかどうかを設定します。

- 有効にする（標準値）
レガシーサポートを行います。フロッピーディスクから起動する場合は、こちらに設定します。
- 無効にする
レガシーサポートを行いません。

■ [LAN] タブ

LAN 機能に関する設定を行います。

【LAN のウェイクアップ】

LAN のウェイクアップ機能とは、ネットワークで接続された管理者のパソコンからの呼び出しにより、自動的に電源を入れる機能です。LAN のウェイクアップ機能を使用する場合は、必ず AC アダプタを接続してください。

- 使用する
- 使用しない（標準値）

【内蔵 LAN】

内蔵 LAN を使用するかどうかを設定します。

- 使用する（標準値）
- 使用しない

詳しい操作方法を知りたいとき（ヘルプの起動）

- 1 [東芝 HW セットアップ] を起動後、画面右上の **?** をクリックする
ポインタが  に変わります。
- 2 画面上の知りたい項目にポインタを置き、クリックする

2

セットアッププログラム

セットアッププログラムとは、パソコンのシステム構成をパソコン本体から設定するプログラムのことです。BIOS と呼ばれる場合もあります。

セットアッププログラムをご使用になる前に

- 通常、システム構成の変更は Windows 上の「東芝 HW セットアップ」、「東芝省電力ユーティリティ」、システムの「デバイスマネージャ」などで行なってください。
セットアッププログラムと Windows 上の設定が異なる場合、Windows 上の設定が優先されます。
- ご使用のシステムによっては、システム構成を変更しても、変更が反映されない場合があります。
- セットアッププログラムで設定した内容は、電源を切っても消えませんが、内蔵バッテリーが消耗した場合は標準設定値に戻ります。

1 起動

1 (Esc)キーを押しながら電源を入れる

「Password = 」と表示された場合は、パスワードが登録されています。パスワードを入力し、(Enter)キーを押してください。

 パスワードについて ⇨ 「本章 3 パスワードセキュリティ」

「Check system. Then press [F1] key.」と表示されます。

2 (F1)キーを押す

セットアッププログラムが起動します。

2 終了

終了方法

変更した内容を有効にして終了します。

1 (Fn) + (→) キーを押す

画面にメッセージが表示されます。

2 (Y) キーを押す

設定内容が有効になり、セットアッププログラムが終了します。
変更した項目によっては、再起動されます。

途中で終了する方法

設定内容がよくわからなくなったり、途中で設定を中止する場合に行います。この場合は変更した内容はすべて無効になります。設定値は変更前の状態のままです。

1 (Esc) キーを押す

画面にメッセージが表示されます。

2 (Y) キーを押す

セットアッププログラムが終了します。

3 セットアッププログラムの画面

セットアッププログラムには次の2つの画面があります。

SYSTEM SETUP (1/2) ACPI BIOS version = X. XX

① MEMORY Total = XXXXXXXKB

② PASSWORD Not Registered

③ BATTERY Battery Save Mode = Full Power

④ PERIPHERAL Pointing Devices = Auto-Selected
Ext Keyboard "Fn" = Disabled
Parallel Port Mode = ECP
Hard Disk Mode = Enhanced IDE(Normal)

⑤ DISPLAY Power On Display = Auto-Selected
LCD Display Stretch = Disabled

OTHERS Power-up Mode = Boot
CPU Cache = Enabled
Level 2 Cache = Enabled
Processor Serial Number = Disabled *1
Dynamic CPU Frequency Mode = Dynamically Switchable *1
Auto Power On = Disabled

⑥

⑦ BOOT PRIORITY Boot Priority = HDD-FDD-CD-ROM-LAN
HDD Priority = Built-in HDD-Second HDD
Power On Boot Select = Enabled

↑↓↔: Select items Space, BkSp: Change values PgDn, PgUp: Change pages
Esc: Exit without saving Home: Set default values End: Save changes and Exit

(注) 画面は標準設定値の表示例です。

*1 インテル®SpeedStep™テクノロジー搭載モバイルPentium® III プロセッサモデルのみ表示されます。

SYSTEM SETUP (2/2) ACPI BIOS version = X. XX

⑧ CONFIGURATION Device Config. = Setup by OS

⑨ I/O PORTS Serial = COM1(3F8H/IRQ4)
Parallel = LPT1(378H/IRQ7/CH3)

⑩ PCI BUS PCI BUS = IRQ11

⑪ LEGACY EMULATION USB KB/Mouse Legacy Emulation = Enabled
USB-FDD Legacy Emulation = Enabled

⑫ PC CARD Controller Mode = Auto-Selected

⑬ DRIVES I/O Built-in HDD = Primary IDE(1F0H/IRQ14)
Select Bay = Secondary IDE(170H/IRQ15)

⑭ PCI LAN Built-in LAN = Enabled

↑↓↔: Select items Space, BkSp: Change values PgDn, PgUp: Change pages
Esc: Exit without saving Home: Set default values End: Save changes and Exit

(注) 画面は標準設定値の表示例です。

参照 設定項目の詳細について ⇨ 「本節 4 設定項目」

基本操作は次のとおりです。

■ 変更したい項目を選択する

↑、↓、←、→キーを押す

項目が移動します。

画面中で反転している部分が現在変更できる項目です。

■ 項目の内容を変更する

Space または BackSpace キーを押す

項目の内容が変わります。

■ 画面を切り替える

Fn + ↓ または Fn + ↑ キーを押す

次の画面または前の画面に切り替わります。

■ 設定内容を標準値にする

Fn + ← キーを押す

次の項目以外は、設定が標準設定になります。

- PASSWORD
- Hard Disk Mode
- Write Policy

4 設定項目

カーソルが移動しない項目は、変更できません（参照のみ）。
ここでは、標準設定値を「標準値」と記述します。

① MEMORY—メモリ容量を表示する

【Total】

本体に取り付けられているメモリの総メモリ容量が表示されます。

② PASSWORD—パスワードの登録／削除をする

 ユーザパスワードの登録／削除の方法 ⇨ 「本章 3-1 ユーザパスワード」

【Not Registered】

パスワードが設定されていないときに表示されます（標準値）。

【Registered】

パスワードが設定されているときに表示されます。

③ BATTERY—バッテリーで長く使用するための設定をする

【Battery Save Mode】

バッテリーセーブモードを設定します。

「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウが開きます。

「User Setting」を選択した場合のみ、設定の変更ができます。



- Windows を使用している場合は「東芝省電力ユーティリティ」の設定が有効になり、「Battery Save Mode」の設定は無効になります。

- 「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウを閉じるには、  キーを押して選択項目を「Cooling Method」の外に移動します。

「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウの設定項目は次のように表示されます。

●Full Power (標準値)	●Low Power	●User Setting (設定例)
Processing Speed = High CPU Sleep Mode = Enabled Display Auto Off = 30Min. HDD Auto Off = 30Min. LCD Brightness = Bright*1 Super-Bright*2 Cooling Method = Maximum Performance	Processing Speed = Low CPU Sleep Mode = Enabled Display Auto Off = 03Min. HDD Auto Off = 03Min. LCD Brightness = Semi-Bright*1 Bright*2 Cooling Method = Battery Optimized	Processing Speed = Low CPU Sleep Mode = Enabled Display Auto Off = 03Min. HDD Auto Off = 03Min. LCD Brightness = Semi-Bright Cooling Method = Battery Optimized

(注) LCD Brightness (LCD 輝度) の表示は次の状態が変わります。

* 1 バッテリ駆動時

* 2 ACアダプタ使用時

次に「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウの項目について説明します。

● Processing Speed

処理速度を設定します。

使用するアプリケーションソフトによっては設定を変更する必要があります。

- ・ High 処理速度を高速に設定する
- ・ Low 処理速度を低速に設定する

● CPU Sleep Mode

CPU が処理待ち状態のとき、電力消費を低減します。

一部のアプリケーションソフトでは「Enabled」に設定すると処理速度が遅くなることがあります。その場合は「Disabled」に設定してください。

- ・ Enabled 電力消費を低減する
- ・ Disabled 電力消費を低減しない

● Display Auto Off (表示自動停止時間)

時間を設定すると、設定した時間以上キーを押さない場合（マウスやタッチパッドの操作も含む）にディスプレイを消灯して節電します。画面に表示されている内容が見えなくなりますが、これは故障ではありません。画面に表示するには、(Shift)キーを押すか、マウス、タッチパッドを操作してください。

- ・ Disabled 自動停止機能を使用しない

自動停止時間の設定は「01Min.」～「30Min.」から選択します。

● **HDD Auto Off (HDD 自動停止時間)**

設定した時間以上ハードディスクの読み書きをしない場合に、ハードディスクの回転を止めて節電します。

自動停止時間の設定は「01Min.」～「30Min.」から選択します。ハードディスクドライブを保護するため、「Disabled」は設定できません。

● **LCD Brightness (LCD 輝度)**

画面の明るさを選択します。

- ・ Semi-Bright 低輝度に設定する
- ・ Bright 高輝度に設定する
- ・ Super-Bright 最高輝度に設定する

● **Cooling Method (CPU 熱制御方式)**

CPU の熱を冷ます方式を選択します。

CPU が高熱を帯びると故障の原因になります。

- ・ Maximum Performance ... CPU 温度が上昇したときに、本体内にあるファンを高速回転させて CPU に風を送り、冷やします。
- ・ Performance CPU が高温になったときに、本体内にあるファンが作動し CPU に風を送り、冷やします。
- ・ Battery Optimized CPU が高温になったときに、CPU の処理速度を「Low」にして温度を下げます。「Low」にしても、温度が上がる場合はファンを作動させます。



- CPU が高熱を帯びると故障の原因になります。高熱状態が続く場合は、自動的にレジューム機能を効かせた状態で電源を切り、パソコンを故障から守ります。

④ PERIPHERAL—HDD や外部装置の設定をする

【Pointing Devices (ポインティング装置)】

タッチパッドを使用するか、外部 PS/2 マウスを使用するかを設定します。

本製品では使用しません。

【Ext Keyboard "Fn"】

PS/2 外部キーボードの(Fn)キーの割り当てをします。

本製品では使用しません。

【Parallel Port Mode】

パラレルポートモードの設定をします。
本製品では使用しません。

【Hard Disk Mode】

ハードディスクのモードを設定します。
項目を変更する場合は、パーティションの再設定を行なってください。

- ・ Enhanced IDE (Normal) (標準値)
..... 通常はこちらを選択する
- ・ Standard IDE Enhanced IDE に対応していない OS を使用する
場合を選択する
この場合、528MB までが使用可能となり、
残りの容量は使用できません。

⑤ DISPLAY—表示装置の設定をする**【Power On Display】**

表示装置を選択します。

- ・ Auto-Selected (標準値) ... システム起動時に外部 CRT ディス
プレイを接続しているときは外部 CRT
ディスプレイだけに、接続してい
ないときは本体のディスプレイだけ
に表示する
- ・ Simultaneous 外部 CRT ディスプレイと本体のデ
ィスプレイに同時表示する



- SVGA モードに対応していない外部 CRT ディスプレイを接続し
て、「Simultaneous」を選択した場合、外部 CRT ディスプレイ
には画面が表示されません。

【LCD Display Stretch】

内部ディスプレイの表示機能を選択します。

- ・ Enabled 解像度の小さい表示モードを伸張し
て表示する
- ・ Disabled (標準値) 解像度の小さい表示モードは伸張せ
ずにそのまま表示する

⑥ OTHERS—その他の設定をする

【Power-up Mode (レジューム機能)】

レジューム機能を設定します。

- ・ Boot (標準値) レジューム機能を無効にする
- ・ Resume レジューム機能を有効にする
「Resume」を選択すると、
[OTHERS] の1番最後に「Panel
Power On/Off」が表示されます。

【CPU Cache (キャッシュ)】

CPU内のキャッシュメモリを使用するかどうかの設定をします。
使用するアプリケーションソフトによっては設定を変更する必要があります。

- ・ Disabled キャッシュメモリを使用しない
- ・ Enabled (標準値) キャッシュメモリを使用する

「Enabled」を選択すると「OPTION」ウィンドウが開きます。

次に「OPTION」ウィンドウの項目について説明します。

● Write Policy

キャッシュメモリへの書き込み方式を設定します。

- ・ Write-back (標準値) 書き込み方式を「Write-back」に設定する
キャッシュメモリにデータを書き込み、
キャッシュメモリの状態に応じてメインメモリに書き込みます。
- ・ Write-through 書き込み方式を「Write-through」に設定する
キャッシュメモリとメインメモリに、
同時にデータを書き込みます。

【Level 2 Cache】

2次キャッシュを使用するかどうかの設定をします。

「CPU Cache」が「Disabled」に設定されている場合は変更できません。

- ・ Enabled (標準値) 2次キャッシュを使用する
- ・ Disabled 2次キャッシュを使用しない

【Processor Serial Number】

インテル®SpeedStep™テクノロジー搭載モバイル Pentium® III プロセッサモデルのみ表示されます。

プロセッサシリアル番号の機能を有効にするかどうかの設定をします。

- ・ Disabled (標準値) 無効にする
- ・ Enabled 有効にする

【Dynamic CPU Frequency Mode】

インテル®SpeedStep™テクノロジー搭載モバイル Pentium® III プロセッサモデルのみ表示されます。

- ・ Dynamically Switchable (標準値)
..... CPUの消費電力・周波数自動切り替え機能を有効にし、使用状況に応じてCPU周波数を自動的に切り替えます。
- ・ Always High CPUの消費電力・周波数自動切り替え機能を無効にし、常時、高周波数で動作します。
- ・ Always Low CPUの消費電力・周波数自動切り替え機能を無効にし、常時、低消費電力・低周波数で動作します。

【Auto Power On (タイマ・オン機能)】

タイマ・オン機能の設定状態を示します。タイマ・オン機能は1回のみ有効です。起動後は設定が解除されます。

- ・ Disabled (標準値) タイマ・オン機能、Wake-up on LAN 機能とも設定されていない
- ・ Enabled タイマ・オン機能、Wake-up on LAN 機能が設定されている

タイマ・オン機能、Wake-up on LAN 機能の設定は「OPTIONS」ウィンドウで行います。

次に「OPTIONS」ウィンドウの項目について説明します。

アラームの時刻の設定は(Space)または(BackSpace)キーで行います。時と分、月と日の切り替えは(↑)(↓)キーで行います。

● Alarm Time

自動的に電源を入れる時間を設定します。

- ・ Disabled 時間を設定しない

● Alarm Date Option

自動的に電源を入れる月日を設定します。

「Alarm Time」が「Disabled」の場合は、設定できません。

- ・ Disabled 月日を設定しない

● Ring Indicator

電話回線からの呼び出し信号により、自動的に電源を入れます。

「Power-up Mode」が「Resume」の場合に設定できます。

また、この機能はPCカードタイプのモデムで使用できます。

- ・ Enabled リングインジケータ機能を使用する
- ・ Disabled リングインジケータ機能を使用しない

● Wake-up on LAN

ネットワークで接続された管理者のパソコンからの呼び出しにより、自動的に電源を入れます。

「Built-in LAN」が「Enabled」の場合に設定できます。

Wake-up on LAN 機能を使用する場合は、必ず AC アダプタを接続してください。

- ・ Enabled Wake-up on LAN 機能を使用する
- ・ Disabled Wake-up on LAN 機能を使用しない

【Panel Power On/Off (パネルスイッチ機能)】

ディスプレイの開閉による電源の入/切を設定します。

「Power-up Mode」が「Resume」の場合に表示されます。

- ・ Enabled パネルスイッチ機能を使用する
- ・ Disabled (標準値) パネルスイッチ機能を使用しない

⑦ BOOT PRIORITY—ブート優先順位を設定する

【Boot Priority】

システムを起動するディスクドライブの順番を設定します。

通常は「HDD → FDD → CD-ROM → LAN」に設定してください。

- ・ HDD → FDD → CD-ROM → LAN (標準値)
 - ・ FDD → HDD → CD-ROM → LAN
 - ・ HDD → CD-ROM → LAN → FDD
 - ・ FDD → CD-ROM → LAN → HDD
 - ・ CD-ROM → LAN → HDD → FDD
 - ・ CD-ROM → LAN → FDD → HDD
- 指定のドライブ順に起動する

電源を入れたときや再起動時に、次のキーを押し続けると、一時的に設定内容と違うドライブから起動できます。

これらのキーによって設定は変更されません。

- ・**ⓐ**キー スリムセレクトベイのCD-ROMドライブ、またはCD-R/RWドライブ（別売り）、マルチドライブ（別売り）*から起動する
- ・**ⓑ**キー 内蔵LANから起動する
- ・**ⓒ**キー USBフロッピーディスクドライブ（別売り）から起動する
- ・**ⓓ**キー 標準ハードディスクから起動する
- ・**ⓔ**キー セカンドハードディスク（別売り）から起動する
- ・**ⓕ**キー PCカードハードディスクドライブ（別売り）から起動する
- ・**ⓖ**キー 通常の設定された起動ドライブから起動する

* スリムセレクトベイにCD-ROMドライブ／CD-R/RWドライブ／マルチドライブが取り付けられていない場合、使用できません。

【HDD Priority】

ハードディスクドライブを複数使用する場合に、システムを起動する順番を設定します。

- ・ Built-in HDD → Second HDD（標準値）
..... 標準ハードディスク→セカンドハードディスクの順で起動する
- ・ Second HDD → Built-in HDD
..... セカンドハードディスク→標準ハードディスクの順で起動する

【Power On Boot Select】

電源を入れたときに、メニュー起動メッセージを表示するかどうかを設定します。

- ・ Enabled（標準値） メニュー起動メッセージを表示する
- ・ Disabled メニュー起動メッセージを表示しない

「Enabled」を選択すると、電源を入れたときに次の「メニュー起動メッセージ」が1、2秒間表示されます。

"Press [F12] for the boot drive selection menu."

このメッセージが表示されている間に**(F12)**キーを押すと、次のメニューが表示されますので、起動したいドライブのキーを押します。キーを押すと一時的に起動優先順位を最上位に設定し、システムを起動します。下記以外のキーを押しても、システムは起動しません。

Select Boot Device :

[C] : CD-ROM

[N] : Network (LAN)

[U] : USB Floppy Drive

[1] : Primary Hard Drive (Built-in)

[2] : Secondary Hard Drive (Select Bay)

[P] : PC Card Hard Drive

[D] : Default SYSTEM SETUP Device

Press [C] , [N] , [U] , [1] , [2] , [P] or [D] .

- ・**C**キー スリムセレクトベイのCD-ROM ドライブ、またはCD-R/RW ドライブ (別売り)、マルチドライブ (別売り)* から起動する
- ・**N**キー 内蔵LAN から起動する
- ・**U**キー USB フロッピーディスクドライブ (別売り) から起動する
- ・**1**キー 標準ハードディスクから起動する
- ・**2**キー セカンドハードディスク (別売り) から起動する
- ・**P**キー PC カードハードディスクドライブ (別売り) から起動する
- ・**D**キー 通常の設定された起動ドライブから起動する

* スリムセレクトベイにCD-ROM ドライブ / CD-R/RW ドライブ / マルチドライブが取り付けられていない場合、使用できません。

⑧ CONFIGURATION

【Device Config.】

ブート時に BIOS が初期化するデバイスを指定します。

- ・ Setup by OS (標準値) ... OS をロードするのに必要なデバイのみ初期化する
それ以外のデバイスは OS が初期化します。
この場合、「PC CARD」内の設定は、「Auto-Selected」固定となり、変更できません。
- ・ All Devices すべてのデバイスを初期化する

⑨ I/O PORTS (I/O ポート)

【Serial】

シリアルポートの割り当てを設定します。
本製品では使用しません。

【Parallel】

パラレルポートの割り当てを設定します。
本製品では使用しません。

⑩ PCI BUS—PCIバスの割り込みレベルを表示する

【PCI BUS】

PCIバスの割り込みレベルを表示します。変更はできません。

⑪ LEGACY EMULATION—USB対応機器の設定をする

【USB KB/Mouse Legacy Emulation】

USB キーボードやマウスのレガシーサポートを行うかどうかを設定します。

- ・ Enabled (標準値) レガシーサポートを行う
ドライバなしでUSB キーボード/
USB マウスが使用できます。
- ・ Disabled レガシーサポートを行わない

【USB-FDD Legacy Emulation】

USB フロッピーディスクドライブのレガシーサポートを行うかどうかを設定します。

- ・ Enabled (標準値) レガシーサポートを行う
ドライバなしでUSB フロッピーディスクドライブが使用できます。
フロッピーディスクから起動する場合は、こちらに設定します。
- ・ Disabled レガシーサポートを行わない



- 【USB-FDD Legacy Emulation】が【Enabled】に設定されていても、⑦BOOT PRIORITYの【Boot Priority】が標準値の「HDD → FDD → CD-ROM → LAN」の場合は、標準ハードディスクから起動します。

⑫ PC CARD—PC カードのモードを選択する

【Controller Mode】

PC カードのモードを選択します。

「Device Config.」が「All Devices」の場合に変更できます。

- ・ Auto-Selected(標準値) ... Windows Me、Windows 98、Windows 95、Windows 2000 など、プラグアンドプレイに対応した OS を使用している場合、選択します。
- ・ Card Bus/16-bit Windows NT (Ver.4 以下) を使用しているとき、または、Auto-Selected で正常に動作しない CardBus 対応の PC カードを使用する場合に選択します。
- ・ PCIC Compatible Windows NT (Ver.4 以下) を使用しているとき、または、Auto-Selected や CardBus/16-bit で正常に動作しない 16-bit PC カードを使用する場合に選択します。

⑬ DRIVES I/O—HDD やスリムセレクトベイの設定

【Built-in HDD】

標準ハードディスクのアドレス、割り込みレベルの設定を表示します。変更はできません。

【Select Bay】

スリムセレクトベイに取り付けたドライブのアドレス、割り込みレベルの設定を表示します。変更はできません。

⑭ PCI LAN

【Built-in LAN】

内蔵 LAN の機能を有効にするかどうかの設定をします。

- ・ Enabled (標準値) 有効にする
- ・ Disabled 無効にする

3

パスワードセキュリティ

本製品では、電源を入れたとき、スタンバイや休止状態から復帰するときにパスワードの入力を要求するパスワードセキュリティ機能を設定できます。パスワードには、ユーザパスワードとスーパーバイザパスワードがあります。

通常はユーザパスワードを登録してください。

スーパーバイザパスワードは、パソコン本体の環境設定を管理する人のために用意されています。スーパーバイザパスワードを登録すると、スーパーバイザパスワードを知らないユーザは、セットアッププログラムの設定を変更できないようにする、などいくつかの制限を加えることができます。この制限を加える必要がなければ、ユーザパスワードだけ登録してください。ユーザパスワードとスーパーバイザパスワードに関して、次の表をご覧ください。

本節では、ユーザパスワードの設定方法、キーフロッピーディスク*の作成方法、スーパーバイザパスワードプログラムについて説明します。

ユーザパスワード		スーパーバイザパスワード
設定方法	キーフロッピーディスク*の作成	
・東芝HWセットアップ ・セットアッププログラム ※「東芝HWセットアップ」で設定することをおすすめします。	セットアッププログラム	スーパーバイザパスワード設定ツール ☞「本節 2 スーパーバイザパスワード」

*ユーザパスワードを忘れてしまった場合に使用します。



- パスワードは、スーパーバイザパスワードとユーザパスワードでは、違うものを使用してください。

6章

パスワードとして使用できる文字

パスワードに使用できる文字は次のとおりです。

パスワードは「*** (アスタリスク)」で表示されますので画面で確認できません。

よく確認してから入力してください。

使用できる文字	アルファベット (半角)	A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
	数字 (半角)	0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
	記号 (単独のキーで入力できる文字の一部)	- ^ @ [] ; : , . / (スペース)
使用できない文字	<ul style="list-style-type: none">・ 全角文字 (2バイト文字)・ 日本語入力システムの起動が必要な文字 【例】 漢字、カタカナ、ひらがな、日本語入力システムが供給する記号 など・ 単独のキーで入力できない (入力するときに Shift キーなどを使用する) 文字 【例】 (バーチカルライン)、& (アンド)、 ~ (チルダ) など・ ¥ (エン)  キーや  キーを押すと ¥ が入力されます。	

1 ユーザパスワード

ユーザパスワードの登録/削除は、通常「東芝 HW セットアップ」で行なってください。

キーフロッピーディスクを作成したい場合は、「セットアッププログラム」で登録してください。

ユーザパスワードの登録

■ 東芝 HW セットアップでの登録

1 [コントロールパネル] を開き、[東芝 HW セットアップ] アイコン () をダブルクリックする

2 [パスワード] タブで [ユーザパスワード] の [登録] をチェックする
パスワードが登録されている場合は、削除してからもう1度登録してください。

 パスワードの削除 ⇨ 「本項 ユーザパスワードの削除」

3 [パスワードの入力] にパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックする

4 [パスワードの確認] 画面の [パスワードの確認] に同じパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックする

5 表示されるメッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックする

■ セットアッププログラムでの登録

キーフロッピーディスクを作成する場合は、フォーマット済みの2DDまたは2HD（1.44MB）フロッピーディスクと、USB フロッピーディスクドライブ（別売り）が必要です。あらかじめご用意ください。



- キーフロッピーディスクを作成すると、そのフロッピーディスクに保存されていた内容はすべて消去されます。フロッピーディスクの内容をよくご確認のうえ、ご使用ください。

1 セットアッププログラムを起動する

2 カーソルバーを「PASSWORD」の「Not Registered」に合わせ、(Space)または(BackSpace)キーを押す

パスワード入力画面が表示されます。

パスワードが登録されている場合は、「PASSWORD」に「Registered」と表示されます。その場合は、パスワードを削除してから、登録してください。



パスワードの削除方法 ⇨ 「本項 ユーザパスワードの削除」

3 パスワードを入力する

パスワードは10文字以内で入力します。入力すると1文字ごとに*が表示されます。



入力できる文字 ⇨ 「本節 パスワードとして使用できる文字」

4 (Enter)キーを押す

1回目のパスワードが確認され、パスワードの再入力画面が表示されます。

5 2回目のパスワードを入力する

パスワードは手順3と同じパスワードを入力してください。入力すると1文字ごとに*が表示されます。

6 (Enter)キーを押す

パスワードが登録されます。2回目のパスワードが1回目のパスワードと異なる場合は、再度パスワードの入力画面が表示されます。手順3からやり直してください。

- 7 パスワードの設定が終了したら、(Fn) + (→) キーを押す
次のようなメッセージが表示されます。

Are you sure ? (Y/N)
The changes you made will cause the system to reboot.
Insert password service disk if necessary.

- 8 キーフロッピーディスクを作成する場合は、フロッピーディスクをセットして(Y)キーを押す
作成しないでそのまま終了する場合はフロッピーディスクをセットせずに(Y)キーを押します。
セットアッププログラムの画面に戻るには(N)キーを押します。
手順9はキーフロッピーディスクを作成する場合の手順です。

9 キーフロッピーディスクを作成する



キーフロッピーディスクの使いかた

⇒「本節 3- ユーザパスワードを忘れてしまった場合」

次のメッセージが表示されます。

Password Service Disk Type ? (1:2HD,2:2DD)

- ① セットされているフロッピーディスクが2HDの場合は①キーを、2DDの場合は②キーを押す
フロッピーディスクへの書き込みを開始します（フロッピーディスクがセットされていない場合は、そのまま終了します）。
フロッピーディスクへの書き込みが終了すると、次のメッセージが表示されます。

Remove the password service disk, then press any key.

- ② フロッピーディスクを取り出し、何かキーを押して終了する

ユーザパスワードの削除

■ 東芝HW セットアップでの削除

- 1 [コントロールパネル] を開き、[東芝HW セットアップ] アイコン () をダブルクリックする
- 2 [パスワード] タブで [ユーザパスワード] の [未登録] をチェックする
- 3 [ユーザパスワード] 画面の [パスワードの入力] にパスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックする
- 4 表示されるメッセージを確認し、[OK] ボタンをクリックする

 ● パスワードの入力エラーが3回続いた場合は、パスワード削除の操作ができなくなります。
この場合は、パソコン本体の電源を入れ直し、もう1度設定を行なってください。

■ セットアッププログラムでの削除

- 1 セットアッププログラムを起動する
- 2 カーソルバーを「PASSWORD」の「Registered」に合わせ、(Space)または(BackSpace)キーを押す
パスワード入力画面が表示されます。
- 3 登録してあるパスワードを入力する
入力すると1文字ごとに*が表示されます。
- 4 (Enter)キーを押す
パスワードが削除されます。
入力したパスワードが登録したパスワードと異なる場合は、ビーブ音が鳴りエラーメッセージが表示された後、パスワードの入力画面が表示されます。手順3からやり直してください。



- 入力エラーが3回続いた場合は、以後パスワードの項目にカーソルが移動できなくなります。この場合は、パソコン本体の電源を入れ直し、再度設定を行なってください。

2 スーパーバイザパスワード

スーパーバイザパスワードは「スーパーバイザパスワード設定ツール」で設定します。

「スーパーバイザパスワード設定ツール」は、Windows 上からスーパーバイザパスワードの設定や設定の変更をするためのユーティリティです。



- パスワードは、スーパーバイザパスワードとユーザパスワードでは、違うものを使用してください。

■ 起動方法

- 1 [スタート] → [ファイル名を指定して実行] をクリックする
- 2 [C:¥Program Files¥Toshiba¥Windows Utilities¥SVPWTool¥SVPW32.exe] と入力する
- 3 [OK] ボタンをクリックする
詳しくは、「README.HTM」をご覧ください。

■ 「README.HTM」の起動方法

- 1 [スタート] → [ファイル名を指定して実行] をクリックする
- 2 [C:¥Program Files¥Toshiba¥Windows Utilities¥SVPWTool¥README.HTM] と入力する
- 3 [OK] ボタンをクリックする

3 パスワードの入力

ユーザパスワードが設定されている場合、電源を入れると、画面に「Password=」と表示されます。
この場合は、次の手順で起動します。

- 1 設定したとおりにパスワードを入力し、**(Enter)**キーを押す
パスワードは大文字、小文字を区別しません。

 ● パスワードの入力ミスが 3 回繰り返した場合は、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

■ ユーザパスワードを忘れてしまった場合

キーフロッピーディスクを使用して、登録したパスワードの解除と再設定ができます。また、再設定したパスワードのキーフロッピーディスクも作成できます。

キーフロッピーディスクを作成していなかったときにパスワードを忘れてしまった場合は、お近くの保守サービスにご相談ください。パスワードの解除を保守サービスにご依頼される場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

- 1 「Password=」と表示されたら、キーフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットして、**(Enter)**キーを押す

パスワードが解除され、次のメッセージが表示されます。

Set Password Again ? (Y/N)

- 2 パスワードを再設定する場合は、**(Y)**キーを押す

セットアップ画面が表示されます。「本項 パスワードの登録」の手順 2 以降を行なってください。再設定後、システムが再起動します。

パスワードを再設定しない場合は、**(N)**キーを押す

次のメッセージが表示されます。

Remove the Disk, then press any key.

フロッピーディスクを取り出し、何かキーを押すと、システムが再起動します。

■ 起動時にユーザパスワードを入力した場合

スタンバイ状態、休止状態を実行して電源を切った場合、再びパソコン本体を起動するには、ユーザパスワードまたはスーパーバイザパスワードを入力してください。

-  ● スーパーバイザパスワードで、ユーザパスワードからの起動による制限事項を設定している場合、ユーザパスワードで起動すると制限を受けません。

■ 起動時にスーパーバイザパスワードを入力した場合

スタンバイ状態を実行して電源を切った場合、再びパソコン本体を起動するには、スーパーバイザパスワードを入力してください。ユーザパスワードの入力は受け付けません。

休止状態を実行して電源を切った場合、再びパソコン本体を起動するには、ユーザパスワードまたはスーパーバイザパスワードを入力してください。

-  ● スーパーバイザパスワードで、ユーザパスワードからの起動による制限事項を設定している場合、ユーザパスワードで起動すると制限を受けません。

7章 困ったときは

1	Q&A 集を見る前に	170
2	Q&A 集	173

1

Q&A 集を見る前に

1 トラブルを解消するまで

Step 1 本書をお読みください

よく問い合わせのあるトラブルの解消方法が、「本章 2 Q&A 集」で説明されています。



Step 2 ヘルプで調べてください

■ Windows のヘルプを見る

同梱の『クイックスタートガイド』やシステムに付属の『Windows のヘルプ』をご覧ください。

■ アプリケーションのヘルプを見る

『各アプリケーションに付属の説明書』や、ヘルプをご覧ください。



Step 3 インターネットで調べましょう

東芝 PC 総合情報サイト「dynabook.com」では、本製品の最新情報や技術情報を提供しています。

URL <http://dynabook.com/>

■ サポート情報について

次のページをご覧ください。

URL http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm

■ パソコンの操作に困ったら「FAQ」を使おう

次のページをご覧ください。

URL http://www5.toshiba.co.jp/pcss/member/techinfo/dial/index_j.htm

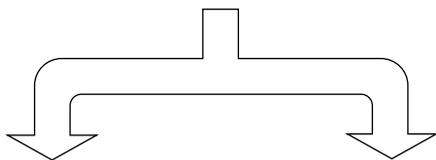
日頃、お客様から寄せいただいている質問について、サポートスタッフが図や解説をまじえて解決方法を掲載しています。キーワードまたは普通の文章を入力して、検索できます。最新情報を掲載するため、内容を変更することがあります。ご了承ください。

この他、アプリケーションの取り扱い元では、ホームページに情報を掲載している場合があります。



ホームページアドレスについて

➡ 「9章 5 アプリケーションのお問い合わせ先」



<パソコン本体のトラブル>

<インストールされている
アプリケーションのトラブル>

Step 4 「東芝 PC ダイアル」に 問い合わせる

巻末の「トラブルチェックシート」で必要事項を確認し、お問い合わせください。

Step 4 各アプリケーションのサ ポート先に問い合わせる

「9章 5 アプリケーションのお問
い合わせ先」をご覧ください。



● 本製品の故障や修理など、サポート情報については、同梱の『東芝 PC サポートのご案内』をご覧ください。

2 トラブル解消に役立つ操作

コントロールパネルの開きかた

■ 方法1 - [スタート] メニューから開く

1 [スタート] → [設定] → [コントロールパネル] をクリックする

■ 方法2 - [マイコンピュータ] から開く

1 デスクトップの [マイコンピュータ] アイコンをダブルクリックする

2 [コントロールパネル] アイコンをダブルクリックする

2

Q&A 集

パソコン本体を使ってうまく操作できないとき、動作がおかしいと感じたときの解消法のヒントをご紹介します。

電源を入れるとき／切るとき	177
Q 電源スイッチを押しても反応しない	177
Q 1 度電源が入りかけるがすぐに切れる 電源が入らない	177
Q 自動的に電源が入ってしまう	178
Q 使用中に突然電源が切れてしまった	179
Q しばらく操作しないとき、電源が切れる	179
Q Windows の起動と同時にプログラムが実行される	180
Q パソコンが休止状態にならない	181
Q 休止状態を設定できない	181
画面／表示	182
Q 画面に何も表示されない	182
Q 電源は入っているが、画面に何も表示されない	182
Q 画面が見にくい	183
Q 画面が暗い	183
Q 画面の外側に黒い枠が表示される	184
Q 画面の色がはっきりしない	184
Q [画面のプロパティ] で [画面の領域] や [画面の色] を変更できない	184
Q CRT ディスプレイで画面の色がにじんだように表示される	185
Windows	186
Q 内蔵時計が合っていない	186
Q パソコンの処理速度が遅くなった	187

バッテリー駆動で使用する時	188
Q Battery LED が点滅した	188
Q 充電したはずのバッテリーパックを使用しても Battery LED がオレンジ色に点滅する	188
Q バッテリー駆動でしばらく操作しないとき、電源が切れる	189
キーボード	190
Q 「\」 (バックスラッシュ) が入力できない	190
Q キーボードで入力モードを切り替えたい	190
Q 記号や特殊文字が入力できない	190
Q どのキーを押しても反応しない 設定は合っているが、希望の文字が入力できない	191
Q キーボードに飲み物をこぼしてしまった	191
CD / DVD	192
Q CD / DVD にアクセスできない	192
Q CD / DVD をセットしても自動的に起動しない	193
Q 正しく動作する CD / DVD もあるが、 動作しない CD / DVD もある	193
Q CD / DVD が取り出せない	193
サウンド機能	194
Q スピーカから音が聞こえない	194
Q 甲高い音がする	195
LAN 機能	196
Q ネットワークに接続できない	196
PC カード	197
Q PC カードが認識されない	197
Q PC カードの挿入は認識されるが デバイスとして認識されない	197
Q PC カードは認識されるが使用できない	197

SD メモリカード	199
Q SD メモリカードが使えない	199
Q SD メモリカードに書き込み（データの保存）ができない... ..	199
USB 対応機器	200
Q USB 対応機器が使えない	200
Q 休止状態から復帰後、USB 対応機器が正常に動作しない ...	200
赤外線通信	201
Q 赤外線通信ができない	201
Q データが正しく送られない	201
Q 赤外線通信ソフトが使えない	201
アプリケーション	202
Q アプリケーションが使えない	202
Q アプリケーションが操作できなくなった	203
Q 購入時に入っていたアプリケーションを 誤って削除してしまった	203
メッセージ	204
Q 「Password=」と表示された	204
Q 「入力されたパスワードが間違っています」と表示された ...	204
Q 「Previous resume from hibernate failed. Would you like to try again [Enter=Y,Esc=N]？」 と表示された	204
Q 「WARNING : CAN' T RESTORE HIBERNATED STATE PRESS ANY KEY TO CONTINUE」 と表示された	205
Q 使用中突然「このプログラムは不正な処理を行ったので…」 と表示された	205
Q 次のようなメッセージが表示された	205
Q C:¥Windows>_ または C:¥>_ と表示された	206
Q その他のメッセージが表示された	206

その他	207
Q パソコン本体からカリカリと変な音がする	207
Q パソコンの近くにあるテレビやラジオの調子がおかしい	207
Q パソコンが応答しない.....	207
Q コンピュータウイルスに感染した可能性がある	208
Q 異常な臭いや過熱に気づいた！	209
Q 操作できない原因がどうしてもわからない.....	209

電源を入れるとき / 切るとき

Q 電源スイッチを押しても反応しない

- A 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。
Power  LEDが緑色に点灯するまで押し続けてください。

Q 1度電源が入りかけるがすぐに切れる 電源が入らない

(Battery  LEDがオレンジ色に点滅している場合)

- A バッテリーの充電量が少ない可能性があります。
次のいずれかの対処を行なってください。
- 本製品用の AC アダプタを接続し、通電する
他製品用の AC アダプタは使用できません。
 - 充電済みのバッテリーパックを取り付ける

  バッテリーについて ⇨ 「4章 1 バッテリーについて」

(DC IN  LEDがオレンジ色に点滅している場合)

- A 電源の接続の接触が悪い可能性があります。
バッテリーパックや AC アダプタを接続し直してください。

  バッテリーパックの取り付け / 取りはずし
⇨ 「4章 1-3 バッテリーパックを交換する」

A 危険防止機能が働いた可能性があります。

次の対処を行なってください。

- パソコンを涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待つ
パソコン内部温度の上昇が一定以上に達すると、危険防止機能が働き、システムが自動停止します。
- 通風孔のまわりには物を置かない
通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。

以上の手順でも解決できない場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。

自動的に電源が入ってしまう

A Windows のタスクスケジューラで設定されている可能性があります。タスクスケジューラで [タスクの実行時にスリープを解除する] に設定されていると、スタンバイ中や休止状態のときは自動的に電源が入り、設定したタスクを実行します。

次の手順で設定を変更できます。

- ① [スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [システムツール] → [タスク] をクリックする
- ② 設定されているタスクをダブルクリックする
電源が入った時間などを参考に選択してください。
- ③ [設定] タブの [電源の管理] で [タスクの実行時にスリープを解除する] のチェックをはずす
- ④ [OK] ボタンをクリックする

A パネルスイッチ機能が設定されている可能性があります。

次の手順で、パネルスイッチ機能の設定を解除できます。

- ① [コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] をダブルクリックする
- ② [電源設定] タブで利用する省電力モードを選択して、[詳細] ボタンをクリックする
- ③ [動作] タブの [コンピュータを閉じたとき] で [何もしない] を選択する
- ④ [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ [東芝省電力のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

Q 使用中に突然電源が切れてしまった

- A パソコン内部の温度が一定以上に達すると危険防止機能が働き、システムが自動的に停止します。
パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。
それでも電源が切れる場合は、お近くの保守サービスにご連絡ください。

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

- A Power  LED が点灯している場合、表示自動停止機能が働いた可能性があります。画面には何も表示されませんが実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。
次の操作を行なってください。

- (Shift) キーや (Ctrl) キーを押す
- タッチパッドを操作する

- A Power  LED がオレンジ色に点滅しているか、消灯している場合、自動的にスタンバイまたは休止状態になった可能性があります。
電源スイッチを押してください。

また、次の手順で設定を解除できます。

- ① [コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] をダブルクリックする
- ② [電源設定] タブで利用する省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする
- ③ [省電力] タブで [システムスタンバイ] および [システム休止状態] の設定を [なし] にする
- ④ [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ [東芝省電力のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

 **参照** スタンバイ、休止状態について

- ☞ 「4章 3 パソコンの使用を中断する／簡単に電源を切る」

Windows の起動と同時にプログラムが実行される

- A** [スタートアップ] にプログラムが設定されている可能性があります。
[スタートアップ] は、設定されているプログラムを Windows 起動時に自動的に実行します。
アプリケーションをインストールすると、自動的に [スタートアップ] に登録される場合があります。
次の手順でプログラムを削除できます。

2000

- ① [スタート] → [設定] → [タスクバーと [スタート] メニュー] をクリックする
- ② [詳細] タブで [削除] ボタンをクリックする
[ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。
- ③ [スタートアップ] をダブルクリックする
- ④ 削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除] ボタンをクリックする
確認メッセージが表示されます。
- ⑤ [はい] ボタンをクリックする
- ⑥ [ショートカットやフォルダの削除] 画面で [閉じる] ボタンをクリックする
- ⑦ [タスクバーとスタートメニューのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

98

- ① [スタート] → [設定] → [タスクバーと [スタート] メニュー] をクリックする
- ② [[スタート] メニューの設定] タブで [削除] ボタンをクリックする
[ショートカットやフォルダの削除] 画面が表示されます。
- ③ [スタートアップ] をダブルクリックする
[スタートアップ] の下にアイコンが表示されます。
- ④ 削除したいプログラムのアイコンをクリックし、[削除] ボタンをクリックする
- ⑤ [ショートカットやフォルダの削除] 画面で [閉じる] ボタンをクリックする
- ⑥ [タスクバーのプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

- A** Windows のタスクスケジューラで設定されている可能性があります。タスクスケジューラで [実行する] に設定されていると、設定したスケジュールに従ってタスクを実行します。アプリケーションをインストールすると、自動的にタスクが登録される場合があります。

次の手順で設定を変更できます。

- ① [スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [システムツール] → [タスク] をクリックする
- ② 設定されているタスクをダブルクリックする
プログラムが実行された時間などを参考に選択してください。
- ③ [タスク] タブで [実行する] のチェックをはずす
- ④ [OK] ボタンをクリックする

Q パソコンが休止状態にならない

- A** 休止状態に対応していない周辺機器 (PC カードなど) を取り付けていると休止状態になりません。

休止状態に対応していない周辺機器を取りはずしてから、休止状態を実行してください。

- A** [スタートアップ] に休止状態の妨げになるアプリケーションが設定されている可能性があります。
[スタートアップ] からそのアプリケーションを削除し、Windows を再起動してください。

 スタートアップに登録されているアプリケーションの削除方法
↳ 「Q&A 集 本節 - Q.Windows の起動と同時にプログラムが実行される」

Q 休止状態を設定できない

- A** 休止状態の設定になっていない可能性があります。

次の手順で設定を変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] をダブルクリックする
- ② [休止状態] タブで [休止状態をサポートする] をチェックする
()
- ③ [OK] ボタンをクリックする

 休止状態について
↳ 「4章 3 パソコンの使用を中断する／簡単に電源を切る」

画面 / 表示

❓ 画面に何も表示されない

(Power  LED が消灯、またはオレンジ色に点滅している場合)

- A 電源が入っていない、またはスタンバイ状態になっています。
電源スイッチを押してください。

❓ 電源は入っているが、画面に何も表示されない

(Power  LED が点灯している場合)

- A 表示自動停止機能が働いた可能性があります。
次の操作を行なってください。

- (Shift)キーや(Ctrl)キーを押す
- タッチパッドを操作する

 ● CRT ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに
10 秒前後かかることがあります。故障ではありません。

- A インスタントセキュリティ機能が働いた可能性があります。
次の操作を行なってください。

[画面のプロパティ] の [スクリーンセーバー] タブで、[パスワードによる保護] をチェックしていない場合：

(Shift)キーや(Ctrl)キーを押す、またはタッチパッドを操作する

[画面のプロパティ] の [スクリーンセーバー] タブで、[パスワードによる保護] をチェックしている場合：

[パスワードによる保護] は、スクリーンセーバを選択すると有効になります。

- ① (Shift)キーや(Ctrl)キーを押す
- ② パスワード入力画面に次のパスワードを入力し、(Enter)キーを押す
 **2000** : Windows のログオンパスワード
 **98** : [画面のプロパティ] の [スクリーンセーバー] タブで設定したパスワード

 参照 インスタントセキュリティ機能について

☞ 「3章 8-1- (Fn)キーを使った特殊機能キー」

- A** 表示装置が適切に設定されていない可能性があります。
次の操作を行なってください。

- **(Fn) + (F5)** キーを 3 秒間押し続ける
表示が内部液晶ディスプレイに戻ります。

 詳細について  「5 章 8 CRT ディスプレイを接続する」

画面が見にくい

- A** ディスプレイを見やすい角度に調整してください。

画面が暗い

- A** ディスプレイの輝度が低く設定されている可能性があります。
次の手順で設定を変更してください。

● 方法 1

- **(Fn) + (F7)** キーを押して画面の輝度を上げる（明るくする）
(Fn) + (F6) キーを押すと画面の輝度は下がります。

● 方法 2

- ① [コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] をダブルクリックする
- ② [電源設定] タブで利用する省電力モードを選択して、[詳細] ボタンをクリックする
- ③ [省電力] タブで [モニタの輝度] を設定する
- ④ [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ [東芝省電力のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

設定を変更しても明るくならない場合は、ディスプレイに取り付けられているサイドライト用の FL 管（冷陰極管）が消耗している可能性があります。お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にて交換いたします。

❶ 画面の外側に黒い枠が表示される

A 低い解像度に設定されています。
次の手順で設定を変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[画面] をダブルクリックする
- ② [設定] タブの [画面の領域] で領域サイズを変更する
- ③ [OK] ボタンをクリックする

❷ 画面の色がはっきりしない

A 色数が少ない場合に起こります。
色数の種類は「256色」「High Color (16ビット)」「True Color (32ビット)」から選択します。
次の手順で設定を変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[画面] をダブルクリックする
- ② [設定] タブで  [画面の色]、 [色] を「High Color (16ビット)」や「True Color (32ビット)」に設定する
- ③ [OK] ボタンをクリックする

❸ [画面のプロパティ] で [画面の領域] や [画面の色] を変更できない

A [ディスプレイ] の設定があっていない可能性があります。
次の手順で確認してください。

2000

- ① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ② [ハードウェア] タブの [デバイスマネージャ] で [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
- ③ [ディスプレイアダプタ] の [Trident CyberBlade XP Ai1] が正しく設定されているか確認する
- ④ [OK] または [閉じる] ボタンをクリックする
正しく設定されていない場合は、アプリケーションCDからディスプレイアダプタを再インストールしてください。インストール方法については、アプリケーションCDをセットして表示される画面をご覧ください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ② [デバイスマネージャ] タブで [ディスプレイアダプタ] の [Trident CyberBlade XP Ai1 (22)/ICD] が正しく設定されているか確認する
正しく設定されていない場合は、アプリケーション&ドライバ CD-ROM からディスプレイアダプタを再インストールしてください。インストール方法については、アプリケーション&ドライバ CD-ROM をセットして表示される画面をご覧ください。

Q CRT ディスプレイで画面の色がにじんだように表示される

- A テレビ、オーディオ機器のスピーカなど強力な磁気を発生する電気製品の近くに設置している場合は、遠ざけてください。



- 高圧電線の近くの建物の場合は、パソコン本体を置く位置を変えることによって、画像の乱れが直る場合もあります。

🔍 内蔵時計が合っていない

- A 次の手順で [日付と時刻] を修正してください。
- ① [コントロールパネル] を開き、[日付と時刻] をダブルクリックする
[日付と時刻のプロパティ] 画面が表示されます。
 - ② [時刻] に表示されている、デジタル時計の数字の部分をクリックする
「時：分：秒」で項目が分かれているので、変更したい部分をクリックしてください。
 - ③ デジタル時計の右端にある上下のボタン () で、時刻の修正を行う
 - ④ [OK] ボタンをクリックする
- A 長い間パソコンを使用しないと時計用バッテリーの充電が不十分になります。
パソコン本体の電源を入れて、時計用バッテリーを充電してください。
- A 充電してもしばらくすると内蔵時計が合わなくなる場合は、時計用バッテリーの充電機能が低下している可能性があります。
お近くの保守サービスにご連絡ください。

Q パソコンの処理速度が遅くなった

- A 「東芝省電力ユーティリティ」の設定で、CPUの処理速度が切り替わった可能性があります。また、ご購入時の状態の省電力モードは、ACアダプタを接続しているときは[フルパワー]、バッテリー駆動で使用するときは[ノーマル]に設定されていますので、ACアダプタ接続時に比べてバッテリー駆動時のパソコンの処理速度は遅くなります。

CPUの処理速度は次の手順で変更できます。

- ① [コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] をダブルクリックする
- ② 利用したい省電力モードを選択し、[詳細] ボタンをクリックする
- ③ [省電力] タブの [CPUの処理速度] で、バッテリー残量に応じて処理速度を設定する
- ④ [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ [東芝省電力のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

 省電力モードについて ⇨ 「4章 2 省電力の設定をする」

- A パソコンのCPUが高温になり、自動的に処理速度が遅くなった可能性があります。しばらく作業を中止すると、CPUの温度が下がり処理速度が元に戻ります。
- A ハードディスクの空き容量が少なくなり、処理速度が遅くなった可能性があります。不要なファイルなどを削除して、ハードディスクの空き容量を増やしてください。

バッテリー駆動で使用するとき

Q Battery LED が点滅した

A バッテリーの充電量が残り少ない状態です。
ただちに次のいずれかの対処を行なってください。

- パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源を供給する
- 電源を切ってから、フル充電のバッテリーパックと取り換える

対処しないと、休止状態が有効に設定されている場合、パソコン本体は自動的に休止状態になり、電源を切ります。

休止状態が無効の場合、パソコン本体は何もしないで電源が切れますので、作業中のデータが消失するおそれがあります。休止状態を有効にしておくことをおすすめします。ご購入時は有効に設定されています。また、データはこまめに保存してください。

 [バッテリーの充電方法](#) ⇨ 「4 章 1-1 バッテリーを充電する」

Q 充電したはずのバッテリーパックを使用しても Battery LED がオレンジ色に点滅する

A バッテリーパックは使わずにいても充電量が少しずつ減っていきます。
もう 1 度充電してください。

充電しても状態が変わらない場合は、バッテリーパックの充電機能が低下している可能性があります。別売りのバッテリーパックと交換してください。それでも状態が変わらない場合は、パソコン本体が故障していると考えられます。お近くの保守サービスにご連絡ください。

 [バッテリーの充電量について](#) ⇨ 「4 章 1-2 バッテリー充電量を確認する」

Q バッテリー駆動でしばらく操作しないとき、電源が切れる

A 一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスタンバイまたは休止状態にし、システムの動作をオフにするように設定されています。設定を解除してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[東芝省電力] をダブルクリックする
- ② [電源設定] タブで利用する省電力モードをクリックし、[詳細] ボタンをクリックする
- ③ [省電力] タブで [システムスタンバイ] および [システム休止状態] の設定を [なし] にする
- ④ [OK] ボタンをクリックする
- ⑤ [東芝省電力のプロパティ] 画面で [OK] ボタンをクリックする

キーボード

Q 「\」(バックslash)が入力できない

A 日本語フォントでは「\」は入力できません。

を押すと¥が表示されますが、同じ機能を持ちます。

Q キーボードで入力モードを切り替えたい

A ショートカットキーを利用して入力モード(ひらがな入力、ローマ字入力、半角英数入力、大文字ロック状態など)を変更できます。

+英数キーや、+キー、+キー、++キー、+キーを使って、文字入力の状態を合わせてから入力してください。

 詳細について ⇨ 「3章 8 キーボード」

Q 記号や特殊文字が入力できない

A 次の手順で文字コード表から希望の文字を探してください。

- ① [スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [システムツール] → [文字コード表] をクリックする
[文字コード表] が表示されます。
- ②  [フォント]、 [フォント名] を選択し、[文字コード表] の使用したい文字をダブルクリックする
- ③ [コピー] ボタンをクリックする
- ④ 文書を開いているアプリケーションのメニューから [編集] → [貼り付け] をクリックする
文書に手順②で指定した文字が挿入されます。挿入された文字には、手順②で選択したフォントを指定してください。

A MS-IME には [IME パッド] という機能があります。
この一覧から希望の文字を捜すことができます。

 詳細について ⇨ 『MS-IME のオンラインヘルプ』

Q どのキーを押しても反応しない 設定は合っているが、希望の文字が入力できない

- A [スタート] メニューから再起動してください。
[スタート] メニューから再起動できない場合は、**(Ctrl)+(Alt)+(Del)** キーを押して、再起動してください。この場合、保存していない作成中のデータは消去されます。

 **(Ctrl)+(Alt)+(Del)**キーでの再起動について
⇒「Q&A集 その他-Q. パソコンが反応しない」

- A **(Ctrl)+(Alt)+(Del)** キーを押して再起動できない場合は、電源スイッチを5秒以上押してください。電源が切れます。この場合、保存していない作成中のデータは消去されます。
しばらくしてから電源を入れ直してください。

Q キーボードに飲み物をこぼしてしまった

- A 飲み物など液体がこぼれて内部に入ると、感電、本体の故障、作成データの消失などのおそれがあります。液体がパソコン内部に入ったときは、電源を切り、ACアダプタとバッテリーパックを取りはずして、ただちに買い求めの販売店、または保守サービスに点検を依頼してください。

CD / DVD

* DVDは、スリムセレクトベイにマルチドライブ（別売り）を取り付けた場合のみ

Q CD / DVD にアクセスできない

- A ディスクトレイがきちんとしまっていない場合は、カチッと音がするまで押し込んでください。
- A CD / DVD がきちんとセットされていない場合は、ラベルがついている方を上にして、水平にセットしてください。
- A ディスクトレイ内に異物がある場合は、取り除いてください。何かはさまっていると、故障の原因になります。
- A CD / DVD が汚れている場合は、乾燥した清潔な布で拭いてください。それでも汚れが落ちなければ、水または中性洗剤で湿らせた布で拭き取ってください。
- A CD / DVD を認識していない可能性があります。
Slim Select Bay  LED が点滅している間は、まだ認識されていません。
消灯するまで待って、もう 1 度アクセスしてください。
- A データを処理している
大量のデータを処理しているときは、時間がかかります。
LED が消えるまで待ってください。
どうしても消えないときは作業を中断し、**(Ctrl) + (Alt) + (Del)** キーを押して再起動してください。
再起動できない場合は、電源スイッチを 5 秒以上押し、電源を切ってから、もう 1 度電源を入れてください。
再起動後、作業を行い、LED が消えない場合は、電源を切り、お近くの保守サービスにご連絡ください。

 **(Ctrl) + (Alt) + (Del)** キーでの再起動について

▷ 「本節 その他-Q. パソコンが応答しない」

Q CD / DVD をセットしても自動的に起動しない

A 自動起動に対応していないCD / DVD を挿入している可能性があります。自動起動に対応していないCD / DVD は自動起動できません。『CD / DVD に付属の説明書』などで確認してください。

対応していないときは、次の手順で起動することができます。

- ① [マイコンピュータ] を開く
- ② ドライブのアイコンをダブルクリックする

Q 正しく動作するCD / DVD もあるが、動作しないCD / DVD もある

A 使用環境の設定が必要なCD / DVD を使用している可能性があります。各CD / DVD によって異なる使用環境を設定しなければならない場合があります。『CD / DVD に付属の説明書』を読んで、それぞれのCD / DVD に合った環境を設定してください。

A 読み取れないCD-R、CD-RW をセットしている可能性があります。CD-R、CD-RW には、メディアの特性や書き込み時の特性により、読み取れないものもあります。

Q CD/DVD が取り出せない

A パソコン本体またはドライブの電源が入っていないと、イジェクトボタンを押してもディスクトレイは出てきません。電源を入れてから、イジェクトボタンを押してください。

A 故障などで電源が入らない場合は、ドライブのイジェクトホールを先の細い丈夫なもので押してください。

イジェクトホールは、折れにくいもの（例えばクリップを伸ばしたものなど）で押してください。

折れた破片がパソコン内部に入ると、故障の原因になります。

電源が入らないとき以外はこの処置をしないでください。

特にパソコンの動作中はしないでください。

 イジェクトホール ⇨ 「3章 9-2 CD のセットと取り出し」

サウンド機能

Q スピーカから音が聞こえない

- A ヘッドホン出力端子からヘッドホンを取りはずしてください。
- A パソコン本体のボリュームダイヤルで音量を調節してください。
- A スピーカの設定がミュート（消音）になっている可能性があります。次の手順で変更してください。

●方法 1

- (Fn) + (Esc) キーを押す

●方法 2

- ① タスクバーの [音量] アイコンをクリックする
- ② [ミュート] にチェック (☑) がついている場合は、チェックをはずす
- ③ つまみをドラッグして調整する
つまみを上にするとスピーカの音量が上がります。

- A 標準の [優先するデバイス] が変更されている可能性があります。次の手順で設定を変更してください。

■2000

- ① [コントロールパネル] を開き、[サウンドとマルチメディア] をダブルクリックする
- ② [オーディオ] タブで [音の再生] の [優先するデバイス] を正しく設定する
- ③ [OK] ボタンをクリックする

■98

- ① [コントロールパネル] を開き、[マルチメディア] をダブルクリックする
- ② [オーディオ] タブで [再生] の [優先するデバイス] を正しく設定する
- ③ [OK] ボタンをクリックする

- A 上記の操作を行っても音量が変わらなければ、標準のサウンドドライバが壊れているか、誤って消去された可能性があります。付属の ■2000「アプリケーションCD」、■98「アプリケーション&ドライバCD-ROM」からサウンドドライバを再インストールしてください。

Q 甲高い音がする

A 外部マイクとスピーカでハウリングを起こしている可能性があります。使用するソフトウェアによっては、この現象が起きることがあります。次の操作を行なってください。

- パソコン本体のボリュームダイヤルで音量を調節する
- 使用しているソフトウェアの設定を変える
- Windows 上から音量の設定を調整する



LAN 機能

Q ネットワークに接続できない

A ネットワークの設定が正しくない可能性があります。
次の点を確認してください。

- Windows のネットワーク設定を確認する
- 相手先のネットワーク機器 (HUB) などの設定を確認する
- ケーブルの状態を確認する

A 内蔵 LAN 機能が無効に設定されている可能性があります。
次の手順で設定を変更してください。

- ① [コントロールパネル] を開き、[東芝 HW セットアップ] をダブルクリックする
- ② [LAN] タブで [内蔵 LAN] の [使用する] をチェックする
- ③ [OK] ボタンをクリックする

PC カード

Q PC カードが認識されない

A PC カードが奥までしっかり差し込んであるか確認してください。

Q PC カードの挿入は認識されるがデバイスとして認識されない

A PC カードによっては、使用できるシステム（OS）が限られているものがあります。詳しくは、『PC カードに付属の説明書』をご覧ください。

A 本製品は Windows 専用モデルです。MS-DOS プロンプト上での PC カードの使用はサポートしておりません。

Q PC カードは認識されるが使用できない

A IRQ が不足している可能性があります。
次の手順で使用しないデバイスを使用不可にしてください。

2000

- ① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ② [ハードウェア] タブで [デバイスマネージャ] ボタンをクリックする
- ③ [デバイスマネージャ] で使用しないデバイスの左の ⊕ をクリックする
- ④ 表示される項目から使用しないデバイスを右クリックし、[無効] をクリックする
確認のメッセージが表示されます。
- ⑤ [[はい] ボタンをクリックする
- ⑥ [デバイスマネージャ] 画面を閉じる
- ⑦ [システムのプロパティ] 画面で [OK]、または [閉じる] ボタンをクリックする

 98

- ① [コントロールパネル] を開き、[システム] をダブルクリックする
- ② [デバイスマネージャ] で使用しないデバイスの  をクリックする
- ③ 表示される項目から使用しないデバイスを選択し、[プロパティ] ボタンをクリックする
- ④ [全般] タブで [このハードウェアプロファイルで使用不可にする] をチェックし、[OK] ボタンをクリックする
- ⑤ [閉じる] ボタンをクリックする

SD メモリカード

Q SD メモリカードが使えない

- A SD メモリカードが正しくセットされていない可能性があります。SD メモリカードが正しい向き（コネクタ部が下向き）で挿入されているか確認してください。

Q SD メモリカードに書き込み（データの保存）ができない

- A SD メモリカードのライトプロテクトタブが「書き込み禁止状態」になっていると、書き込み（データの保存）ができません。SD メモリカードを取り出して、ライトプロテクトタブを「書き込み可能状態」にしてください。
- A SD メモリカードの空き容量が少ないと、書き込み（データの保存）ができません。
次の操作を行なってください。
- 不要なファイルやフォルダを削除して空き容量を増やし、やり直してください。
SD メモリカードから削除したファイルを元に戻すことはできません。よく確かめてから削除を行なってください。
 - 空き容量が十分にある別の SD メモリカードを使用してください。

USB 対応機器

Q USB 対応機器が使えない

- A 何らかの原因で、システム（OS）が正しく USB 対応機器を認識していない可能性があります。Windows を再起動してください。
- A ドライバが正しくインストールされていない可能性があります。次の手順でドライバをインストールしてください。
 - ① [コントロールパネル] を開き、 [ハードウェアの追加と削除]、 [ハードウェアの追加] をダブルクリックする
 - ② [次へ] ボタンをクリックする
画面の指示に従って操作してください。

Q 休止状態から復帰後、USB 対応機器が正常に動作しない

- A 休止状態に対応していない USB 対応機器を接続している可能性があります。USB 対応機器を USB コネクタから取りはずし、もう 1 度接続してください。

赤外線通信

❓ 赤外線通信ができない

- A 赤外線ポートを正しく設定してください。
- A 通信先とパソコンの通信速度を同じにしてください。
- A 赤外線ポートの汚れをおとしてください。
- A 赤外線ポート間の障害物を取り除いてください。

❓ データが正しく送られない

- A 通信先とパソコンの通信速度を同じにしてください。
- A 通信先との距離を変えてみてください。
- A 直射日光や蛍光灯の光の当たる場所からパソコンを離してください。

❓ 赤外線通信ソフトが使えない ()

- A 赤外線ソフトが正しく設定されていない可能性があります。
次の手順で設定を変更してください。
 - ① [コントロールパネル] を開き、[赤外線モニタ] をダブルクリックする
 - ② [オプション] タブで [赤外線通信を使用可能にする] をチェックする



アプリケーション

Q アプリケーションが使えない

- A 正しくインストールされていない可能性があります。
『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、正しくインストールしてください。
- A システム（OS）に対応していない可能性があります。
アプリケーションによっては使用できるシステム（OS）が限られているものがあります。
詳しくは、『アプリケーションに付属の説明書』をご覧ください。
- A メモリが足りない可能性があります。
アプリケーションを起動するために必要なメモリ容量がない場合は、そのアプリケーションを使用することはできません。必要なメモリ容量は、『アプリケーションに付属の説明書』をご覧ください。
- A アプリケーションによっては、システム構成の変更が必要です。
『アプリケーションに付属の説明書』を読んで、システム構成を変更してください。

Q アプリケーションが操作できなくなった

- A アプリケーション使用中に操作できなくなった場合は、次の手順でアプリケーションを強制終了してください。終了後、もう1度アプリケーションを起動してください。この場合、アプリケーションで編集していたデータは保存できません。

2000

- ① (Ctrl)+(Alt)+(Del)キーを押す
[Windowsのセキュリティ]画面が表示されます。
- ② [タスクマネージャ]ボタンをクリックする
[Windowsタスクマネージャ]画面が表示されます。
- ③ [アプリケーション]タブで [応答なし]と表示されているアプリケーションのタスクをクリックする
- ④ [タスクの終了]ボタンをクリックする
アプリケーションが終了します。
- ⑤ [Windowsタスクマネージャ]画面を閉じる

98

- ① (Ctrl)+(Alt)+(Del)キーを押す
[プログラムの強制終了]画面が表示されます。
- ② 応答しないアプリケーションを選択し、[終了]ボタンをクリックする
アプリケーションが終了します。

Q 購入時に入っていたアプリケーションを誤って削除してしまった

- A 本製品にプレインストールされているアプリケーションやドライバは、**2000**「アプリケーションCD」、**98**「アプリケーション&ドライバCD-ROM」から再インストールできます。
詳しくは、CD-ROMをセットして表示される画面をご覧ください。

メッセージ

Q 「[Password=] と表示された

- A パスワードが設定されています。
「東芝HWセットアップ」で設定したパスワードを入力し、(Enter)キーを押してください。
パスワードを忘れた場合は、キーフロッピーディスクを使用してください。
キーフロッピーディスクがない場合は、お使いの機種をご確認後、お近くの保守サービスにご連絡ください。有償にてパスワードを解除いたします。その際、身分証明書（お客様ご自身を確認できる物）の提示が必要となります。

参照  パスワードの入力について ⇨ 「6章 3 パスワードセキュリティ」

Q 「入力されたパスワードが間違っています」と表示された

- A 大文字ロック状態でパスワードを入力した可能性があります。
(Shift)+(Caps Lock 英数)キーを押して大文字ロック状態を解除し、もう1度入力してください。

Q 「Previous resume from hibernate failed. Would you like to try again [Enter=Y,Esc=N]？」 と表示された

- A 休止状態が無効になったというメッセージです。
電源を切る前の状態は再現できません。(Enter)キーを押してください。
もう1度同じメッセージが表示された場合は、(Esc)キーを押してください。

Q 「[WARNING : CAN'T RESTORE HIBERNATED STATE PRESS ANY KEY TO CONTINUE] と表示された (98)

- A 休止状態によるシステム起動ができないというメッセージです。電源を切る前の状態は再現できません。どれかキーを押してください。

Q 使用中突然「このプログラムは不正な処理を行ったので…」と表示された

- A ソフトウェアの内部処理がうまくいきませんでした。画面の指示に従い、[閉じる] ボタンをクリックし、パソコンを再起動してください。
このとき、作成中のデータは保存されない場合があります。

Q 次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive. Press any key when ready」
 - 「Non- System disk or disk error Replace and press any key when ready」
 - 「Invalid system disk Replace the disk, and then press any key」
 - 「Boot:Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
 - 「Disk I/O error Replace the disk, and then press any key」
 - 「Cannot load DOS press key to retry 」
- A 別売りのフロッピーディスクドライブを取り付けている場合は、フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、何かキーを押してください。
- A 巻末の「トラブルチェックシート」で必要事項をご確認のうえ、東芝PCダイヤルにご連絡ください。

Q C:¥Windows>_ または C:¥>_ と表示された

A MS-DOS プロンプトが全画面表示されています。
次の操作を行なってください。

- 方法 1 – MS-DOS プロンプト画面をウィンドウ表示に切り替える
 - (Alt) + (Enter) キーを押す
- 方法 2 – MS-DOS プロンプト画面を終了する
 - ① (E)(X)(I)(T) とキーを押す
 - ② (Enter) キーを押す

Q その他のメッセージが表示された

A ご使用のシステムやアプリケーションの説明書をご覧ください。

その他

Q パソコン本体からカリカリと変な音がする

- A ハードディスクが自動保存を行なっています。パソコン操作中は、自動的にデータの保存などの内部作業が行われています。ハードディスクが動作する音が聞こえますが、問題はありません。極端に異常な音が聞こえるなど、おかしいと思われる状態が発生したときは、お買い求めの販売店またはお近くの保守サービスまでご連絡ください。

Q パソコンの近くにあるテレビやラジオの調子がおかしい

- A 次の操作を行なってください。
- テレビ、ラジオの室内アンテナの方向を変える
 - テレビ、ラジオに対するパソコン本体の方向を変える
 - パソコン本体をテレビ、ラジオから離す
 - テレビ、ラジオのコンセントとは別のコンセントを使う
 - コンセントと機器の電源プラグとの間に市販のフィルタを入れる
 - 受信機に屋外アンテナを使う
 - 平衡フィーダを同軸ケーブルに替える

Q パソコンが応答しない

- A 応答しないアプリケーションを強制終了してください。

 対処方法について

➔ 「Q&A集 アプリケーション-Q. アプリケーションが操作できなくなった」

アプリケーションを終了しても調子がおかしい場合は、以降の操作を行なってください。

A Windows を強制終了し、再起動してください。

強制終了の方法は、次のとおりです。

システムが操作不能になったとき以外には行わないでください。強制終了を行うと、スタンバイ／休止状態は無効になります。また、保存していないデータは消去されます。

2000

- ① **(Ctrl) + (Alt) + (Del)** キーを押す
[Windows のセキュリティ] 画面が表示されます。
- ② [シャットダウン] ボタンをクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、**(Alt) + (S)** キーを押してください。
- ③ [シャットダウン] を選択し、[OK] ボタンをクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、**(↑)** キーや **(↓)** キーで [シャットダウン] を選択し、**(Enter)** キーを押してください。
プログラムを強制終了し、電源が切れます。
- ④ パソコン本体の電源を入れる

98

- ① **(Ctrl) + (Alt) + (Del)** キーを押す
[プログラムの強制終了] 画面が表示されます。
- ② [シャットダウン] ボタンをクリックする
プログラムを強制終了し、電源が切れます。
- ③ パソコン本体の電源を入れる

コンピュータウイルスに感染した可能性がある

A ウイルスチェックソフトでウイルスチェックを行い、ウイルスが発見された場合は駆除してください。

Q 異常な臭いや過熱に気づいた！

A パソコン本体、周辺機器の電源を切り、電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。

安全を確認してバッテリーパックをパソコン本体から取りはずしてから販売店または保守サービスにご連絡ください。

なお、ご連絡の際には次のことをお知らせください。

- 使用している機器の名称
- ご購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しくご連絡ください）

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A 巻末の「トラブルチェックシート」で、必要事項をご確認のうえ、東芝PCダイヤルにご連絡ください。

8章 再セットアップ

- 1 再セットアップとは 212
- 2 リカバリ CD / カスタム・リカバリ CD 213
- 3 標準システムを復元する 215
- 4 最小構成でシステムを復元する
(Windows 98) 218
- 5 アプリケーションを再インストールする
(Windows 98) 221

1

再セットアップとは

同梱されているリカバリ CD を使って、システムやアプリケーションをご購入時の状態にリカバリ（復元）することを再セットアップといいます。

再セットアップが必要なとき

次のようなときに、再セットアップしてください。

- C ドライブをフォーマットしてしまった
- ハードディスク内のシステムファイルを削除してしまった
- 電源を入れても、システム（Windows）が起動しない
- プレインストールされていたアプリケーションを削除したが、もう 1 度インストールしたい など

再セットアップする前に

「7 章 困ったときは」に、いろいろなトラブル解決方法が書かれています。そちらをご覧のうえ、解決できないときに再セットアップしてください。

再セットアップすると、ハードディスク内に保存されていたデータは、すべて消えてしまいます。ご購入後に作成したファイルなど、必要なデータは、あらかじめバックアップをとって保存してください。

また、インターネットやハードウェアなどの設定は、すべてご購入時の状態に戻ります。再セットアップ後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。

2

リカバリ CD ／カスタム・リカバリ CD

1 Windows 2000のリカバリCD

Windows 2000 モデルには次のリカバリ CD が同梱されています。
リカバリ CD は、再セットアップのときに使用します。

- リカバリ CD (Product Recovery CD-ROM)
- アプリケーション CD (Application CD-ROM)

 詳細について ⇨ 「本章 3 標準システムを復元する」

アプリケーション CD は、本製品で用意されているアプリケーションが入っています。用意されているアプリケーションなどの一覧および概要、注意事項とインストール方法については、アプリケーション CD をセットし、表示される画面をご覧ください。

リカバリ CD / アプリケーション CD は絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。

2 Windows 98 のカスタム・リカバリ CD

Windows 98 モデルには次のカスタム・リカバリ CD が同梱されています。

- Product Recovery CD-ROM
- アプリケーション & ドライバ CD-ROM

カスタム・リカバリ CD は再セットアップのときに必要です。絶対になくさないようにしてください。紛失した場合、再発行することはできません。再セットアップには、次の方法があります。目的に合った再セットアップ方法を選んでください。

システムを復元するときは、「標準システムを復元する」方法で行うことをおすすめします。

●標準システムを復元する

システムをご購入時の状態に戻します。プレインストールされているアプリケーションもすべて復元します。



詳細について ⇨ 「本章 3 標準システムを復元する」

●最小構成でシステムを復元する

Windows を復元します。デバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされません。



詳細について ⇨ 「本章 4 最小構成でシステムを復元する」

●アプリケーションやドライバごとに再インストールする

プレインストールされているアプリケーションの中から、必要なアプリケーションやドライバを指定してインストールできます。



詳細について ⇨ 「本章 5 アプリケーションを再インストールする」

3

標準システムを復元する

本製品にプレインストールされている Windows やアプリケーションをすべて復元し、ご購入時の状態に戻します。

1 はじめる前に

■ 必要なもの

- Product Recovery CD-ROM
- 取扱説明書（本書）

■ 準備

- 必要なデータを保存する
システムを復元すると、ハードディスクの内容はすべて削除されます。必要なデータは、あらかじめバックアップをとって保存してください。
- パソコンを購入時の状態に戻す
増設したハードディスクドライブやメモリなど、ご購入後に追加した周辺機器を取りはずしてください。

2 操作手順

Windows 2000 モデルの場合

- 1 「Product Recovery CD-ROM Disk1」 をセットして、パソコンの電源を切る
- 2 キーボードの(C)キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
「復元を開始します！よろしいですか？」というメッセージが表示されます。

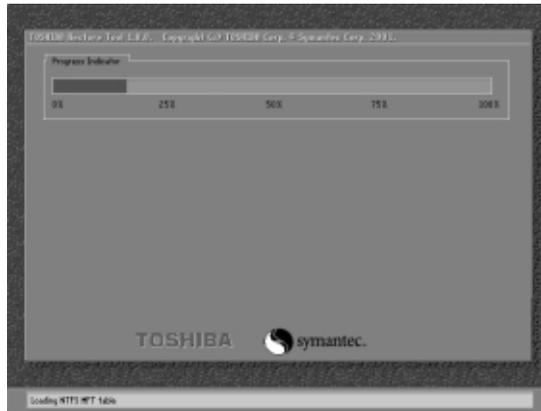
3 復元を行う場合は \textcircled{Y} キーを、行わない場合は \textcircled{N} キーを押す
 \textcircled{Y} キーを押すと、「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。

4 復元を続行する場合は \textcircled{Y} キーを、復元を中止する場合は \textcircled{N} キーを押す

復元中は、次の画面が表示されます。

復元の進行状況を示すグラフ表示が100%まで伸びた後、もう1度0%から始まります。

グラフが2度目に100%に達すると完了です。

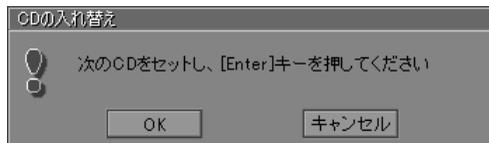


(表示例)

5 表示されるメッセージに従って復元を行う

復元中に次のメッセージが表示された場合、CDを入れ替え、

$\textcircled{\text{Enter}}$ キーを押してください。処理が続きます。



復元が完了すると、終了画面が表示されます。

6 CDを取り出し、何かキーを押す

システムが再起動します。

7 Windowsのセットアップを行う



Windowsのセットアップ ➡ 「1章 2 Windowsのセットアップ」

Windows 98 モデルの場合

- 1 「Product Recovery CD-ROM Disk1」 をセットして、パソコンの電源を切る
- 2 キーボードの(C)キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
「復元する構成を選択してください」のメッセージが表示されます。
- 3 (1)キーを押す
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」のメッセージが表示されます。
- 4 (Y)キーを押す
処理を中止する場合は、(N)キーを押してください。
復元中は、次の画面が表示されます。
復元の進行状況を示すグラフ表示が 100%まで伸びた後、もう 1 度 0% から始まります。
グラフが 2 度目に 100%に達すると完了です。



(表示例)

- 5 CD を取り出し、何かキーを押す
システムが再起動します。
- 6 Windows のセットアップを行う

参照  Windows のセットアップ ⇨ 「1 章 2 Windows のセットアップ」

4

最小構成でシステムを復元する (Windows 98)

Windows を復元することができます。

ご購入時にプレインストールされていたデバイスドライバやアプリケーションなどはインストールされませんので、通常は標準システムを復元することをおすすめします。

最小構成で復元した場合は、Windows のセットアップ終了後、本製品に同梱されているアプリケーション & ドライバ CD-ROM から、デバイスドライバおよび必要なアプリケーションをインストールしてください。

Windows のセットアップ画面は、パソコンのご購入後初めて電源を入れるとき、または標準システムの復元のとくと異なります。また、Windows のセットアップに時間がかかります。途中、作業画面が止まったように見えるときがありますが、間違って電源を切ったりしないでください。

1 はじめる前に

■ 必要なもの

- Product Recovery CD-ROM
- 取扱説明書（本書）

■ 準備

- 必要なデータを保存する
システムを復元すると、ハードディスクの内容はすべて削除されます。必要なデータは、あらかじめバックアップをとって保存してください。
- パソコンを購入時の状態に戻す
増設したハードディスクドライブやメモリなど、ご購入後に追加した周辺機器を取りはずしてください。
- Product Key を書き写す
プロダクト キー
最小構成で復元した場合は、Windows セットアップ時に Product Key の入力が必要です。Product Key はパソコン本体裏面に貼られているラベルに印刷されています。あらかじめ紙などに書き写しておいてください。



- 最小構成でシステムを復元する場合でも、標準システムを復元する場合と同じディスク使用量（ご購入時のディスク使用量）が必要です。

2 操作手順

- 1 「Product Recovery CD-ROM Disk1」をセットして、パソコンの電源を切る
- 2 キーボードの(C)キーを押しながら、パソコンの電源を入れる
「復元する構成を選択してください」というメッセージが表示されます。
- 3 (2)キーを押す
「ハードディスクの内容は、すべて削除されます！」というメッセージが表示されます。
- 4 (Y)キーを押す
処理を中止する場合は、(N)キーを押してください。
復元中は、次の画面が表示されます。
復元の進行状況を示すグラフ表示が100%まで伸びた後、もう1度0%から始まります。
グラフが2度目に100%のところに達すると完了です。



- 5 CDを取り出し、何かキーを押す
パソコンが再起動し、[最小構成の復元] 画面が表示されます。
- 6 表示されるメッセージを確認し、何かキーを押す
[Windows セットアップの確認] 画面が表示されます。
- 7 **Enter**キーを押す
Windows セットアップウィザードが起動します。
- 8 Windowsのセットアップを行う
画面の指示に従って操作してください。

セットアップ途中に、[最小構成システムへ復元時に必ずお読みください。]画面が表示されます。最小構成でシステムを復元した時の注意事項が書かれていますので、必ずお読みください。表示されていない部分を見るには、▲▼ボタンをクリックするか、**(Fn)+(↑)**キー、**(Fn)+(↓)**キーを使って画面を動かしてください。読み終わったら、[閉じる] ボタン (**✕**) をクリックし、画面を閉じてください。

5

アプリケーションを再インストールする (Windows 98)

本製品にプレインストールされているアプリケーションやドライバを一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバを指定して再インストールすることができます。

再インストールするには、アプリケーション & ドライバ CD-ROM を使用します。

1 アプリケーション & ドライバ CD-ROM をセットする

アプリケーション & ドライバ CD-ROM は、複数枚入っている場合があります。

2 表示されるメッセージに従ってインストールを行う

[ファイルのダウンロード] 画面が表示された場合は、[このプログラムを上記の場所から実行する] を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。



- すでにインストールされているアプリケーションを再インストールするときは、コントロールパネルの「アプリケーションの追加と削除」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行なってください。アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

9章 パソコンの取り扱い

- 1 オンラインマニュアルについて 224
- 2 日常の取り扱いとお手入れ 226
- 3 アフターケアについて 231
- 4 廃棄について 232
- 5 アプリケーションのお問い合わせ先 234

1

オンラインマニュアルについて

Windows が起動しているときに、取扱説明書（本書）をパソコン画面上で見ることができます。「Adobe Acrobat Reader」と「オンラインマニュアル」それぞれのインストールが必要です。

■ インストール方法

- 1 「アプリケーションCD」（2000）、「アプリケーション&ドライバCD-ROM」（98）をセットする
- 2 表示されるメッセージに従ってインストールを行う
[ファイルのダウンロード] 画面が表示された場合は、[このプログラムを上記の場所から実行する] を選択し、[OK] ボタンをクリックしてください。

■ 起動方法

1 [スタート] ① → [オンラインマニュアル] ②をクリックする

-  ● デスクトップ上にある [オンラインマニュアル] アイコンをダブルクリックしても起動できます。

「Adobe Acrobat Reader」と「オンラインマニュアル」が起動します。



* 画面は Windows 98 の表示例です。

初めて「Adobe Acrobat Reader」を起動したときは、[ソフトウェア使用許諾契約書] 画面が表示されます。契約内容をお読みのうえ、[同意する] ボタンをクリックしてください。[同意する] ボタンをクリックしないと、「Adobe Acrobat Reader」をご使用になれません。また、「オンラインマニュアル」を見ることはできません。

2

日常の取り扱いとお手入れ

⚠ 注意

- ・お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、電源コードを AC 電源から抜いてください。電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。
- ・機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。

パソコン本体

- 機器の汚れは、柔らかい乾いた布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってから拭きます。
ベンジン、シンナーなどは使用しないでください。
- 薬品や殺虫剤などをかけないでください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。
- 使用できる環境は次のとおりです。
温度 5 ～ 35℃、湿度 20 ～ 80%
- 次のような場所で使用や保管をしないでください。
直射日光の当たる場所
非常に高温または低温になる場所
急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）
強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）
ホコリの多い場所
振動の激しい場所
薬品の充満している場所
薬品に触れる場所
- 使用中に本体の底面や AC アダプタが熱くなることがあります。本体の動作状況により発熱しているだけで、故障ではありません。

電源コード

電源コードのプラグを長期間にわたって AC コンセントに接続したままにしていると、プラグにほこりがたまることがあります。定期的にほこりを拭き取ってください。

キーボード

乾いた柔らかい素材のきれいな布で拭いてください。

汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼって拭きます。

キーのすきまにゴミが入ったときは、掃除機などで吸い出します。ゴミが取れないときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。

飲み物など液体をこぼしたときは電源を切り、AC アダプタとバッテリーパックを取りはずして、ただちにお買い求めの販売店、または保守サービスに点検を依頼してください。

液晶ディスプレイ

■ 画面のお手入れ

- 画面の表面には偏向フィルムが貼られています。このフィルムは傷つきやすいので、むやみに触れないでください。
表面が汚れた場合は、柔らかい素材のきれいな布で拭き取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。
- 無理な力の加わる扱いかた、使いかたをしないでください。
液晶表示素子は、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。そのため、圧力がかかると配向が乱れ、元に戻らなくなる場合があります。

■ サイドライト用 FL 管について

液晶ディスプレイに表示されている内容を見るためにサイドライト用 FL 管（冷陰極管）が内蔵されています。サイドライト用 FL 管（冷陰極管）は、ご使用になるにつれて発光量が徐々に減少し、表示画面が暗くなります。表示画面が見づらくなったときは、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご相談ください。有償にて交換いたします。

タッチパッド

乾いた柔らかい素材のきれいな布で拭いてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯に浸した布を固くしぼってから拭きます。

データのバックアップについて

重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。
本製品は次のような場合、スタンバイ機能または休止状態が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- 誤った使いかたをしたとき
- 静電気や電氣的ノイズの影響を受けたとき
- 長期間使っていなかったために、バッテリー（バッテリーパック、時計用バッテリー）の充電量がなくなったとき
- 故障、修理、バッテリー交換のとき
- バッテリー駆動で使用しているときにバッテリーパックを取りはずしたとき
- 増設メモリの取り付け／取りはずしをしたとき

記憶内容の変化／消失、ハードディスクやフロッピーディスクなどに保存した内容の損害については当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

持ち運ぶとき

持ち運ぶときは、誤動作や故障を起こさないために、次のことを守ってください。

- 電源は必ず切ってください。電源を入れた状態、またはスタンバイ状態で持ち運ばないでください。
電源を切った後も、Disk  LED、Slim Select Bay  LEDが点灯中は動かさないでください。
- 急激な温度変化（寒い屋外から暖かい屋内への持ち込みなど）を与えないでください。
やむなく急な温度変化を与えてしまった場合は、数時間たってから電源を入れるようにしてください。
- 外付けの装置やケーブルは取りはずしてください。また、CDなどがセットされている場合は、取り出してください。
- 落としたり、強いショックを与えないでください。また、日の当たる自動車内に置かないでください。
故障の原因になります。
- 持ち運ぶときはディスプレイを閉じてください。

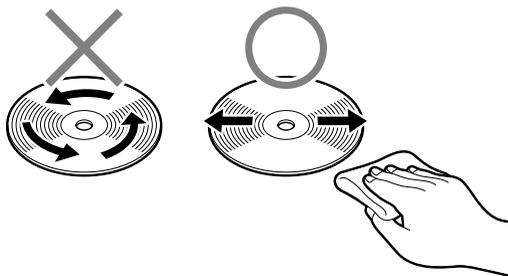
CD / DVD

* DVDは、スリムセレクトベイにマルチドライブ（別売り）を取り付けた場合のみ

CD / DVDの内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってお取り扱いください。

- CD / DVDを折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CD / DVDを読み込むことができなくなります。
- CD / DVDを直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CD / DVDの上に重いものを置かないでください。
- CD / DVDは専用のケースに入れ、清潔に保護してください。
- CD / DVDを持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。データ記憶面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。
- CD / DVDのデータ記憶面に文字などを書かないでください。
- CD / DVDが汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布で拭き取ってください。

円盤に沿って環状に拭くのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状に拭くようにしてください。乾燥した布では拭き取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。



SDメモ리카ード

SDメモ리카ードを取り扱うときには、次のことを守ってください。

- SDメモ리카ードの保存しているデータは、万一故障が起こったり、消失した場合に備えて、定期的に複製を作って保管するようにしてください。
SDメモ리카ードに保存した内容の障害については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
- SDメモ리카ードの接触面（コンタクトエリア）を触らないでください。
ごみや異物が付着したり、汚れると使用できなくなります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境での使用、保管をしないでください。
記録した内容が消えるおそれがあります。
- 高温多湿の場所、また腐食性のある場所での使用、保管をしないでください。
- 持ち運びや保管の際は、SDメモ리카ードに付属のケースに入れてください。
- SDメモ리카ードが汚れたときは、乾いた柔らかい素材の布で拭いてください。
- 新たにラベルやシールを貼らないでください。

3

アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスへのご相談は、『東芝 PC サポートのご案内』をご覧ください。

消耗品について

次の部品は消耗品です。

- バッテリーパック（充電式リチウムイオン電池）
長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。
充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリーパック（PABAS012）と交換してください。
- 時計用バッテリー（交換は有償です）
消耗した場合は、お使いの機種をご確認後、お買い求めの販売店、または保守サービスにご連絡ください。

補修用性能部品について

本製品の補修用性能部品（本製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後 6 年間です。

4

廃棄について

バッテリーパックについて

不要になったバッテリーパックは、貴重な資源を守るために廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。その場合、ショート防止のため電極にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってください。



Li-ion

■ バッテリーパック（充電式電池）の回収、リサイクルおよびリサイクル協力店に関するお問い合わせ先

社団法人 電池工業会
TEL / 03-3434-0261
ホームページ / <http://www.baj.or.jp>

パソコン本体について

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例または規則に従って処理してください。詳しくは、各地方自治体にお問い合わせください。（本製品は、プリント基板の製造に使用するのはんだには鉛が、LCD表示部に使用している蛍光灯には水銀が含まれています。）

■ 企業でパソコンをご使用のお客様へ

本製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱われます。東芝は、廃棄品の回収と適切な再使用・再利用処理を有償で実施しています。使用済みになった東芝製品については、東芝の回収・処理システムをご利用いただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ先】

東芝パソコンリサイクルセンター
〒230-0034 神奈川県横浜市鶴見区寛政町 20-1
株式会社テルム内
TEL : 045-510-0255
受付時間 : 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝日・当社指定の休日を除く)
FAX : 045-506-7983 (受付時間 : 24 時間)

■ パソコン内のデータの消去について

パソコン内のデータは、「削除」や「フォーマット」を行なっただけでは、特殊なソフトウェアなどの使用により、消したはずのデータが再生されることがあります。

パソコンの廃棄の際に、ハードディスクに保存されたデータの完全消去を行う場合には専門業者に依頼もしくは市販のソフトウェアなどをお使いになることをおすすめいたします（有償）。

本件に関するお問い合わせは、東芝PCダイヤル（巻末参照）にご連絡ください。

■ お客様登録の削除について

お客様登録されている製品を廃棄される場合は、「パソコンお客様ご登録係」までご連絡のうえ、登録の削除の手続きをお願いいたします。

パソコンお客様ご登録係

TEL / 043-278-5997

受付時間 / 9:00 ~ 17:00（土・日、祝日、特別休日を除く）

5

アプリケーションの お問い合わせ先

* 2001年10月現在の内容です。

本製品に用意されているアプリケーションのお問い合わせ先は、次のとおりです。各アプリケーションのユーザ登録については、それぞれのお問い合わせ先までお問い合わせください。

アプリケーション名：

Acrobat Reader/Fn-esse/Internet Explorer/Outlook Express/
PC診断ツール/東芝省電力ユーティリティ/東芝HWセットアップ/
内蔵モデム用地域選択ユーティリティ

お問い合わせ先：

東芝（東芝PCダイヤル）

ナビダイヤル（全国共通電話番号）

TEL : 0570-00-3100

受付時間 : 9:00~19:00（祝日、12/31~1/3を除く）

電話番号はおまちがえのないよう、お確かめの上、おかけいただきますようお願いいたします。

お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。海外からの電話、携帯電話等で上記電話番号に接続できないお客様、NTT以外とマイラインプラスなどの回線契約をご利用のお客様は、043-298-8780で受け付けております。

ナビダイヤルでは、ダイヤル後に通話区間料金のアナウンスが流れます。これはお客様から全国6箇所の最寄りの拠点までの通常電話料金で、サポート料金ではありません（サポート料金は無料です）。

ナビダイヤルでは、NTT以外とマイラインプラスをご契約の場合でも、自動的にNTT回線を使用することになりますので、あらかじめご了承ください。

アプリケーション名：

駅すばあと

お問い合わせ先：

株式会社ヴァル研究所 ユーザーサポートセンター

TEL : 03-5373-3522

受付時間 : 10:00~12:00、13:00~18:00（土・日・祝日を除く）

FAX : 03-5373-3523

E-mail : support@val.co.jp

* ユーザー登録されたお客様が対象となります。

ホームページ : <http://www.ekiworld.net/>

アプリケーション名：

いきなりインターネット

お問い合わせ先：

東芝情報システム株式会社 infoPepperインターネットサービスサポート窓口

TEL : 044-201-0450

受付時間 : 10:00～12:00、13:00～17:00
(土・日・祝祭日、当社休業日を除く)

FAX : 044-246-1131

FAX・音声

情報サービス : 044-201-0449 (24時間受付)

E-mail : support@staff.pep.ne.jp

ホームページ : <http://www.pep.ne.jp/>

付録

1	製品仕様	238
2	各インターフェースの仕様	245
3	技術基準適合について	248

1

製品仕様

基本仕様

機 種		DynaBook SS 4000シリーズ
プロセッサ	CPU	「PC診断ツール」を参照
メモリ	ROM	512KB（フラッシュROM）、 ACPI 1.0b、APM 1.2、Plug and Play 1.0a
	RAM	「PC診断ツール」を参照
	ビデオRAM	16MB（システムメモリと共用）
表示機能	表示装置	12.1型低温ポリシリコンTFTカラー液晶ディスプレイ
	グラフィック表示	横1024×縦768ドット 1画面
入力装置	キーボード	OADG109Aキータイプ準拠 85キー（文字キー、制御キーの合計）
	ポインティングデバイス	タッチパッド内蔵
補助記憶装置	標準ハードディスクドライブ*1	2.5型 1台装備
	セカンドハードディスクドライブ（別売り）*1、*2	スリムセレクトベイに取り付けて使用
	CD-ROMドライブ（標準装備）*2	スリムセレクトベイに取り付けて使用 最大24倍速 8cm、12cmのCD対応、マルチセッション
	CD-R/RWドライブ（別売り）*2	スリムセレクトベイに取り付けて使用 CD : 最大24倍速 CD-R : 最大8倍速 CD-RW（マルチスピード） : 最大4倍速 High-Speed対応CD-RW : 最大8倍速 8cm、12cmのCD対応、マルチセッション
	マルチドライブ（別売り）*2	スリムセレクトベイに取り付けて使用 CD : 最大24倍速 CD-R : 最大8倍速 CD-RW（マルチスピード） : 最大4倍速 High-Speed対応CD-RW : 最大8倍速 DVD-ROM : 最大8倍速 8cm、12cmのCD対応、マルチセッション

機 種		DynaBook SS 4000シリーズ
インタ フェース	RGB	1個装備
	USB	2個装備
	PCカード	2個装備 PC Card Standard準拠 (TYPE II ×2、またはTYPE III ×1) CardBus対応
	SDメモ리카ード	1個装備
	LAN	1個装備 100Base-TX/10Base-T
	モデム	1個装備 (ITU-T V.90準拠)
	サウンド	マイク入力 1個装備 (φ3.5mmモノラルミニジャック) ヘッドホン出力 1個装備 (φ3.5mmステレオミニジャック) 内蔵スピーカ (ステレオ) 装備 内蔵マイク 装備
	赤外線通信	1ポート装備 IrDA 1.1準拠
カレンダー機能		日付、時計機能を標準装備 充電型電池によるバックアップ
電源	ACアダプタ	国内：AC100V (50Hz、または60Hz) (国外：AC100V～240V)
	バッテリーパック (標準装備)	Li-ion 10.8V 3600mAh
	セカンドバッテリー パック(別売り)*2	スリムセレクトベイに取り付けて使用 Li-ion 10.8V 3000mAh
最大消費電力		約45W
使用環境条件		温度：5℃～35℃ 湿度：20%～80%Rh
外形寸法 (突起部除く)		270(幅) x 248(奥行) x 31.7～37.4(高さ)mm
質量		約1.75kg (ウェイトセーバ内蔵時) 約1.94kg (CD-ROMドライブ内蔵時)

*1：ハードディスク容量は、ハードディスクドライブのプロパティで確認できます。
プロパティを表示するには、デスクトップ上の [マイコンピュータ] からハード
ディスクドライブのアイコンを右クリックし、表示されるメニューから [プロパ
ティ] をクリックします。

*2：スリムセレクトベイ機器は、いずれかひとつを取り付けて使用できます。

■ 仕様について

本製品の仕様は国内向けです。国外で本製品を使用する場合は、電源に合った電源コードをお買い求めください。
ACアダプタの仕様は次のとおりです。

入力*	AC100V、95VA、50/60Hz
出力	DC15V 3A

* 国外でご使用の場合は、次のとおりです。

入力：AC100V～240V、0.95A～0.55A 50/60Hz

消費電力の仕様は次のとおりです。

最大消費電力	45W（電源スイッチオン時）
最小消費電力	約10W（電源スイッチオン時）
	約2W（電源スイッチオフ時）

パソコンの電源を切った後に、電源コードを抜くと消費電力はゼロになります。

本機器は、「機器のリサイクルに適した設計」となっています。

PC 診断ツール

「PC 診断ツール」で本製品のCPU、OS、ディスプレイなどに関する情報を確認できます。

■ 起動方法

- ① [スタート] → [プログラム] → [東芝ユーティリティ] → [PC 診断ツール] をクリックする
- ② [基本情報の表示] ボタンをクリックする

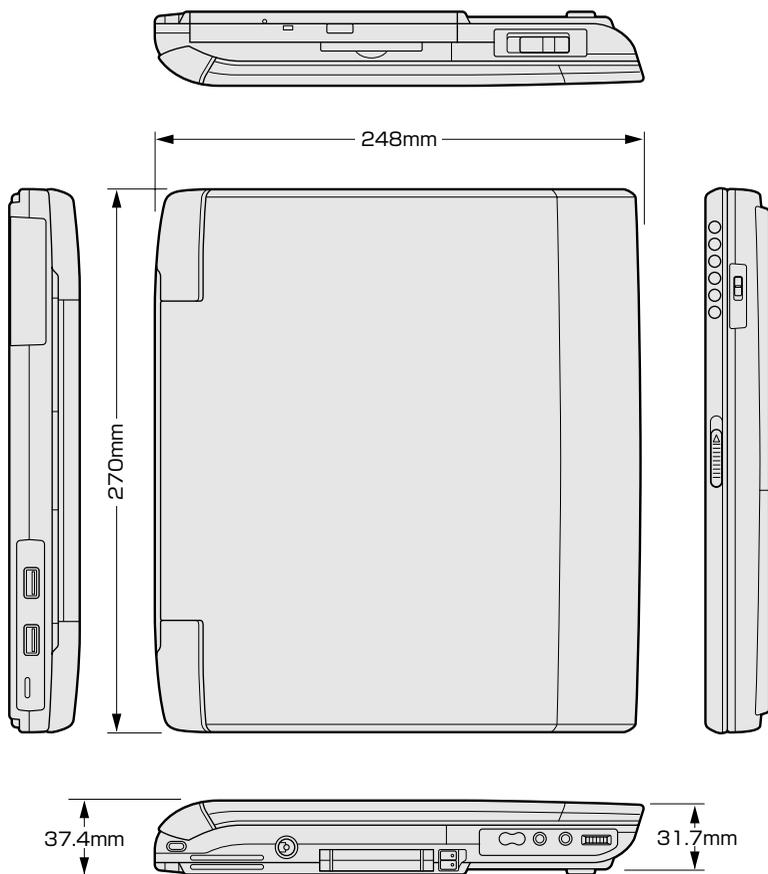
PC 診断ツールについて、詳しくは PC 診断ツールのヘルプをご覧ください。

■ ヘルプの起動方法

- ① PC 診断ツールを起動する
- ② [ヘルプ] ボタンをクリックする

外形寸法図

* 数値は突起部を含みません。



付録

サポートしているビデオモード

ディスプレイコントローラによって制御される画面の解像度と表示可能な最大色数を定めた規格をビデオモードと呼びます。

本製品でサポートしている英語モード時のすべてのビデオモードを次に示します。

モードナンバは一般に、プログラマがそれぞれのモードを識別するのに用いられます。アプリケーションソフトがモードナンバによってモードを指定してくる場合、そのナンバが図のナンバと一致していないことがあります。この場合は解像度とフォントサイズと色の数をもとに選択し直してください。

ビデオモード	形式	解像度	フォントサイズ	色数	CRTリフレッシュレート(Hz)
0.1	VGA テキスト	40×25字	8×8	16/256K	70
2,3		80×25字	8×8	16/256K	
0*,1*		40×25字	8×14	16/256K	
2*,3*		80×25字	8×14	16/256K	
0+,1+		40×25字	8(9)×16	16/256K	
2+,3+		80×25字	8(9)×16	16/256K	
4,5	VGA グラフィックス	320×200ドット	8×8	4/256K	
6	640×200ドット	8×8	2/256K		
7	VGA テキスト	80×25字	8(9)×14	モノクロ	
7+		80×25字	8(9)×16	モノクロ	
D	VGA グラフィックス	320×200ドット	8×8	16/256K	
E		640×200ドット	8×8	16/256K	
F		640×350ドット	8×14	モノクロ	
10		640×350ドット	8×14	16/256K	
11		640×480ドット	8×16	2/256K	
12		640×480ドット	8×16	16/256K	
13		320×200ドット	8×8	256/256K	70

ビデオモード	形式	解像度	フォントサイズ	色数	CRTリフレッシュレート(Hz)
—	SVGA グラフィックス	640×480ドット	—	256/256K	60/75 /85
—		800×600ドット	—	256/256K	
—		1024×768ドット	—	256/256K	
—		1280×1024ドット*1	—	256/256K	
—		1600×1200ドット*1	—	256/256K	60
—		640×480ドット	—	64K/64K	60/75 /85
—		800×600ドット	—	64K/64K	
—		1024×768ドット	—	64K/64K	
—		1280×1024ドット*1	—	64K/64K	
—		1600×1200ドット*1	—	64K/64K	60
—		640×480ドット	—	16M/16M	60/75 /85
—		800×600ドット	—	16M/16M	
—		1024×768ドット	—	16M/16M	60/75

*1： LCDで表示する場合、実際の画面（1024×768）内に、仮想スクリーン表示します。

ハードウェアリソースについて

メモリマップ、I/Oポートマップ、IRQ使用リソース、DMA使用リソースは次の方法で確認できます。

ご使用の環境（ハードウェア/ソフトウェア）によって変更される場合があります。

■ Windows 2000 の場合

- 1 [マイコンピュータ] を右クリックして [管理] をクリックする
- 2 画面左側のツリーから [システム情報] → [ハードウェアリソース] をダブルクリックする
- 3 調べたい項目をクリックする
メモリマップ : [メモリ]
I/Oポートマップ : [I/O]
IRQ使用リソース : [IRQ]
DMA使用リソース : [DMA]

■ Windows 98 の場合

- 1 [スタート] → [プログラム] → [アクセサリ] → [システムツール] → [システム情報] をクリックする
- 2 画面左側のツリーから [ハードウェアリソース] をダブルクリックする
- 3 調べたい項目をクリックする
メモリマップ : [メモリ]
I/Oポートマップ : [I/O]
IRQ使用リソース : [IRQ]
DMA使用リソース : [DMA]

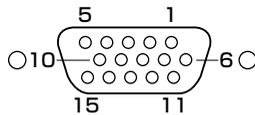
2

各インタフェースの仕様

RGB インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	CRV	赤色ビデオ信号	○
2	CGV	緑色ビデオ信号	○
3	CBV	青色ビデオ信号	○
4	Reserved	予約	
5	GND	信号グランド	
6	GND	信号グランド	
7	GND	信号グランド	
8	GND	信号グランド	
9	Reserved	予約	
10	GND	信号グランド	
11	Reserved	予約	
12	SDA	SDA通信信号	I/O
13	-CHSYNC	水平同期信号	○
14	-CVSYNC	垂直同期信号	○
15	SCL	SCLデータクロック信号	I/O

コネクタ図



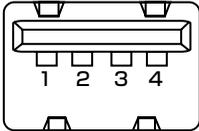
高密度D-SUB 3列15ピンメス

信号名：-がついているのは、負論理値の信号です
 信号方向 (I)：パソコン本体への入力
 信号方向 (O)：パソコン本体からの出力

USB インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	VCC	+5V	
2	-Data	マイナスデータ	I/O
3	+Data	プラスデータ	I/O
4	GND	信号グラウンド	

コネクタ図

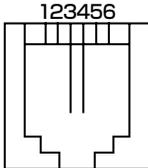


信号名：-がついているのは、負論理値の信号です
信号方向 (I)：パソコン本体への入力
信号方向 (O)：パソコン本体からの出力

モデムインタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	-	ノーコンタクト	
2	-	ノーコンタクト	
3	TIP	電話回線	I/O
4	RING	電話回線	I/O
5	-	ノーコンタクト	
6	-	ノーコンタクト	

コネクタ図

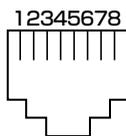


信号方向 (I)：パソコン本体への入力
信号方向 (O)：パソコン本体からの出力

LAN インタフェース

ピン番号	信号名	意味	信号方向
1	TX	送信データ (+)	O
2	-TX	送信データ (-)	O
3	RX	受信データ (+)	I
4	Unused	未使用	
5	Unused	未使用	
6	-RX	受信データ (-)	I
7	Unused	未使用	
8	Unused	未使用	

コネクタ図



信号名：-がついているのは、負論理値の信号です
信号方向 (I)：パソコン本体への入力
信号方向 (O)：パソコン本体からの出力

3

技術基準適合について

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータ業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

高調波対策について

本装置は、「高調波ガイドライン適合品」です。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。



 参照 省電力設定について ⇨ 「4章 2 省電力の設定をする」

FCC information

Product name : PORTÉGÉ 4000

Model number : PP400N

FCC notice "Declaration of Conformity Information"

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, it may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

WARNING: *Only peripherals complying with the FCC rules class B limits may be attached to this equipment. Operation with non-compliant peripherals or peripherals not recommended by TOSHIBA is likely to result in interference to radio and TV reception. Shielded cables must be used between the external devices and the computer's or external monitor port, USB port, and microphone jack. Changes or modifications made to this equipment, not expressly approved by TOSHIBA or parties authorized by TOSHIBA could void the user's authority to operate the equipment. The modular cable that comes with the computer must be used to connect a modem.*

FCC conditions

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

1. This device may not cause harmful interference.
2. This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Contact

Address : TOSHIBA America Information Systems, Inc.
9740 Irvine Boulevard
Irvine, California 92618-1697

Telephone : (949) 583-3000

TOSHIBA

EU Declaration of Conformity



TOSHIBA declares, that the product: PP400* conforms to the following Standards:

Supplementary Information: “The product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC and the EMC Directive 89/336/EEC and the R&TTE Directive 1999/05/EEC.”

This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives. Responsible for CE-Marking is TOSHIBA Europe, Hammfelddamm 8, 41460 Neuss, Germany.

モデム使用時の注意事項

本製品の内蔵モデムをご使用になる場合は、次の注意事項をお守りください。

内蔵モデムは、財団法人 電気通信端末機器審査協会により電気通信事業法第50条1項に基づき、技術基準適合認定を受けたものです。



●使用地域

内蔵モデムは、次の地域で使用できます。

アイスランド、アイルランド、アメリカ合衆国、アラブ首長国連邦、イギリス、イスラエル、イタリア、インド、インドネシア、エジプト、エストニア、オーストラリア、オーストリア、オマーン、オランダ、カナダ、韓国、ギリシャ、クウェート、サウジアラビア、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、スロベニア、タイ、台湾、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、ハンガリー、バングラデシュ、フィリピン、フィンランド、フランス、ブルガリア、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マルタ、マレーシア、南アフリカ、モロッコ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ルクセンブルグ、レバノン、ロシア

(2001年10月現在)

なお、その他の地域での許認可は受けていないため、その他の地域ではご使用になれません。ご注意ください。

内蔵モデムが使用できない地域では、その地域で許認可を受けているモデムをご購入ください。

内蔵モデムに接続する回線がPBX等を経由する場合は使用できない場合があります。

上記の注意事項を超えてのご使用における危害や損害などについては、当社では責任を負えませんのであらかじめご了承ください。

●自動再発信の制限

内蔵モデムは2回を超える再発信（リダイヤル）は、発信を行わず『BLACK LISTED』を返します（『BLACK LISTED』の応答コードが問題になる場合は、再発信を2回以下または再発信間隔を1分以上にしてください）。

* 内蔵モデムの自動再発信機能は、電気通信事業法の技術基準（アナログ電話端末）「自動再発信機能は2回以内（但し、最初の発信から3分以内）」に従っています。



- 雷雲が近づいてきたときは、モジュラープラグを電話回線用モジュラージャックから抜いてください。電話回線に落雷した場合、内蔵モデムやパソコン本体が破壊されるおそれがあります。
- 内蔵モデムを使用する場合は、ご使用になる地域にあわせて設定が必要です。

Conformity Statement

The equipment has been approved to [Commission Decision "CTR21"] for pan-European single terminal connection to the Public Switched Telephone Network (PSTN).

However, due to differences between the individual PSTNs provided in different countries/regions the approval does not, of itself, give an unconditional assurance of successful operation on every PSTN network termination point.

In the event of problems, you should contact your equipment supplier in the first instance.

Network Compatibility Statement

This product is designed to work with, and is compatible with the following networks. It has been tested to and found to confirm with the additional requirements conditional in EG 201 121.

Germany	- ATAAB AN005,AN006,AN007,AN009,AN010 and DE03,04,05,08,09,12,14,17
Greece	- ATAAB AN005,AN006 and GR01,02,03,04
Portugal	- ATAAB AN001,005,006,007,011 and P03,04,08,10
Spain	- ATAAB AN005,007,012, and ES01
Switzerland	- ATAAB AN002
All other countries/regions	- ATAAB AN003,004

Specific switch settings or software setup are required for each network, please refer to the relevant sections of the user guide for more details.

The hookflash (timed break register recall) function is subject to separate national type approvals. If has not been tested for conformity to national type regulations, and no guarantee of successful operation of that specific function on specific national networks can be given.

Pursuant to FCC CFR 47, Part 68:

When you are ready to install or use the modem, call your local telephone company and give them the following information:

- The telephone number of the line to which you will connect the modem
- The registration number that is located on the device

The FCC registration number of the modem will be found on either the device which is to be installed, or, if already installed, on the bottom of the computer outside of the main system label.

- The Ringer Equivalence Number (REN) of the modem, which can vary.
For the REN of your modem, refer to your modem's label.

The modem connects to the telephone line by means of a standard jack called the USOC RJ11C.

Type of service

Your modem is designed to be used on standard-device telephone lines.

Connection to telephone company-provided coin service (central office implemented systems) is prohibited. Connection to party lines service is subject to state tariffs. If you have any questions about your telephone line, such as how many pieces of equipment you can connect to it, the telephone company will provide this information upon request.

Telephone company procedures

The goal of the telephone company is to provide you with the best service it can. In order to do this, it may occasionally be necessary for them to make changes in their equipment, operations, or procedures. If these changes might affect your service or the operation of your equipment, the telephone company will give you notice in writing to allow you to make any changes necessary to maintain uninterrupted service.

If problems arise

If any of your telephone equipment is not operating properly, you should immediately remove it from your telephone line, as it may cause harm to the telephone network. If the telephone company notes a problem, they may temporarily discontinue service. When practical, they will notify you in advance of this disconnection. If advance notice is not feasible, you will be notified as soon as possible. When you are notified, you will be given the opportunity to correct the problem and informed of your right to file a complaint with the FCC.

In the event repairs are ever needed on your modem, they should be performed by TOSHIBA Corporation or an authorized representative of TOSHIBA Corporation.

Disconnection

If you should ever decide to permanently disconnect your modem from its present line, please call the telephone company and let them know of this change.

Fax branding

The Telephone Consumer Protection Act of 1991 makes it unlawful for any person to use a computer or other electronic device to send any message via a telephone fax machine unless such message clearly contains in a margin at the top or bottom of each transmitted page or on the first page of the transmission, the date and time it is sent and an identification of the business, other entity or individual sending the message and the telephone number of the sending machine or such business, other entity or individual.

In order to program this information into your fax modem, you should complete the setup of your fax software before sending messages.

Instructions for IC CS-03 certified equipment

- 1** NOTICE: The Industry Canada label identifies certified equipment. This certification means that the equipment meets certain telecommunications network protective, operational and safety requirements as prescribed in the appropriate Terminal Equipment Technical Requirements document(s). The Department does not guarantee the equipment will operate to the user's satisfaction.
Before installing this equipment, users should ensure that it is permissible to be connected to the facilities of the local telecommunications company. The equipment must also be installed using an acceptable method of connection.

The customer should be aware that compliance with the above conditions may not prevent degradation of service in some situations.

Repairs to certified equipment should be coordinated by a representative designated by the supplier. Any repairs or alterations made by the user to this equipment, or equipment malfunctions, may give the telecommunications company cause to request the user to disconnect the equipment.

Users should ensure for their own protection that the electrical ground connections of the power utility, telephone lines and internal metallic water pipe system, if present, are connected together. This precaution may be particularly important in rural areas.

Caution: Users should not attempt to make such connections themselves, but should contact the appropriate electric inspection authority, or electrician, as appropriate.

- 2** The user manual of analog equipment must contain the equipment's Ringer Equivalence Number (REN) and an explanation notice similar to the following:

The Ringer Equivalence Number (REN) of the modem, which can vary.
For the REN of your modem, refer to your modem's label.

NOTICE: The Ringer Equivalence Number (REN) assigned to each terminal device provides an indication of the maximum number of terminals allowed to be connected to a telephone interface. The termination on an interface may consist of any combination of devices subject only to the requirement that the sum of the Ringer Equivalence Numbers of all the devices does not exceed 5.

- 3** The standard connecting arrangement (telephone jack type) for this equipment is jack type(s): USOC RJ11C.

The IC registration number of the modem is shown below.

CANADA: 1353 11026A

Notes for Users in Australia and New Zealand

Modem warning notice for Australia

Modems connected to the Australian telecoms network must have a valid Austel permit. This modem has been designed to specifically configure to ensure compliance with Austel standards when the country/region selection is set to Australia.

The use of other country/region setting while the modem is attached to the Australian PSTN would result in your modem being operated in a non-compliant manner.

To verify that the country/region is correctly set, enter the command AT+I which displays the currently active setting.

To set the country/region permanently to Australia, enter the following command sequence:

```
AT%TE=1
ATS133=1
AT&F
AT&W
AT%TE=0
ATZ
```

Failure to set the modem to the Australia region setting as shown above will result in the modem being operated in a non-compliant manner. Consequently, there would be no permit in force for this equipment and the Telecoms Act 1991 prescribes a penalty of \$12,000 for the connection of non-permitted equipment.

Notes for use of this device in New Zealand

- The grant of a Telepermit for a device in no way indicates Telecom acceptance of responsibility for the correct operation of that device under all operating conditions. In particular the higher speeds at which this modem is capable of operating depend on a specific network implementation which is only one of many ways of delivering high quality voice telephony to customers. Failure to operate should not be reported as a fault to Telecom.
- In addition to satisfactory line conditions a modem can only work properly if:
 - a/ it is compatible with the modem at the other end of the call and
 - b/ the application using the modem is compatible with the application at the other end of the call - e.g., accessing the Internet requires suitable software in addition to a modem.

- This equipment shall not be used in any manner which could constitute a nuisance to other Telecom customers.
- Some parameters required for compliance with Telecom's PTC Specifications are dependent on the equipment (PC) associated with this modem. The associated equipment shall be set to operate within the following limits for compliance with Telecom Specifications:
 - a/ There shall be no more than 10 call attempts to the same number within any 30 minute period for any single manual call initiation, and
 - b/ The equipment shall go on-hook for a period of not less than 30 seconds between the end of one attempt and the beginning of the next.
 - c/ Automatic calls to different numbers shall be not less than 5 seconds apart.
- Immediately disconnect this equipment should it become physically damaged, and arrange for its disposal or repair.
- The correct settings for use with this modem in New Zealand are as follows:
 - ATB0 (CCITT operation)
 - AT&G2 (1800 Hz guard tone)
 - AT&P1 (Decadic dialing make-break ratio =33%/67%)
 - ATS0=0 (not auto answer)
 - ATS6=4 (Blind dial delay)
 - ATS7=less than 90 (Time to wait to carrier after dialing)
 - ATS10=less than 150 (loss of carrier to hangup delay, factory default of 15 recommended)
 - ATS11=90 (DTMF dialing on/off duration=90 ms)
 - ATX2 (Dial tone detect, but not (U.S.A.) call progress detect)
- When used in the Auto Answer mode, the S0 register must be set with a value 3 or 4. This ensures:
 - (a) a person calling your modem will hear a short burst of ringing before the modem answers. This confirms that the call has been successfully switched through the network.
 - (b) caller identification information (which occurs between the first and second ring cadences) is not destroyed.

- The preferred method of dialing is to use DTMF tones (ATDT...) as this is faster and more reliable than pulse (decadic) dialing. If for some reason you must use decadic dialing, your communications program must be set up to record numbers using the following translation table as this modem does not implement the New Zealand "Reverse Dialing" standard.

Number to be dialed: 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

Number to program into computer: 0 9 8 7 6 5 4 3 2 1

Note that where DTMF dialing is used, the numbers should be entered normally.

- The transmit level from this device is set at a fixed level and because of this there may be circumstances where the performance is less than optimal. Before reporting such occurrences as faults, please check the line with a standard Telepermitted telephone, and only report a fault if the phone performance is impaired.
- It is recommended that this equipment be disconnected from the Telecom line during electrical storms.
- When relocating the equipment, always disconnect the Telecom line connection before the power connection, and reconnect the power first.
- This equipment may not be compatible with Telecom Distinctive Alert cadences and services such as FaxAbility.

NOTE THAT FAULT CALLOUTS CAUSED BY ANY OF THE ABOVE CAUSES MAY INCUR A CHARGE FROM TELECOM

General conditions

As required by PTC 100, please ensure that this office is advised of any changes to the specifications of these products which might affect compliance with the relevant PTC Specifications.

The grant of this Telepermit is specific to the above products with the marketing description as stated on the Telepermit label artwork. The Telepermit may not be assigned to other parties or other products without Telecom approval.

A Telepermit artwork for each device is included from which you may prepare any number of Telepermit labels subject to the general instructions on format, size and colour on the attached sheet.

The Telepermit label must be displayed on the product at all times as proof to purchasers and service personnel that the product is able to be legitimately connected to the Telecom network.

The Telepermit label may also be shown on the packaging of the product and in the sales literature, as required in PTC 100.

The charge for a Telepermit assessment is \$337.50. An additional charge of \$337.50 is payable where an assessment is based on reports against non-Telecom New Zealand Specifications. \$112.50 is charged for each variation when submitted at the same time as the original.

An invoice for \$NZ1237.50 will be sent under separate cover.

TEAC CD-ROM ドライブ CD-224E

安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠ 注意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。

本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。

本装置はヨーロッパ共通のレーザー規格 EN60825 で“クラス1レーザー機器”に分類されています。

レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。

2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

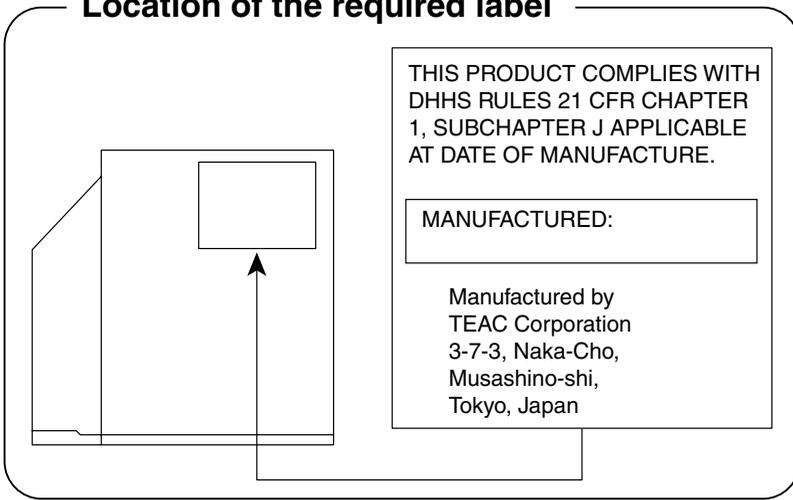
CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION - INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN DO NOT STARE INTO BEAM OR VIEW DIRECTLY WITH OPTICAL INSTRUMENTS

VORSICHT - UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET NICHT IN DEN STRAHL BLICKEN AUCH NICHT MIT OPTISCHEN INSTRUMENTEN

WARNING - OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD STIRRA EJ IN I STRÅLEN OCH BETRAKTA EJ STRÅLEN MED OPTISKA INSTRUMENT

Location of the required label



松下 CD-R/RW ドライブ UJDA340

安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠ 注意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。

本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。

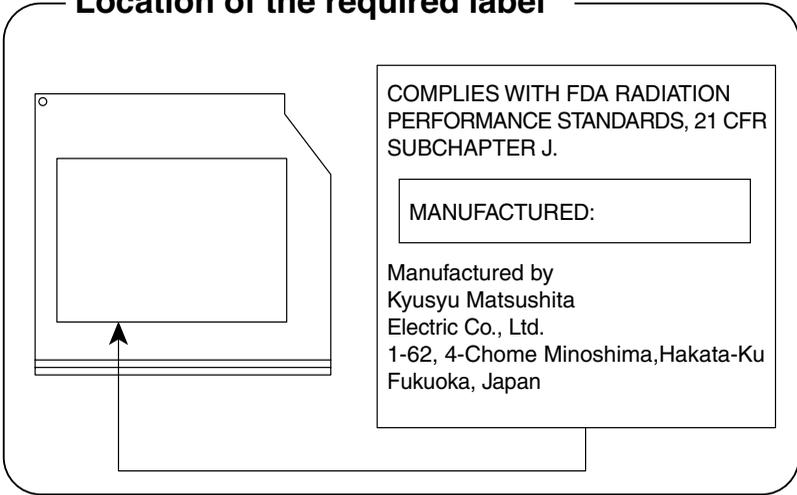
本装置はヨーロッパ共通のレーザー規格 EN60825 で“クラス1レーザー機器”に分類されています。レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION	INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM. JDGS0150ZA
ATTENTION	RAYONNEMENT LASER INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE.
VORSICHT	EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU. UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ADVARSEL	USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDS/ETTELSE FOR STRÅLEN.
ADVARSEL	USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNDGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
WARNING	OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÅR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLEN ÄR FARLIG.
VARO!	NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTINA LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.

2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

Location of the required label



TEAC CD-R/RW ドライブ CD-W28E

安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠ 注意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。

本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。

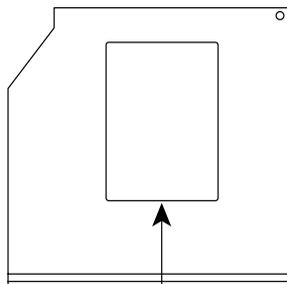
本装置はヨーロッパ共通のレーザー規格 EN60825 で“クラス1レーザー機器”に分類されています。レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION	INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION	RAYONNEMENT LASER INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE.
VORSICHT	EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU. UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET.
ADVARSEL	NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN. USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING.
ADVARSEL	UNDGÅ UDS/ETTELSE FOR STRÅLEN. USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNDGA EKSPONERING FOR STRÅLEN.
WARNING	OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÅR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLEN ÄR FARLIG.
VARO!	NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTINA LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.

2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

Location of the required label



THIS PRODUCT COMPLIES WITH
DHHS RULES 21 CFR CHAPTER
1, SUBCHAPTER J APPLICABLE
AT DATE OF MANUFACTURE.

MANUFACTURED:

Manufactured by
TEAC Corporation
3-7-3, Naka-Cho,
Musashino-shi,
Tokyo, Japan

松下 CD-RW / DVD-ROM ドライブ UJDA720 (マルチドライブ) 安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠ 注意

1. 本装置はレーザーシステムを使用
しています。

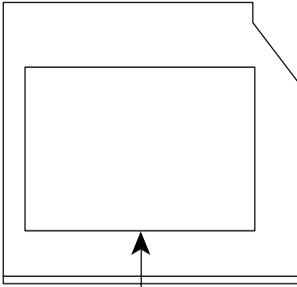
本装置の定格銘板に
は、右記の表示がされ
ています。
本装置はヨーロッパ共
通のレーザー規格
EN60825 で“クラ
ス1レーザー機器”に
分類されています。
レーザー光を直接被爆
することを防ぐため
に、この装置の筐体を
開けないでください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION	VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION	RAYONNEMENT LASER VISIBLE ET INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT	SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ADVARSEL	SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDS/ETTELSE FOR STRÅLING.
ADVARSEL	SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNNGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
WARNING	SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÅR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLE ÄR FARLIG.
VARO!	NÄKYVÄ JA NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTIINA LASERSÄTEILYLLE, ÄLÄ KATSO SÄTEESEN.

2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

Location of the required label



MANUFACTURED:
SERIAL NO.

COMPLIES WITH FDA RADIATION
PERFORMANCE STANDARDS,21
CFR SUBCHAPTER J.

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

Kyushu Matsushita Electric Co.,Ltd.
1-62,4-Chome Minoshima Hakata-Ku
Fukuoka,Japan

トラブルチェックシート

パソコンの操作についてのお問い合わせは、東芝 PC ダイアルにご連絡ください。

東芝PCダイアル

技術的なご質問、お問い合わせに電話でお答えします。

※受付時間／9：00～19：00

（祝日、12/31～1/3を除く）

ナビダイヤル

全国共通電話番号

0570-00-3100

【電話番号はおまちがえのないよう、お確かめのうえ、おかけいただきますようお願いいたします】

お客様からの電話は全国6箇所（千葉市、大阪市、名古屋市、福岡市、仙台市、札幌市）の最寄りの拠点に自動的に接続されます。

ナビダイヤルでは、ダイヤル後に通話区間料金のアナウンスが流れます。これはお客様から全国6箇所の最寄りの拠点までの通常電話料金で、サポート料金ではありません（サポート料金は無料です）。

ナビダイヤルでは、NTT以外とマイラインプラスをご契約の場合でも、自動的にNTT回線を使用することになりますので、あらかじめご了承ください。

次のようなお電話は、上記の電話ではお受けできません。

該当されるお客様は、043-298-8780（直通）をご利用ください。

- 海外からのお電話
- 携帯電話、PHS
- NTT以外の電話事業者を経由しての接続（0088、0077など）
- 企業で一部使用されている契約回線
- 企業のPBXで「0570」が使用できない設定になっているもの



- α -LCR / Super-LCR などの設定でご使用のお電話は、設定を解除することで「0570-00-3100」をご利用いただけます（解除方法はお手持ちの『電話機に付属の説明書』をご覧ください）。
- 「東芝 PC FAX 情報サービス」からも、商品情報、Q&A などの情報を FAX（G3 規格）で入手することができます。
- 「東芝 PC テクノセンタ」（東京 / 大阪）では対面相談を受け付けております（技術相談 / 作業は有償）



詳細について ⇨ 『東芝 PC サポートのご案内』

トラブルチェックシート

円滑に対応させていただくために、お問い合わせの前に下記の内容をご確認のうえ、お問い合わせください。

次の内容の他に、オペレーティングシステムのバージョンやCPUの種類について東芝PCダイヤルから聞かれた場合は、[PC診断ツール]の[基本情報の表示]ボタンをクリックしてご確認ください。

 PC診断ツール ⇨ [付録 1-PC診断ツール]

【ご使用の環境について（使用中のパソコン環境）】

Q.1 ご使用になっているパソコン名（型名）は？
（本体や取扱説明書をご覧ください）

機種名： _____

下記の情報をお尋ねすることがございます。

（製造番号： _____、購入店： _____、購入日： _____ など）

Q.2 ご使用になっているソフトウェア環境は？

Windows®2000 など、お使いのシステムとアプリケーションをお知らせください

OS（システム名）： _____

その他： _____

Q.3 どのような症状が起きましたか？

症状： _____

Q.4 その症状はどのような操作をした後、発生するようになりましたか？

操作内容： _____

Q.5 エラーメッセージなどは表示されましたか？

表示内容：

Q.6 その症状はどれくらいの頻度で発生しますか？

- 一度発生したが、その後発生しない
- 電源を切らないと発生するが、電源を切って再起動すれば発生しない
- 電源を切ってから再起動しても必ず発生する
- その他：

Q.7 その症状が発生するのは決まった操作の後ですか？

- ある一定の操作をすると発生する
- どんな操作をしても発生する
- その他：

Q.8 インターネットや通信に関するご相談の場合

プロバイダ名：

使用モデム名：

使用回線： 内線発信アリ 内線発信ナシ 携帯 PHS
 ダイヤル回線 プッシュホン回線 ISDN

Q.9 お問い合わせの内容が周辺機器の場合、ご使用になっている周辺機器名は何ですか？

機器名（製品名）：

メーカー名：

さくいん

(記号)

 キーを使ったショートカットキー 67

(A)

AC アダプタ 47
Alt キー 62
Arrow Mode LED 63
AT コマンド 54
Auto Power On 153

(B)

BackSpace キー 63
BATTERY 148
Battery LED 48
Battery Save Mode 148
Bluetooth 74
BOOT PRIORITY 154
Boot Priority 154
Break キー 63
Built-in HDD 158
Built-in LAN 158

(C)

Caps Lock LED 62
Caps Lock 英数キー 62
CD-ROM ドライブ 70
CD-R/RW ドライブ 106
CD のセット 72
CD の取り扱い 229
CD の取り出し 73
CONFIGURATION 156
Controller Mode 158

CPU Cache 152
CRT ディスプレイの接続 127
Ctrl キー 62

(D)

DC IN LED 36, 48
Del キー 63
Device Config. 156
Disk LED 48, 51
DISPLAY 151
DRIVES I/O 158
DVD 再生 87
DVD の取り扱い 229
Dynamic CPU Frequency Mode
..... 153

(E)

Enter キー 63
Esc キー 62
Ext Keyboard "Fn" 150

(F)

Fn キー 63
Fn キーを使った特殊機能キー 65

(H)

Hard Disk Mode 151
HDD Priority 155

(I)

I/O PORTS 157
Ins キー 63

(L)

LAN ケーブルの接続	131
LAN コネクタ	46, 130
LCD Display Stretch	151
LEGACY EMULATION	157
Level 2 Cache	152

(M)

MEMORY	148
MS-IME	69

(N)

Not Registered	148
Numeric Mode LED	63

(O)

OTHERS	152
--------------	-----

(P)

Panel Power On/Off	154
Parallel	157
Parallel Port Mode	151
PASSWORD	148
Pause キー	63
PC CARD	158
PCI BUS	157
PCI LAN	158
PC カードスロット	44, 118
PC カードの取り付け	118
PC カードの取りはずし	119
PERIPHERAL	150
Pointing Devices	150
Power LED	36, 48
Power On Boot Select	155
Power On Display	151

Power-up Mode	152
Processor Serial Number	153
Product Recovery CD-ROM	213
PrtSc キー	63

(R)

Registered	148
RGB コネクタ	46, 127

(S)

SD Card LED	122
SD メモリカードスロット	46, 121
SD メモリカードのセット	123
SD メモリカードの取り扱い	230
SD メモリカードの取りはずし .	123
Select Bay	158
Serial	157
Shift キー	62, 63
Slim Select Bay LED	48, 51, 70
Space キー	62
SysRq キー	63

(T)

Tab キー	62
Total	148

(U)

USB KB/Mouse Legacy Emulation	157
USB-FDD Legacy Emulation	157
USB コネクタ	46, 124
USB 対応機器の接続	124

(W)

Win キー 62

(ア)

アプリケーション&ドライバCD-ROM
..... 213
アプリケーションCD 213
アプリケーションキー 63
アロー状態 66

(イ)

インスタントセキュリティ機能 ... 65
インターネットボタン 45, 75

(ウ)

ウェイトセーバ 47, 103

(エ)

液晶ディスプレイの取り扱い ... 227

(オ)

オーバレイキー 63
オンラインマニュアル 224

(カ)

カスタム・リカバリCD 213
カタカナ／ひらがなキー 63
画面のお手入れ 227
漢字キー 62
漢字変換 69

(キ)

キーボード 44, 62
キーボードの取り扱い 227
休止状態 95

(ク)

クリック 60

(コ)

コネクタカバー 46

(サ)

再セットアップ 212
サイドライト用FL管 227

(シ)

システムインジケータ 44, 48
消耗品 231

(ス)

スーパーバイザパスワード 165
スーパーロングライフ 87
数字ロック状態 66
スクロールロック状態 66
スタンバイ 92
スピーカ 44
スリムセレクトベイ 46, 103
スリムセレクトベイ機器の差し替え
..... 103
スリムセレクトベイラッチ 47

(セ)

セカンドハードディスク 110
セカンドハードディスクの設定
(Windows 2000) 111
セカンドハードディスクの設定
(Windows 98) 114
セカンドバッテリーバック 117
赤外線ポート 44

セキュリティロック・スロット	44, 76
セットアップ (Windows 2000)	16
セットアップ (Windows 98)	24
セットアッププログラム	144

(ソ)

増設メモリスロット	44, 132
-----------	---------

(タ)

タッチパッド	46, 60
タッチパッドの取り扱い	228
タッピング	61
ダブルクリック	60

(ツ)

通風孔	44, 46
-----	--------

(テ)

データのバックアップ	228
ディスプレイ	44, 49
ディスプレイ開閉ラッチ	13, 44
電源コード	47
電源コードの接続	12
電源コードの取り扱い	227
電源コネクタ	44
電源スイッチ	44
電源を入れる (1 回目)	13
電源を入れる (2 回目以降)	37
電源を供給する	12
電源を切る	39

(ト)

東芝 HW セットアップ	138
東芝 PC お客様登録	32

東芝省電力ユーティリティ	86
特殊機能キー	68
時計用バッテリー	80
ドラッグアンドドロップ	60

(ナ)

内蔵マイク	44
内蔵モデム	54
内蔵モデム用地域選択ユーティリティ	56

(ニ)

日本語入力システム	69
入力モード	69

(ノ)

ノーマル	87
------	----

(ハ)

ハイパワー	87
パスワードとして使用できる文字	160
パソコン本体の取り扱い	226
バッテリー駆動	78
バッテリー駆動で使用できる時間	82
バッテリー充電量が減少したとき	84
バッテリー充電量の確認	83
バッテリーの充電時間	82
バッテリーの充電方法	81
バッテリーパック	47
バッテリーパックの取り付け/取りはずし	85
バッテリー・リリースラッチ	46
パネルスイッチ機能	99
半/全キー	62

(ヒ)

左ボタン	60
表示可能色数	49
表示装置を切り替える	127

(フ)

ファンクションキー	62
フルパワー	87
プレゼンテーション	87

(ヘ)

ヘッドホン出力端子	44, 126
ヘッドホンの接続	126
変換キー	63

(ホ)

ボリュームコントロール	53
ボリュームダイヤル	44, 52

(マ)

マイク入力端子	44, 125
マイクロホンの接続	125
マルチドライブ	106

(ミ)

右ボタン	60
------------	----

(ム)

無線 LAN	74
無変換キー	62

(メ)

メールボタン	45, 75
メモリの取り付け	133
メモリの取りはずし	135

メモリ容量の確認	136
----------------	-----

(モ)

文字キー	64
モジュラーケーブル	47
モジュラーケーブルの取り付け	55
モジュラーケーブルの取りはずし	55
モジュラージャック	46
持ち運ぶとき	228

(ヤ)

矢印キー	63
------------	----

(ユ)

ユーザ登録	32
ユーザパスワードの削除	164
ユーザパスワードの登録	161

(ラ)

ライトプロテクトタブ (SDメモ리카ード)	122
--------------------------------	-----

(リ)

リカバリ CD	213
リッドスイッチ	45

(ロ)

ロングライフ	87
--------------	----

(ワ)

ワイヤレスコミュニケーション LED	48, 74
ワイヤレスコミュニケーションスイッチ	44, 74

